

南部子ども第三の居場所（仮称）改修工事

2022/10

株式会社 **kyma**

図 面 目 録

表紙共 89 枚

意 匠		構 造		電 気 設 備		機 械 設 備			
A001	図面目録	A101	【解体】1、2階平面図	S001	【補強】基礎伏図	E001	特記仕様書(1)	M001	特記仕様書(1)
A002	特記仕様書 No.1			S002	【補強】1階床伏図・1階壁伏図	E002	特記仕様書(2)	M002	特記仕様書(2)
A003	特記仕様書 No.2			S003	【補強】2階床伏図 1階小屋伏図・2階壁伏図	E003	配置図	M003	衛生器具表、機器表、樹リスト
A004	特記仕様書 No.3			S004	【補強】2階小屋伏図 No.1	E004	引込盤・電灯盤図	M004	給排水設備 1、2階平面図
A005	特記仕様書 No.4			S005	【補強】2階小屋伏図 No.3	E005	動力盤図	M005	厨房設備 厨房機器リスト
A006	特記仕様書 No.5	A201	【既存】1、2階平面図	S006	基礎配筋詳細図	E006	幹線・動力・空調電源設備 1・2階平面図	M006	厨房設備 厨房機器配置図
A007	特記仕様書 No.6	A202	【既存】立面図			E007	厨房機器電源設備 平面図	M007	空調機器表
A008	特記仕様書 No.7	A203	【既存】断面図 No.1	別紙	耐震補強解説	E008	照明器具図	M008	換気機器表
A009	【改修】面積表	A204	【既存】断面図 No.2			E009	電灯設備 1・2階平面図	M009	厨房フードリスト
A010	【改修】仕上表	A205	【既存】断面図 No.3			E010	受口設備 1・2階平面図	M010	冷暖房設備 1、2階平面図
A011	【改修】付近見取図・配置図	A206	【既存】天井伏図			E011	非常照明・誘導灯設備 1・2階平面図	M011	換気設備 1、2階平面図
A012	【改修】1、2階平面図	A207	【既存】基礎伏図			E012	弱電設備 系統図		
A013	【改修】屋根伏図	A208	【既存】土台伏図			E013	弱電設備 1・2階平面図		
A014	【改修】立面図	A209	【既存】1階床伏図			E014	自動火災報知設備 1・2階平面図		
A015	【改修】断面図	A210	【既存】2階床伏図 1階小屋伏図			E015	音響設備 平面図・仕様書		
A016	【改修】天井伏図	A211	【既存】2階小屋伏図 No.1						
A017	【改修】断面詳細図 No.1	A212	【既存】2階小屋伏図 No.2						
A018	【改修】断面詳細図 No.2	A213	【既存】2階小屋伏図 No.3						
A019	【改修】断面詳細図 No.3	A214	【既存】小屋軸組図						
A020	【改修】断面詳細図 No.4								
A021	【改修】断面詳細図 No.5								
A022	【改修】部分詳細図 No.1								
A023	【改修】部分詳細図 No.2								
A024	【改修】1階平面詳細図								
A025	【改修】2階平面詳細図								
A026	【改修】展開図 No.1								
A027	【改修】展開図 No.2								
A028	【改修】展開図 No.3								
A029	【改修】展開図 No.4								
A030	【改修】展開図 No.5								
A031	【改修】展開図 No.6								
A032	【改修】展開図 No.7								
A033	【改修】建具家具配置図								
A034	【改修】建具表 No.1								
A035	【改修】建具表 No.2								
A036	【改修】建具表 No.3								
A037	【改修】家具表								
A038	【改修】屋外付帯配置図								
A039	【改修】屋外付帯詳細図								
A040	【参考図】ランド-ル案詳細図(別途工事)								
A041	【参考図】シャワーユニット詳細図 No.1								
A042	【参考図】シャワーユニット詳細図 No.2								

建築工事仕様書

I 工事概要

Table with 2 columns: 1 工事場所 (鳥取県 宍粟市 西伯郡南部町法勝寺507 地内), 2 工事内容 (木造 2階建 敷地面積: 約400㎡, 延床面積: 187.12㎡), 3 完成期日 (令和 5年 6月 31日), 4 別契約関連工事 (タンドール窯工事, 厨房機器工事, カーテン, ロールスクリーン工事, サイン工事)

II 建築工事仕様

- 1 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成22年版」(以下「標仕」という。))による。(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は(/) 図、機械設備工事は(/) 図による。(2) 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。(3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。(4) 特記事項に記載の(別図-) は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。(5) 特記事項に記載の(別図-2.) は、「標仕」の別図2「ポルト間隔及び溶接継手の開先形状」の当該項目を示す。(6) 特記事項に記載の[] 内表示番号は国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成22年版」(以下「改修標仕」という。))の当該項目、当該図又は当該表を示す。(7) ㊦印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(グリーン購入法)の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するよう努める。(8) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。(9) 斜線で消去した章は適用しない。

1章 一般共通事項

Table with 2 columns: 項目, 特記事項. Includes sections for ① 適用基準等, ② 工事実績情報の登録, ③ 発生材の処理, ④ 電気保安技術者, ⑤ 施工条件, ⑥ 建築材料等.

⑦ 特別な材料の工法

⑧ 技能士等

※ 技能士 (1. 5. 2)

Table with 2 columns: 適用工事種別, 技能検定作業. Lists various construction tasks like 仮設工事, 鉄筋工事, コンクリート工事, etc.

⑨ 完成図等

- 作成する (1. 7. 1~1. 7. 3)(表1. 7. 1) イ) 工事完成図は、A3版製本4部提出する。ロ) CD-Rに、CADで設計したものはCADデータ、手描きの場合はラスタデータとして記録し1部提出する。また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。※ラスタデータ: 画像データでTIF形式、原図で300dpi密度以上とする。

⑩ 工事写真等の記録

Table with 2 columns: 区分, 撮影枚数. Includes sections for ① 工事記録写真等は、建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」(改訂第2版建築編)により整備し、下記により提出する。② 完成写真の撮影 ③ 原紙の使用権を次の者に移譲すること。④ 中間検査または、監督員の指示により手直しを命ぜられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。⑤ 責任施工 ⑥ 設備工事との取合い

⑭ 設計GL

⑮ 建築基準法に基

づき指定する条

⑯ 工事現場の掲示

板

Design and site information including wind speed (V), distance (L), and site plan details with dimensions and labels like '設計GL', '建築基準法に基', '工事現場の掲示'.

⑰ 総合評価時にお

ける技術提案

⑱ 施工の検査等

⑲ 施工の立会い等

20 中間検査

21 公共事業労務費

調査等に対する

⑳ 保 険

㉑ 室内空気汚染防

Construction process and safety details including 総合評価時における技術提案, 施工の検査等, 施工の立会い等, 中間検査, 公共事業労務費調査等に対する協力, 保 険, 室内空気汚染対策, and tables for 測定箇所数 and 測定箇所.

24 名札の着帯

25 施工体制台帳の

作成等

26 排出ガス対策型

建設機械

27 創意工夫等

㉒ 事故の補償

Administrative and safety details including 名札の着帯 (name tag photo), 施工体制台帳の作成等 (construction system ledger), 排出ガス対策型建設機械 (exhaust gas countermeasure construction machinery), 創意工夫等 (creative ideas), and 事故の補償 (accident compensation).

29 電子納品
○行う(「電子納品仕様書」による。) ・行わない
電子納品仕様書
1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。
ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領(案)等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

2 建設発生土の処理
・現場内で処理
・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷き均し (3. 2. 5)
○構外搬出適正処理 (「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと)
・指定(想定) 搬出先 受入場所:
受入時間帯: 時 分 ~ 時 分
仮置き等:
○自由処分 (「建設発生土情報交換システム」等を活用する)

30 騒音振動の防止
低騒音(図)、低振動型建設機械を使用する。
31 隣接建物又は工作物の調査
・敷地境界から m
土地家屋調査士による調査 ・行う(範囲及び調査内容は図示による) ※行わない

4 章 地 業 工 事
1 既製コンクリート杭地業
種類 ※遠心力高強度コンクリート杭
・S001, S015参照
杭径(mm) 杭長(m)及び径別 継手数 セット数 備考
試験杭
本杭
杭頭の処理 ※切断しない (4. 3. 7)
先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4. 3. 2)
杭の継手 ・アーク溶接 ・無溶接継手 (4. 3. 6)
施工法 (4. 2. 3~4. 2. 5)
・特定埋込み杭工法(杭材料条件に適合するもの)
打込み工法

2 章 仮 設 工 事
特 記 事 項
1 監督職員事務所(現場事務所)
※設ける ・設けない (2. 3. 1)
監督職員事務所の規模(単位: m)
種別号 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号
面積程度 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度
監督職員事務所に設ける備品等
◎保護欄 ◎安全帯 ◎長靴 ◎合羽 ◎A1×2部 A3×5部(一部カラー出力)
※机 ※椅子 ※懐中電灯 ◎書棚 ・黒板 ・寒暖計 ◎監督員の指示するもの
○現場から映像通信可能な環境を整えること

2 場所打ちコンクリート杭地業
コンクリートの種類及び設計基準強度 (4. 5. 3)(表4. 5. 1)
() 種かつ () N/mm²以上
鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4. 5. 3)
・アースドリル工法(・安定液使用 ・無水掘削) (4. 5. 4)
・リバース工法
・オールケーシング工法(孔内の水張 ・行う ・行わない)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4. 5. 5)
・杭底杭工法(※安定液使用)
セメントの種類 ※高炉セメントB種(図) (4. 5. 3)
孔壁測定 ・行う() ・行わない (4. 5. 4)
3 砂利地業
4 床下防湿層
再生クラッシュケラン(図) ・切込み砂利及び切込み砕石 (4. 6. 3)
施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) (4. 6. 5)

5 章 鉄 筋 工 事
特 記 事 項
1 鉄筋の種類
種類の記号 呼び名(mm)
・SD295A ※D16以下 ※構造図参照
・SD345 ※D19以上 ※構造図参照
2 溶接金網
網目の形状、寸法等 ○構造図参照 (5. 2. 2)
形状、寸法等(縦×横)(mm) 鉄線の径又は呼び名(mm) 規格
※100×100 ※6. 0 JIS G 3551による
3 鉄筋の継手
呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ○重ね継手 (5. 3. 4)
鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。 (5. 3. 5)
塩害を受ける恐れのある部分等、耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。
4 鉄筋の最小かぶり厚さ
施工箇所 「標仕」表5. 3. 6の値に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 ※10・20・25
5 既製コンクリート杭の杭頭補強
6 帯筋 ※H形 ・SP形 (別図2. 2)
7 最上階柱頭補強 ※行う ・行わない (別図2. 1)
8 壁開口部の補強 一般壁 ※A形 ・B形 ・図示 (別図4. 2)(別表4. 3)(別表4. 4)
耐震壁 ※図示
9 梁貫通孔の補強形式 ※H形 ・MH形 ・M形 (別図7. 1)(別表7. 1~別表7. 3)
10 圧接完了後の試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5. 4. 9)
11 機械用吊り上げ用フック ・A種 ・B種 ・C種 箇所 (別図7. 3)

3 章 土 工 事
特 記 事 項
1 埋戻し及び盛土
種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土(図)
なお、処理に当たっては「建設発生土情報交換システム」等を活用する。(3. 2. 3)(表3. 2. 1)

6 章 コ ン ク リ ー ト 工 事
特 記 事 項
1 コンクリートの使用骨材による種類及び強度等
普通コンクリートの設計基準強度 (6. 1. 3)(6. 1. 4)(6. 14. 3)
設計基準強度Fc(N/m²) スランプ(cm) 施工箇所
構造図参照
軽量コンクリートの設計基準強度(6. 1. 4)(6. 11. 1)(表6. 11. 1)(6. 11. 3)
設計基準強度Fc(N/m²) 種別 施工箇所
・21 ・21 ・1種・2種
2 コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能による種類
種類 適用箇所 備考
・寒中コンクリート (適用期間)
・マスコンクリート
・高炉セメントB種(図)
・中熱ポルトランドセメント
・無筋コンクリート
・流動化コンクリート
3 レディーミクスト ※I類 ・II類 (6. 1. 5)(6. 4. 1)(6. 4. 2)(表6. 1. 1)
コンクリートの類別 JIS表示認定工場の対象として、改正工業標準化法(平成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により認定を受けた工場(JISマーク表示認証工場)を含むものとする。
4 セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種(マスコンクリートを除く) (6. 3. 2)(表6. 3. 1)
・高炉セメントB種(図)
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
水和熱 7d: 352J/g以下 28d: 402J/g以下
5 骨材の品質 アルカリシリカ反応性による区分 (6. 3. 3)(6. 5. 4)
※A
・B(※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3. 0kg/m以下)
6 混和材料の種類 ※混和剤 ・混和材 (6. 3. 5)(6. 4. 8)
7 構造体強度補正値 構造体強度補正値の決定に用いる「予想平均気温θ」は、気象庁発表の過去の平均値より決定する。(6. 4. 5)(監理指針 表6. 12. 2)
8 型枠(せき板)の種類
塗装の有無 ※無 ○有
打放し仕上げの種類 (表6. 2. 3)
種別(表面の仕上げ程度) 材料(せき板) 塗装 施工箇所
○A種 目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とする 厚さ12mmのJIS規格品による表面加工品又は同等と見なせる程度のもの ○有 ・無 立上り打放し面
・B種 目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とし、グラインダー掛け等により平滑に調整されたものとする 厚さ12mmのJIS規格品によるB-C又は同等と見なせて、ほとんど損傷のないもの ○有 ・無
・C種 厚さ12mmのJIS規格品によるB-C又は同等と見なせて、使用上差支えのない程度のもの ○有 ・無
9 コンクリートの打増し
仕上げその他の納まりによる打増しは下記による。
打増し(mm)
施工箇所
10 断熱材兼用型枠
適用箇所及び品質等は19章15断熱材による (6. 9. 3)
11 コンクリート躯体の表面処理
外装タイル後張り面の躯体表面の処理
MCR工法又は15. 2. 4(0)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に用いた粗面に仕上げる工法を、1. 2. 2「施工計画」による品質計画で定める。また、粗面の状態は、監督職員の承諾を受ける。
適用範囲は11章タイル工事 3コンクリート素地の処理による
コンクリートの増打ち厚さ ※20mm

7 章 鉄 骨 工 事
特 記 事 項
1 鉄骨の製作工場
・監督職員の承諾する製作工場 (7. 1. 3)
※建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた鋼日本鉄骨評価センター又は(社)全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。
・Hグレード以上 ・Mグレード以上 ・Rグレード以上
2 施工管理技術者
※適用する (7. 1. 3)(7. 1. 4)(7. 6. 2)(7. 12. 2)
3 鋼材
鋼材の材質 (7. 2. 1)(7. 2. 10)(表7. 2. 1)
種類 使用箇所 規格等
種類の記号 構造図S04参照 ※JIS規格による
規格等 ※JIS規格による
4 普通ボルト
ボルトの径、繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 (7. 2. 3)(7. 3. 2)
5 高力ボルト
ボルトの区分 (7. 2. 2)(7. 3. 2)(7. 4. 1~7. 4. 9)
※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト
ボルトの径、繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示
すべり係数試験 ※行わない ・行う 試験方法等()

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7. 2. 3)(7. 3. 2)(7. 12. 4)
ボルトの径、繰端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示
摩接面の処理
※ プラス処理(表面粗度50μmRz以上)
・リン酸塩処理
すべり耐力等の確認方法
※ すべり耐力等の確認方法等 ※図示
7 溶接部の試験
AOQL ※4. 0% ・2. 5% (7. 6. 11)
検査水準 ※第5水準 ・図示 (7. 6. 11)(表7. 6. 2)(表7. 6. 3)(表7. 6. 4)
検査の種類 試験箇所 試験方法
・超音波探傷試験 構造図S001参照 ※「標仕」7. 6. 11(b)による図示
・放射線試験
・マクロ試験
8 耐火被覆 (7. 9. 2~7. 9. 6)
種別 所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り
・耐火材 吹付け ・乾式吹付けロックウール
・半乾式吹付けロックウール
・湿式ロックウール
・耐火板張り
・耐火板巻付け
9 アンカーボルト
・構造用アンカーボルト(ベースバック仕様による) (7. 10. 3)(表7. 10. 1)
・建方用アンカーボルト ・A種 ※B種 ・C種
10 柱底均しモルタル工法 ※A種 ・B種 (7. 10. 3)(表7. 10. 2)
11 溶融亜鉛めっき工法 (7. 12. 3)(表14. 2. 2)
亜鉛めっきの種類 材 料 適用部位
A種 最低板厚6. 0mm以上の形鋼、鋼板
B種 最低板厚3. 2mm以上、6. 0mm未満の形鋼、鋼板
C種 最低板厚1. 6mm以上、3. 2mm未満の形鋼、鋼板
普通ボルト、アンカーボルト
素地ごしらは、JIS H9124溶融亜鉛めっき作業標準による。
12 スカラップ ※改良型スカラップ ※ノンスカラップ (7. 6. 7)
13 溶接条件
入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所 ・図示
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
鋼材の種類 溶接材料 入熱(KJ/cm) パス間温度(°C)
400N級鋼 JIS Z 3211, 3212 YGW-11, 15 YGW-18, 19 JIS Z 3214 YGA-50W, 50P 40以下 350以下
490N級鋼 JIS Z 3212 YGW-11, 15 YGW-18, 19 JIS Z 3214 YGA-50W, 50P 30以下 250以下
520N級鋼 YGA-18, 19 30以下 250以下
400N級鋼 YGW-11, 15 30以下 250以下
STKR・BCR及びBCP YGW-18, 19 40以下 350以下
490N級鋼 STKR・BCR YGW-18, 19 30以下 250以下
14 仮組
15 錆止め塗装 (7. 3. 10)
耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う(※「標仕」18. 3. 2による) ※行わない (7. 8. 3)

8 章 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク ・ A L C パ ネ ル ・ 押 出 成 形 セ メ ン ト 板 工 事
特 記 事 項
1 建築用コンクリートブロック
補強コンクリートブロック造 (8. 2. 2)
断面形状及び圧縮強さによる区分 厚さ(mm) 適用箇所
※空洞ブロック16
・空洞ブロック16-W
コンクリートブロック幅壁及び隅 ※「標仕」表8. 3. 1及び下表による。(8. 3. 2)
適用箇所 厚さ(mm)
・外壁
・間仕切壁
・地下二重壁
・塙 高さ 2m以下 ・120
2mを超える ・150
・衛生設備配管用養積みブロック ※JIS規格による ・100

2	ALCパネル	(8.4.2~8.4.6) (表8.4.3) (表8.4.4)				6	防水工事保証年限	防水工事は責任施工とし、下記より保証書を提出する。			【12章 木工事 ※樹種等詳細は 建築工事仕様書 No7参照】	項目	特記事項	④	(イ)産地 ※県内産 ・県外産 (ロ)下地コンクリートの場合の特種モルタル (1)材料の使用量(1㎡当たり)セメント480kg、川砂0.45㎡、水280kg 特殊バークライト560㎡(メーカ仕様による) (2)水セメント比60%、スランプ15cm (3)4週保釘40kg/本以上 材種 ・配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 ・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管 (注) (注) (注) 鋼管製といの防露 ※「標仕」表13.5.4による (13.5.2) (表13.5.3) (表13.5.4) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 捕除口 ※有り ・無し					
		種類	単位荷重(N/㎡)	厚さ(mm)	取付け工法種別等			施工箇所	種別	保証年限						備考	①	②	③	④
10章 石 工 事												項目	特記事項							
3	押出成形セメント板(ETC)	(8.5.2~8.5.5) (表8.5.1) (表8.5.2)				①	天然石張り	石の品質 (10.2.1) 床用石材 ※2等品 ・1等品(施工箇所 汚垂石) 壁及びその他の石材 ※1等品 ・2等品(施工箇所) 石の種類・表面仕上げ (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)			①			②	③	④				
4	外壁パネル工法	製造所 JIS A 5441による				2	テラソ張り	種石の種類 ※大理石 ・ (10.2.1) 表面仕上げ ※本磨き (表10.2.2)			3	壁の石張り工法	外壁石張り (10.2.2)(10.3.2)(10.3.3)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4) 工法 ・外壁湿式工法(※流し防工法 ・ ()) ・乾式工法 (・スライド方式 ・ ロッキング方式) ※乾式工法の場合は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を、1.2.2(施工計画書)による品質計画で定める。 あと施工アンカー 材質 ※ステンレス(SUS304) ・ 石裏面処理 ・行う(小口共) 裏打ち処理 ・行う ドレインパイプ ※樹脂ネット製パイプ25~30φ(クロスメッシュ巻) ・ステンレスSUS304 内壁石張り (10.2.2)(10.4.2)(10.4.3)(10.5.2)(10.5.3) 工法 ・内壁空積工法(※あと施工アンカー横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法) ・乾式工法 (・スライド方式 ・ ロッキング方式) あと施工アンカー 材質 ※ステンレス(SUS304) ・ 石裏面処理 ・行う(小口共) 裏打ち処理 ・行う 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)(10.1.5)			4	床及び階段の石張り	床石張りの石裏面処理 ・行う (10.6.2)(10.6.3) 階段石張りの表面の処理 ・行う (10.1.5) 屋内のワックス掛け ・行う		
9章 防 水 工 事												項目	特記事項							
1	アスファルト防水	(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~表9.2.8)				1	陶磁器質タイル	タイルの種類 (11.2.1) 施工箇所 形状寸法 再生材の 大きさ 釉薬 役物 色 備考 (mm) 適用 (注) 磁器せっき器陶器 施釉 無釉 有 無 標準 特注			4	床張り用合板	ホルムアルデヒドの放散量 (12.2.3) ※規制対象外 ・第三種							
2	改質アスファルトシート防水	(9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)				2	壁タイル張りの工法	内装タイル ※壁タイル接着剤張り ・改良圧着張り (11.3.3) (表11.3.2) 外装タイル ・密着張り ・マスク張り ・改良圧着張り 下地モルタル塗り ※「標仕」15.2.2~15.2.5 タイルの試験張り ※行わない ・行う(※外壁タイル) (11.2.1) 既設合モルタルの品質及び性能 (11.2.3)			5	接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12.2.6) ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤(以下、「ユリア樹脂等」という。)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種							
3	合機高分子系ルーフィングシート防水	(9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1)				3	コンクリート素地の処理	・MCR工法 (11.3.3) (6.9.3) (15.2.4) ・目荒らし工法 施工範囲 ※図示			6	防蟻・防蟻処理	防蟻処理 (注) 行う(適用範囲 ※「標仕」12.2.8(c)による ・図示) (12.2.8) 防蟻処理 (注) 行う(適用範囲 床上1.0m) (12.2.9) 防蟻・防蟻剤は、コロルピドホス等を含有しない非有機リン系の表面処理用木材保存材とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督職員に提出し承諾を受ける。 防蟻・防蟻処理の方法 現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて表面処理用木材保存材を塗布することとする。 (12.2.10)							
4	塗膜防水	(9.5.2) (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)				4	陶磁器質タイル型特先付工法	再生材に用いる原料の種類 焼成前処理方法 採石及び産業廃土、無機珪砂、錳鋼スラグ、鉄スラグ、鋳物砂、陶磁器屑、石灰灰、炭プラスチック、建設廃材(汚泥を除く) 前処理によらず対象 炭ゴム、炭ガラス、製紙スラッジ、アルミスラッジ、磨き砂汚泥、石材屑、上水道汚泥、湖沼等の汚泥 溶解スラグ化 都市ゴミの焼成灰 焼成灰化又は熔融スラグ化 下水道汚泥			7	防虫処理	ラワン材を使用する場合は、「広葉樹製材の日本農林規格」による保存処理K1の防虫処理を行った規格品とする。 (12.2.10)							
4-2	塗布防水シーリング	(9.6.2) (表9.6.1)				5	長尺金属板葺	再生材に用いる原料の種類 焼成前処理方法 採石及び産業廃土、無機珪砂、錳鋼スラグ、鉄スラグ、鋳物砂、陶磁器屑、石灰灰、炭プラスチック、建設廃材(汚泥を除く) 前処理によらず対象 炭ゴム、炭ガラス、製紙スラッジ、アルミスラッジ、磨き砂汚泥、石材屑、上水道汚泥、湖沼等の汚泥 溶解スラグ化 都市ゴミの焼成灰 焼成灰化又は熔融スラグ化 下水道汚泥			8	床材使用証明	設計図書において、床材の使用が明記されている場合は、工事請負者(資材の発注者)は、合法木材供給事業者の認定を受けた納品者が発行する「県産材産地及び合法木材証明書」及び「納品書」(合法木材団体認定番号及び産地名が(石川県産)と明記されたもの)を監督員に提出するものとする。							
13章 屋 根 及 び と い 工 事												項目	特記事項							
1	屋根防水	(13.2.2) (13.2.3) (表13.2.1)				1	長尺金属板葺	屋根葺形式 長尺金属板の種類 板厚(mm) 立平葺 カラーGL鋼板 ※0.4 ・「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法を、1.2.2(施工計画書)による品質管理で定める。 保証年限 (注) 10年 ・5年 及び鋼帯 (GGLCCR-20-AZ150) (13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)			9	断熱材	断熱材 ※有り(種別) 厚さ(mm) ・無し 耐火性能 ※30分耐火 ・無し 材料はJIS規格に基づく ・「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法を、1.2.2(施工計画書)による品質管理で定める。 保証年限 10年 ・5年 (13.4.2)							
2	折板葺	(13.3.2) (13.3.3) (表13.2.1)				2	折板葺	形式 ※重ね形 ・はげ端形 ・かん合形 形状(mm) 山高() 山ピッチ() 板厚※0.6・0.8 材料 ※塗装溶融亜鉛5%アルミニウム合金めっき鋼板(GZACCR-20-Y25) ・塗装溶融アルミニウム5%亜鉛合金めっき鋼板(GGLCCR-20-AZ150)(規格等) 軒先面戸板 ※有り ・無し 断熱材 ※有り(種別) 厚さ(mm) ・無し 耐火性能 ※30分耐火 ・無し 材料はJIS規格に基づく ・「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法を、1.2.2(施工計画書)による品質管理で定める。 保証年限 10年 ・5年 (13.4.2)			10	粘土瓦	形状による区分 寸法による区分 製法による区分 備考 (注) J形 (注) B3A ・ (注) 柳葉がわら 色調(黒) 補修部分で取換えが必要な場合、形状、色を既存に合わせることを 役物瓦(図示) ・S形 ・49A・49B ・いぶしがわら ・F形 ・40 ・無柳葉がわら ・「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法を、1.2.2(施工計画書)による品質管理で定める。							
14章 金 属 工 事												項目	特記事項							
1	と	(14.1.3)				1	あと施工アンカーの引抜き耐力試験	※適用する (14.1.3)			1	ステンレスの表面仕上げ	種類 施工箇所 ※HL程度 下記以外の見え掛かり全て ・No2B程度 ・No8鏡面仕上げ							
2	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.2) (表14.2.1)				2	鉄鋼の垂れめっき	表面処理方法 種別 施工箇所 溶融亜鉛めっき (注) A種 (注) B種 (注) C種 (注) D種 (注) E種 (注) F種			2	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	種別 色合い 施工箇所 ・B-1種 無着色 ・B-2種 ・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー							
3	軽量鉄骨天井下地	(14.4.2) (表14.4.1)				3	野縁等の種類	野縁の種類 屋外 ※25型 ・19型 (14.4.2) (表14.4.1) 屋内 ※19型 ・25型 野縁の場合の形式及び寸法 (14.4.3) (14.4.4) (表14.4.2) ※下記以外は、「標仕」14.4.3及び表14.4.2による。			3	野縁受、吊りボルト、イナット	野縁 施工箇所 中央部 周辺部							
4	金属成形板張り	(14.4.4)				4	天井下地材における耐震性を考慮した補強	行う 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示 (14.4.4)			4	野縁受、吊りボルト、イナット	野縁 施工箇所 中央部 周辺部							
5	アルミニウム製笠木	(14.7.2) (14.7.3) (表14.2.1) (表14.7.1)				5	伸縮調整継手	※設けない ・設ける(施工箇所は図示) (14.6.3) ・図示 (14.7.2) (14.7.3) (表14.2.1) (表14.7.1)			5	伸縮調整継手	種類 最小呼称肉厚(mm) 表面処理及び色合い 固定間隔・方法 ・100形 1.5以上 ※A-1又はB-1種 ・「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法を、1.2.2(施工計画書)による品質管理で定める。 ・250形 1.6以上 無着色 ・300形 1.8以上 ・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・350形 2.0以上							
6	手すり及びタラップ	(14.8.2) (14.8.3) (表14.2.2)				6	手すり及びタラップ	種類 材料の種類 表面処理 ・手すり ※ステンレスSUS304 ※HL程度 ・鏡面程度 ・鉄 垂れめっき 外部 ※C種 内部 ※E種 ・B種			6	フッ素樹脂焼付塗装鋼板	製造所							
7	フッ素樹脂焼付塗装鋼板	(14.8.2) (14.8.3) (表14.2.2)				7	フッ素樹脂焼付塗装鋼板	製造所			7	フッ素樹脂焼付塗装鋼板	製造所							
8	体育館の鋼製床下地	(14.8.2) (14.8.3) (表14.2.2)				8	体育館の鋼製床下地	製造所			8	体育館の鋼製床下地	製造所							

15章 左官工事					
項目	特記事項				
① モルタル塗り材料	防水剤（モルタルに混入する防水剤）の品質 (15. 2. 2)				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
② 床コンクリートの直均し仕上げ	下表以外は「標仕」表6. 2. 4及び「標仕」15. 3. 2による。(表6. 2. 4)(15. 3. 1)(15. 3. 2)				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
③ セルフレベリング材塗り	下表以外は「標仕」表6. 2. 4及び「標仕」15. 3. 2による。(表6. 2. 4)(15. 3. 1)(15. 3. 2)				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
④ 網戸	防音ドアセット ※適用は建具表による				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
⑤ 鋼製建具	防音ドアセット ※適用は建具表による				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
16章 建具工事					
項目	特記事項				
① 見本の製作等	・特殊な建具の仮組等 (建具番号:) (16. 1. 4)				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
② 防犯建物部品	※建具表による (16. 1. 6)				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
③ アルミニウム製建具	外部に面する建具の性能値等 (16. 2. 2)(16. 2. 4)(表16. 2. 1)				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
④ 網戸	防音ドアセット ※適用は建具表による				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
⑤ 鋼製建具	防音ドアセット ※適用は建具表による				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
17章 カーテンウォール工事					
項目	特記事項				
① メタルカーテンウォール	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
② ガラス	ガラスの厚さ・構成等は建具表により、その他ガラス性能等は下記による。(16. 13. 2)				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
18章 塗装工事					
項目	特記事項				
① 材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 (18. 1. 3)				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)
② 素地ごしらえ	せつこうボード及びその他のボード面の目地工法が継ぎ目処理工法の場合 (18. 2. 7)(表18. 2. 7)				
	項目	混合割合	凝結時間	安定性	強度比 (%)

③ アクリルシリコン樹脂クリヤ塗り
適用範囲 コンクリート及び押出成形セメント板表面
④ 常温乾燥形ふっ素樹脂クリヤ塗り
適用範囲 中木モルタル面
⑦ 錆止め塗料塗り
錆止め塗料塗りは、下記による。

7 合成樹脂塗料
種別 仕上りの種類
・弾性ウレタン塗料
・エポキシ樹脂塗料
8 床用塗料塗り
9 防塵用塗料塗り
10 フローリング張り
11 畳敷き
12 ポリスチレンフォーム床下地材
13 特殊合板等の種類
14 壁紙張り
15 断熱材

19章 内装工事
項目 特記事項

① 接着剤
② ビニル床シート張り
種類 JISの記号 色柄 厚さ(mm)
※発泡層のないもの ※NC ・ ※無地 ・ マーブル ※2.5
※発泡層のあるもの ※柄物 ・ 無地 ・ 2.8

3 ビニル床タイル張り
種類 JISの記号 厚さ(mm) 寸法(mm) 備考
※コンポジションビニル床タイル(半硬質) CT ※2.0 ・ 300×300 ・ 450×450
・ コンポジションビニル床タイル(軟質) CTS ※2.0 ・ 300×300 ・ 450×450
・ ホモジニアスビニル床タイル HT ※2.0 ・ 300×300 ・ 450×450
・ 置ききビニル床タイル HTL ・ 500×500

4 帯電防止床タイル張り
種類 厚さ(mm) 性能
・ コンポジションビニル床タイル ※2 体積抵抗値 (JIS K6911による)
・ ホモジニアスビニル床タイル ※4.0又は5.0 1.0×10⁹Ω以下、または、漏洩抵抗値 (JIS A1454による)
1.0×10¹⁰Ω未満

5 ビニル幅木
高さ(mm) ※60 ・ 75 ・ 40 (19.2.2)

6 カーベツト敷き
防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、登録されているものとする。(19.3.2)
織じゅうたん (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1)
種類 織り方 パイル形状 色柄等 帯電性
・ A種 ・ ウィルトンカーベツト ・ カットパイル ※単一色(無地) 人体帯電圧
・ B種 ・ ダブルフェースカーベツト ・ ループパイル ・ 柄物(標準色) ※3kV以下
・ C種 ・ アクシミンスターカーベツト ・ カット、ループ併用

16 体育館のフローリング張り
・ タフテッドカーベツト (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)
パイル形状 パイル長(mm) 工法 帯電性
・ カットパイル ※5~7 ・ ※全面接着工法 人体帯電圧
・ マルチレベルループ ※4~6 ・ ・ グリッパー工法 ※3kV以下
・ レベルループパイル ※4 ・ ・
・ カット、ループ併用

17 浴室天井材
・ ニードルパンチカーベツト (厚さ(mm) ・ 帯電性 人体帯電圧 3kV以下 備考 (19.3.3)
・ タイルカーベツト (19.3.3)
種類 パイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 帯電性 備考
※第一種 ※ループパイル ・ カットパイル ※500×500 ・ ※6.5 人体帯電圧 3kV以下
・ 第二種 ・ カット/ループ併用 ・ ・

19.4.2(表19.4.1~19.4.7)
19.5.2~19.5.7(表19.5.1~19.5.4)
19.6.2(表19.6.1)
19.8.2
19.9.2(19.9.3)
19.9.2
19.9.2
19.9.2

20 乾式耐火間仕切壁
耐火性能 下地材 構造方法 仕上げ材等
21 誘導用及び注意喚起用床材
視覚障害者用タイル
種類 寸法(mm) 形状
屋内 ・ 塩化ビニル系 ※300×300 ・ ブロックパターンはJIS T 9251による
・ 磁器又はせつ器タイル ・
・ SUS鉄 ・ 300×300
屋外 ・ レジンコンクリート系 ※300×300 ・
・ 磁器又はせつ器タイル ・ 300×300×60
・ SUS鉄 ・ 300×300

⑩ せつこうボード
種類 JISの記号 厚さ(mm)、規格等
・ 硬質木毛セメント板 G HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 再生の木質材又は植物繊維の質量比割合が50%以上であること。ただし、体積比20%以下の接着材、混和剤等の質量は除くことが出来る。
・ 普通木毛セメント板 G NW ・ 15 ・ 20 ・ 25
・ ミディアムデンシティファイバーボード G MDF
・ パーティクルボード G
⑪ けい酸カルシウム板
⑫ ロックウール化粧吸音板
⑬ ロックウール化粧吸音板(軒天井用)
⑭ せつこうボード
⑮ 不燃積層せつこうボード
⑯ シーディングせつこうボード
⑰ 強化せつこうボード
⑱ せつこうラスボード
⑲ 化粧せつこうボード(木目)
⑳ メラミン樹脂化粧板
㉑ 難燃合板 G
㉒ 硬質せつこうボード
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2)(表9.6.1) ※適用する ・ 適用しない

⑩ 吸音材
種類 記号 厚さ(mm)
・ ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25
※グラスウール吸音ボード2号32K GW-B ※25 ㉓50

20 乾式耐火間仕切壁
耐火性能 下地材 構造方法 仕上げ材等
60分耐火(非耐力壁) 軽量鉄骨壁下地 両面
・ 強化せつこうボード(厚さ12.5mm)下張り+硬質せつこうボード系(厚さ9.5mm)
・ 強化せつこうボード(厚さ15mm)下張り+せつこうボード系(厚さ12.5mm)
・ けい酸カルシウム板系(厚さ8mm)二重張り
・ けい酸カルシウム板系(厚さ8mm)+せつこうボード系(厚さ12.5mm)
片面
・ 強化せつこうボード系(厚さ21mm二重張り)
品質・規格 建築基準法に基づく耐火構造の通則的指定及び個別の指定を受けたもの。

21 誘導用及び注意喚起用床材
視覚障害者用タイル
適用箇所 種類 寸法(mm) 形状
屋内 ・ 塩化ビニル系 ※300×300 ・ ブロックパターンはJIS T 9251による
・ 磁器又はせつ器タイル ・
・ SUS鉄 ・ 300×300
屋外 ・ レジンコンクリート系 ※300×300 ・
・ 磁器又はせつ器タイル ・ 300×300×60
・ SUS鉄 ・ 300×300

5 可動間仕切
構成材の材質 スロープ及びポーター ・ アルミニウム ・ 鋼製 ・ ※製造所の標準仕様(ただし、構成材は「種仕」による) ・ 図示
コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設置工事)
配線用取り出しパネル ※配線用取り出し開口:パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20~30パーセント
空調用吹き出しパネル ・ 有り(※固定式 ・ 可変式 : 施工箇所は図示) (20.2.3)

6 移動間仕切
構造形式 パネル部の総厚さ(mm) 表面材種 厚さ(mm) 仕上げ 遮音性 (JISによる記号) 不燃材料の認定
※パネル式 ・ ・ ※鋼板 (※0.6・0.8) ※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・ 0・12 ・ あり
・ スタッパ式 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 20・28
・ スタッパパネル式 ・ ・ ・ ・ ・ ・ 36

7 トイレブース
表面仕上げ材 脚部の形状・材質 ドアエッジの形状・材質
※メラミン樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ・ アルミニウム ・ フラット形 ※7mm厚焼付け塗装
・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ 支柱タイプ ・ ステンレス ・ 曲面形 ・ ステンレス製 ・ 厚小口・厚同色

8 階段滑止め
材質 ステンレス SUS304
形状 ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド ※有り(・ステンレス製 ※ビニル製) ・ 無し

9 階段手すり
種類 仕上げ等 手すり径等(mm) 施工箇所
・ 集成材 ※UC塗 36
・ ビニル製ハンドレール ・ 耐候性タイプ 50(幅)
※アルミ製 塩ビ被覆 34・40
・ ステンレスパイプ ・ HL 40
・ 鋼製パイプ ・

10 黒板及びホワイトボード
種類 寸法(mm) 備考
・ 黒板 ・ 焼付け ※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分
・ ホワイトボード ・ ほうろう ※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付引分

11 表示標識
衝突防止表示 ※建具表 サイン図 図示 (カッティングシート貼り)
法令に基づく表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所 監督職員の承諾する製造所

12 煙突用成形ライニング材
適用安全使用温度 ※400℃ ・ 650℃
製造所 「評価名簿」による。

13 ブラインド
形式 種類 スラットの材質 スラットの幅(mm)
※横型 ※ギア式 ・ コード式 ※アルミニウム合金製 ※25
・ 操作棒式
・ 縦型 ・ 1本操作コード ・ アルミスラット ・ 80
・ 2本操作コード ・ クロススラット ・ 100

14 ブラインドボックス及びカーテンボックス
※市販品(アルミニウム製 押出し型材)
使用区分 溝幅×深さ(mm)
・ 横型ブラインド ※90×150 ・ 120×150
・ 縦型ブラインド ※120×80 ・ 150×80
・ カーテン(レース共) ※150×80 ・ 180×80
・ カーテン+横型ブラインド ※180×150
①ロールスクリーン ※150×100

15 ロールスクリーン
色彩 ※B-1 ・ B-2(※ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー) ・ 図示
①図示
操作方法 スクリーンの種類 品質等
・ フルコード式(スタッパー付) ①無地
・ ワンタッチチェーン式 ・ 柄物
①チェーン式 ①遮光タイプ
・ 電動式
製造所

16 カーテン及びカーテンレール (20. 2. 14)
17 ビクチャーレール
18 天井点検口
19 床点検口
20 収納家具・書架・物品棚
21 かぎ箱
22 かつみきマット
23 洗しユニット
24 屋内掲示板
25 洗面カウンター
26 防煙垂れ壁

27 敷地境界石積
28 旗竿
29 旗竿受金物
30 フェンス
31 屋外掲示板
32 車止め支柱
33 建築銘板
34 リサイクル製品の使用
35 伝統産業工芸品の使用

21章 排水工工事
22章 舗装工工事
23章 補綴工工事
24章 その他の特記事項

14 ブロック系舗装
15 区画線
16 土壌の酸度、塩分量試験
17 樹木の植栽基盤整備
18 補込み用土
19 土壌改良材
20 支柱材
21 幹巻き用テープ
22 芝張り
23 枯補償
24 吹付けは種
25 屋上緑化

- 木工事(軸組工法)工事・造作工事
- ① 県産材の使用
 - 木材は工事費に影響のない範囲で極力地元産材を使用すること。
 - ① ホルムアルデヒド放散量
 - JAS又はJIS等の材料規格で規定されているものとする。
 - 性能区分がF☆☆☆☆のものとする。発散量が0.005mg/mh以下のものとして認定されたものとする。
 - ② 木材含水率
 - 現場における含水率の測定は、次による。
 - (i) 測定は、高周波水分計による。
 - (ii) 測定箇所は、異なる2面について、両小口から300mm以上離れた箇所及び中央部の計6箇所とする。
 - (iii) 材の含水率は、6箇所の平均値とする。
 - (iv) 構造材及び下張材の工事現場搬入時の含水率は、20%以下とする。
 - 造作材の工事現場搬入時の含水率は、15%以下とする。
 - ③ 表面仕上
 - 見え掛り面は、原則として、かんな削り仕上げとし、表面の仕上げの程度は次を標準とする。
 - (i) 内部造作は超自動機械かんな掛け仕上げ。
 - (ii) 外部造作は中自動機械かんな掛け仕上げ。
 - (iii) 下地は自動機械かんな掛け仕上げ。
 - ④ 構造軸組 ※加工方法 (○)在来 ・プレカット)
 - ⑤ 木材 部材ごとの樹種

⑤-1 構造材の樹種等(集成材を含む)は 構造図に特記なき限り 次による。

	部 材 名 称	樹 種 等
軸 組	土台(火打土台含む)	○ひのき ○ひば ・から松 ・あて ○米ヒバ
	柱類(通し柱)	・ひのき ○杉 ・ひば ・あて ・米ひ ・米杉 ・米つが ・
	桁類(敷桁・軒桁・間仕切桁等)	・杉 ・赤松 ・ひのき ・あて ○米松 ・米杉 ・
	胴差・胴つなぎ	○杉 ・赤松 ・ひのき ・あて ○米松 ・
小 屋 組	筋かい・貫	・杉 ・ひば ・ひのき ・あて ○米松 ・
	間柱・まぐさ・窓台・その他	○杉 ・あて ○米松 ・
	小屋梁類(丸太)	・杉 ・赤松 ・あて ○米松 ・
	小屋梁類(ひき角)	・杉 ・赤松 ・あて ○米松 ・米つが ・
屋 野 地 根 等	棟木・母屋・隅木・谷木	○杉 ・ひのき ・ひば ・あて ○米松 ・
	垂木・垂木掛	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米松 ・米つが ・
	鼻隠・破風板 広小舞・登りよど・野地板	化粧の場合 ○杉 ・ひのき ・あて ・米松 ・米杉 ・米ひば ・
	見え隠れの場合	○杉 ・赤松 ・から松 ・
床 組	床梁類(大梁・小梁)	・杉 ・赤松 ・ひば ・ひのき ・あて ・から松 ○米松 ・
	火打梁・床束・大引(転ばし大引)	・杉 ・赤松 ・ひば ・ひのき ・あて ・から松 ○米松 ・米ひば ・米ひ
	大引受・根太掛・根太	・杉 ・赤松 ・ひば ・ひのき ・あて ・から松 ○米松 ・
	構造材の継手添え板	・赤松 ・ひば ・ひのき ・あて ○米松 ・米ひ ・
栓・くさび・だぼ・どっこ	・かし ・けやき ・なら ○母材同材	

○見え掛り構造材は小節以上 ・見え隠れ構造材は特一等以上

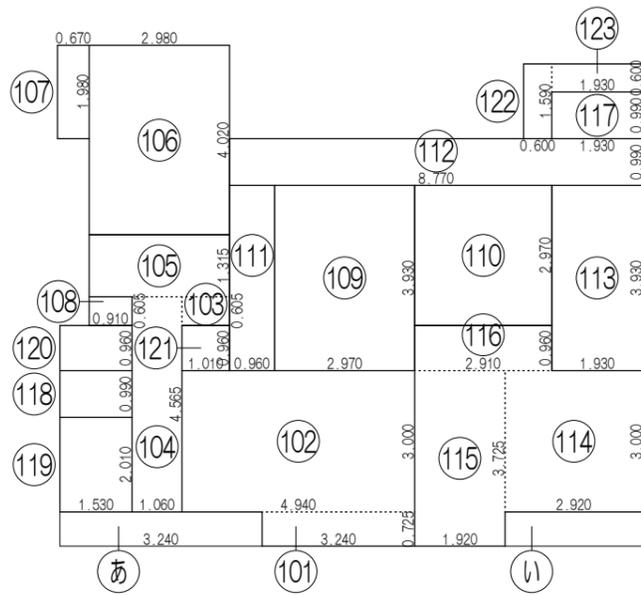
⑤-2 造作材及び下地材の樹種等(集成材を含む)は次による。

	部 材 名 称	樹 種 等	
窓・出入口	たて枠・上枠・下枠・額縁	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・タモ ○米ひば ・	
	ぜん板	・杉 ・ひば ・ひのき ・あて ○タモ ○けやき ○ビエラ ○地松	
	敷居類(一筋・中敷居・無目含む)	一杉一 ・ひば ・ひのき ・あて ○さくら ・米ひば ○ビエラ ○地松	
	鴨居類(一筋・中鴨居・無目含む)	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ○ビエラ ○地松	
敷 鴨 居 等	置寄せ・付鴨居・戸当り・方立	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ○ビエラ ○地松	
	長押	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ○ビエラ ○地松	
	床板張り	一杉一 ・ひば ・ひのき ・あて ・なら ・ぶな ・かば	
	縁甲板・床板	・チーク ・米ひば ○ビエラ ○米松	
内 外 壁	上り框	・杉 ・ひのき ・あて ・けやき ・米ひば ○タモ ○ビエラ ○地松	
	天井	壁間縁・ラス下地板・塗込め貫	○杉 ・あて ・えぞ松 ○から松 ・べに松 ・米ひば ・ヒノキ
	天井	野縁受・野縁・板野縁・吊木	○杉 ・あて ・えぞ松 ○から松 ・べに松 ・米ひば ・ヒノキ
	天井	吊木受	○杉 ・あて ・えぞ松 ○から松 ・べに松 ・米ひば ・ヒノキ
外 天 井	雨押え・下見板・押縁	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米杉 ・	
	見切り縁	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米杉 ・	
	内 壁	見切り縁・笠木	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米杉 ○タモ ○ビエラ ○地松
	内 壁	横羽目板・縦羽目板	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米松 ・
内 張 壁	天井	回り縁・二重回り縁・さお縁	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米松 ・
	天井	天井板	○杉 ・ひのき ・けやき ○ラワン合板(図示部分)
	吹 階	側桁・段板・け込み板	・ひば ・ひのき ・あて ・赤松 ・米ひば ・米松 ・
	吹 階	親柱・手すり子・手すり笠木	・杉 ・ひば ・ひのき ・米ひば ・米松 ○タモ ○ビエラ ○地松
押 入	中欄・天袋棚受けかまち	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・	
	天井	天井回り縁・天井板	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・
	根 太 掛	化粧の場合 ○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・	
	見え隠れの場合	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ○米松	
陸 上	持出し板	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・	
	鼻隠・広小舞化粧の場合	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米杉 ・ビエラ ・	
	雨押え	見え隠れの場合 ○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・米杉 ・ビエラ ・	
	化粧天井板	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・	
ひ さ し	霧除けひさし持送り板・ひさし板	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・	
	腕木・出し桁・垂木掛・垂木	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・ビエラ ・	
	野 地 板	化粧の場合 ○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・ビエラ ・	
	雨 押 え	見え隠れの場合 ○杉 ・赤松 ・から松 ○米ひば ・	
木 ひ さ し	破風板(垂木形)・広小舞	○杉 ・ひば ・ひのき ・あて ・米ひば ・ビエラ ・	
	登りよど・えぶり板・笠木		

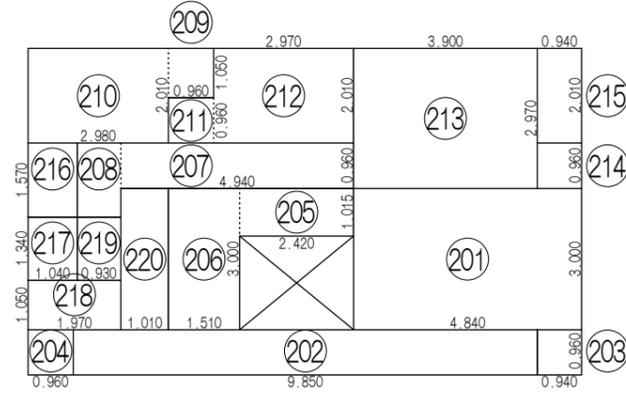
- 木工事(軸組工法)工事・造作工事
- ⑤-3 集 成 材 ○造作用集成材
 - 使用箇所(※図示)
 - 等級(・1等 ・2等)、樹種名:タモ
 - 見付け材面及び寸法(※図示)
 - ・化粧梁造作用集成材
 - 使用箇所(※図示)
 - 等級(・1等 ・2等)、樹種名:(心材 ・化粧薄板)
 - 化粧薄板の厚さ()、見付け材面及び寸法(※図示)
 - ・化粧梁構造用集成材
 - 樹種名:(心材 ・化粧薄板)、化粧薄板の厚さ()
 - 見付け材面及び寸法(※図示)
 - ・構造用面材
 - 使用部位、材料種別、寸法等(※図示)
 - ⑥ 接合具及び接合金物の工法等
 - 接合金物:Zマーク表示金物、又は同等品による。
 - ⑥-1 柱頭・柱脚の接合方法
 - ・告示(平12建告第1460号)の仕様 ・N値計算法 ・許容応力度計算法
 - ⑥-2 構造材及び下地材に対する釘の打込み本数等(※図示による)
 - ボルトの径(※図示)
 - ボルトが受ける応力の種類
 - ・引張りを受けるボルト(※図示)
 - ・せん断を受けるボルト(※図示)
 - 接合金物を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数
 - ※図示による)
 - ⑥-3 接合具及び接合金物
 - (1) 釘は、JIS A 5508(くぎ)により、材質は鉄(鋼)又はステンレスとし、接合する材料及び部位に適したものとす。又、長さ表示のない場合の釘の長さは、打ち付ける板厚の2.5倍以上を標準とする。
 - (i) 釘打ちは、下地材と構造材が交差する箇所に打つ。
 - (ii) 造作材が下地材と平行する場合は、間隔300~450mm程度とする。
 - (iii) 板厚が幅の広いもので、両耳及びその中間は、間隔100mm程度とする。
 - (iv) 造作材化粧面の釘打ち。
 - ・隠し釘打ち ○釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち及び釘頭現し
 - 適用範囲は図示又は監督員の指示による。図示又は指示がなければ、※釘頭埋め木とする。
 - (2) かすがい、羽子板ボルト、ひら金物等の種類は接合する部材の大きさ、接合方法等により適切なものとする。
 - (i) かすがい、ボルト等は必要に応じて、木部に影込みとし、表面より沈める。
 - ⑦ 仕 上 材 料
 - ⑦-1 化粧野地板 (・厚さ6m/m ○ 図示による)
 - ⑦-2 天然木化粧合板(※図示による)
 - 7-3 特殊加工化粧合板 (※図示による)
 - 7-4 フローリング
 - ・単層フローリング (・無垢フローリング ・フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット)
 - 使用範囲、材料、寸法等(※図示)
 - ・複合フローリング(・複合1種 ・複合2種 ・複合3種)
 - 使用範囲、材料、寸法等(※図示)
 - 7-4-1 フローリング張りの工法(・釘留め工法 ・接着工法)
 - 7-4-2 フローリング張りの塗装の種類
 - ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・油性ステイン塗り ・生地そのままワックス塗り ・生地そのまま自然塗料塗り
 - ⑦-3 造 作
 - 造作各部位において、しゃくりを必要に応じて設ける。(※有 ・無)
 - 7-6 押 入
 - 中段(○有 ・無) 、 枕棚(○有 ・無) 、 天袋(・有 ○無)
 - ⑧ せっこうボード、その他のボード類の種類、厚さ等は、次による。
 - 図示による

名 称	種 類	厚さ(mm)	品 質 等	
・せっこうボード製品				
・木毛セメント板				
・繊維強化セメント板				
・吸音材料				
・ラスボード				
合 板	・普通	ラワン	6mm	JAS防虫処理合板
	・難燃			
※MDF	・特殊			
	巾木、廻縁、枠			
	カーボン 珪藻土等			
 - ⑨ 工 法
 - 合板類の張付けの種類(・A種 ※B種)○接着剤留めの上フィニッシュネイル
 - せっこうボードの目地処理の種類等
 - (・目透し工法 ・突付け工法 ・突付けV目地工法 ○継目処理工法)

- その他
- ・再生部分の解体は 手こわし で行うこと。
 - ・再利用できるものは損傷の無いよう解体し、番付の上保管する。(監理者が指示)
 - ・既存材の柱、梁、造作材等の全てを出来るだけ転用もしくは加工して再利用を徹底すること。
 - ・既存部分の造作材の損傷は既存合わせて補修すること
 - ・既存再生部分で損傷が発見された部材の処理は監理者の指示に依ること。(柱下部の損傷は根継又は交換)
 - ・防虫防蟻処理は土壌において専門業者の施工を行い、必要に応じて建築内部においても行う。
 - 白アリ等による広域な損傷は施主、監理者、施工者の協議により費用負担を決めることとする。



1階



2階

1階

	記号	計算式 (m)	小計 (㎡)	面積 (㎡)
土間1	101	3.240 × 0.725	2.349	17.169
	102	4.940 × 3.000	14.820	
通り土間	103	1.010 × 0.605	0.611	9.369
	104	1.060 × 4.565	4.839	
	105	2.980 × 1.315	3.919	
土間2	106	4.020 × 2.980		11.980
収納1	107	1.980 × 0.670		1.327
収納2	108	0.910 × 0.605		0.551
広間1	109	3.930 × 2.970		11.672
広間2	110	2.970 × 2.910		8.643
廊下1	111	0.960 × 3.930		3.773
廊下2	112	8.770 × 0.990		8.682
下種スペース	113	1.930 × 3.930		7.585
厨房	114	2.920 × 3.000	8.760	18.706
	115	1.920 × 3.725	7.152	
	116	2.910 × 0.960	2.794	
パントリー	117	1.930 × 0.990		1.911
洗面1	118	1.530 × 0.990		1.515
WC1	119	1.530 × 2.010		3.075
WC2	120	1.530 × 0.960		1.469
階段	121	1.010 × 0.960		0.970
フロパン 室外機置場	122	0.600 × 1.590	0.954	2.112
	123	1.930 × 0.600	1.158	
合計面積				110.509

あ	3.240 × 0.725	2.349	4.466
い	2.920 × 0.725	2.117	

2階

	記号	計算式 (m)	小計 (㎡)	面積 (㎡)
ロビー	201	4.840 × 3.000		14.520
廊下3	202	9.850 × 0.960		9.456
収納3	203	0.940 × 0.960		0.902
洗濯	204	0.960 × 0.960		0.922
廊下4	205	2.420 × 1.015	2.456	6.986
	206	1.510 × 3.000	4.530	
個室前廊下	207	4.940 × 0.960	4.742	6.202
	208	0.930 × 1.570	1.460	
個室1	209	0.960 × 1.050	1.008	6.998
	210	2.980 × 2.010	5.990	
	211	0.960 × 0.960	0.922	
個室2	212	2.970 × 2.010	5.970	6.892
	213	2.970 × 3.900		
個室3	213	2.970 × 3.900		11.583
収納4	214	0.960 × 0.940		0.902
収納5	215	2.010 × 0.940		1.889
脱衣	216	1.040 × 1.570		1.633
シャワー	217	1.040 × 1.340		1.394
洗面2	218	1.970 × 1.050		2.069
WC3	219	0.930 × 1.340		1.246
階段	220	1.010 × 3.000		3.030
合計面積				76.624

収容人員算定面積の計
39.99㎡

延床面積	
1階床面積	110.50
2階床面積	76.62
延床面積	187.12

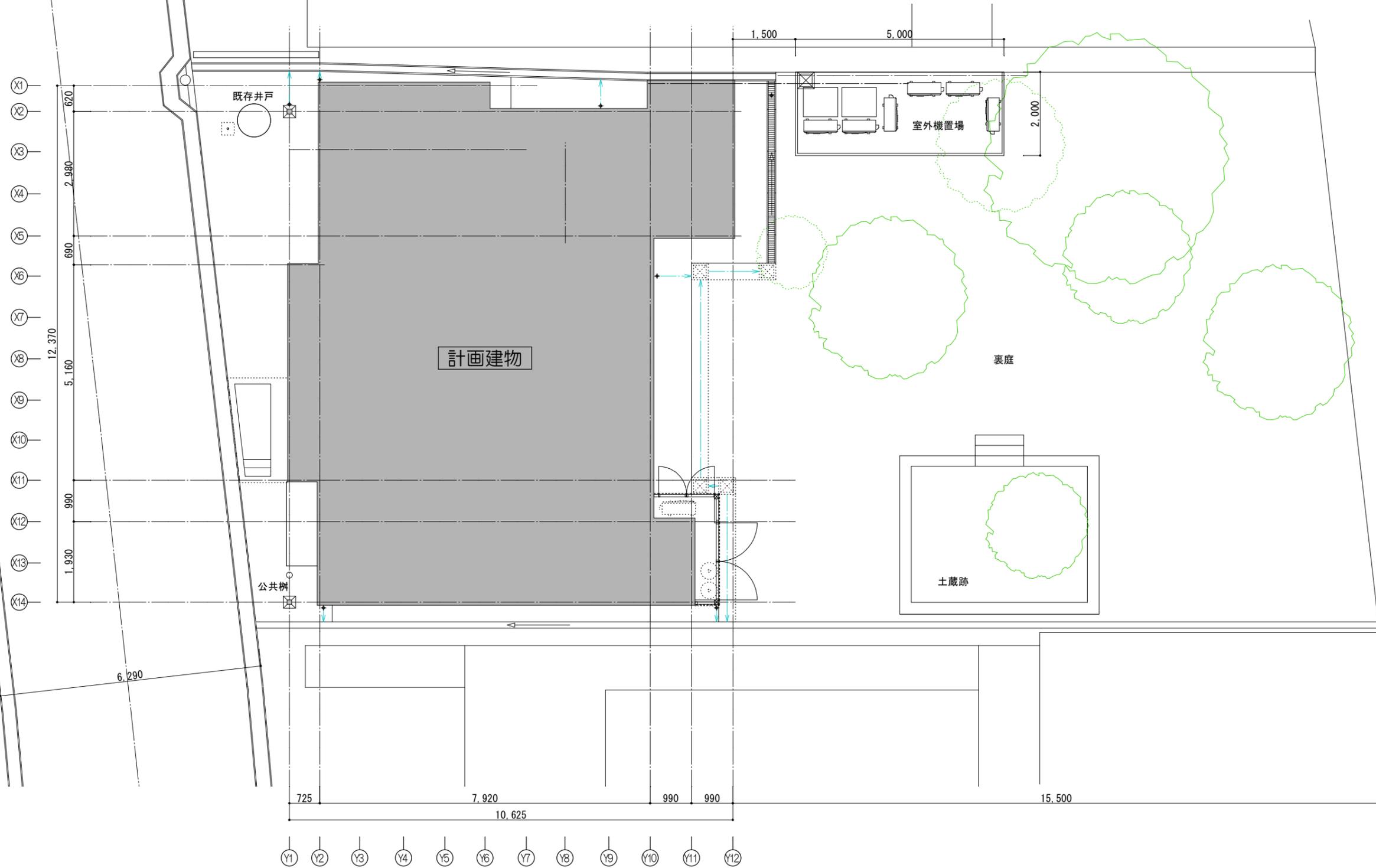
建築面積	
建築面積=1階床面積+あ+い	114.96

■消防項判定・収容人員算定

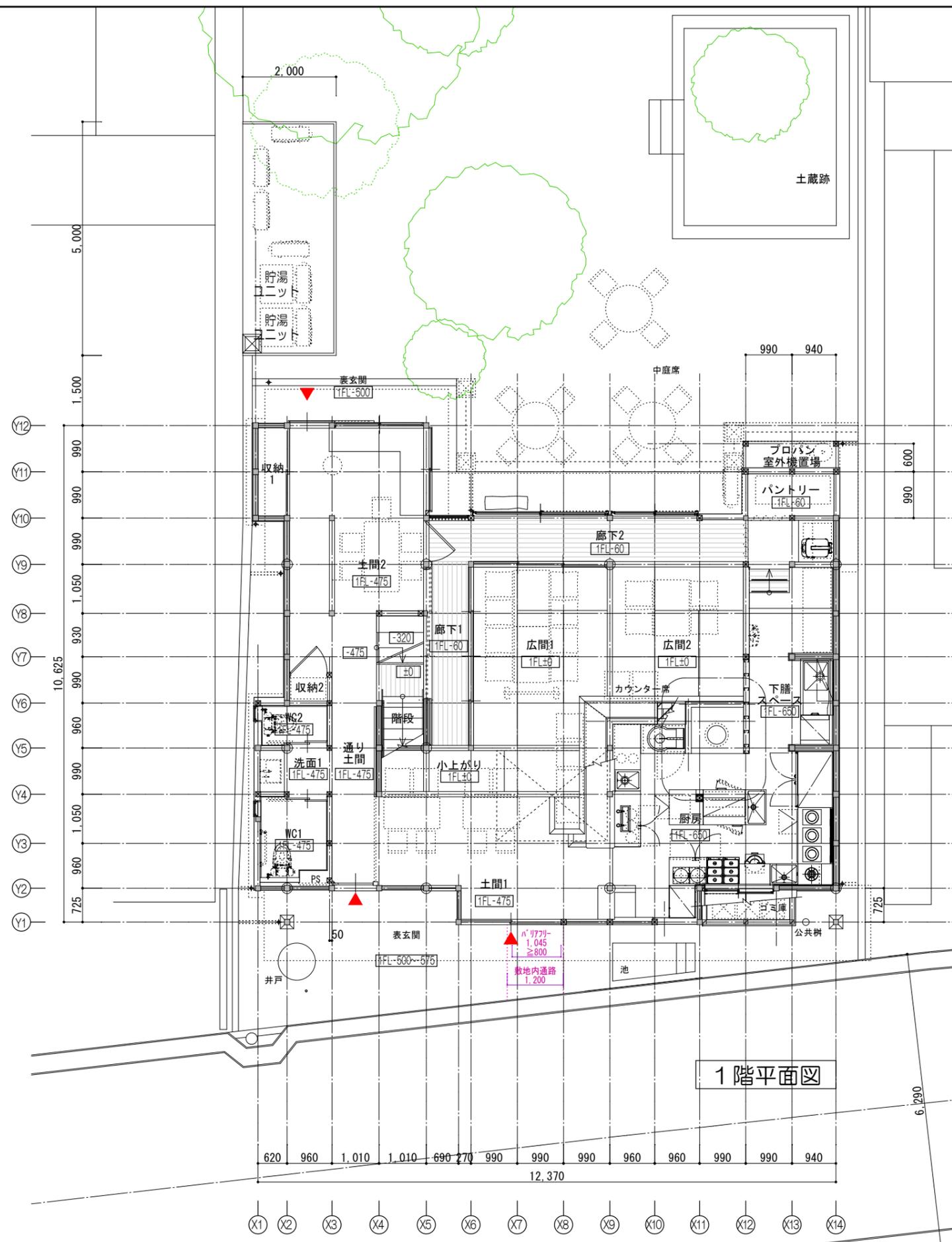
1階：6項 (ハ) → スタッフ+就労支援利用者の数で算定 = スタッフ：6名+利用者：4名=10名
 2階：5項 (イ) → 利用居室 1人/3㎡ で算定 = 39.99/3≒11名
 複合用途：16項 (イ)

収容人員計：21名

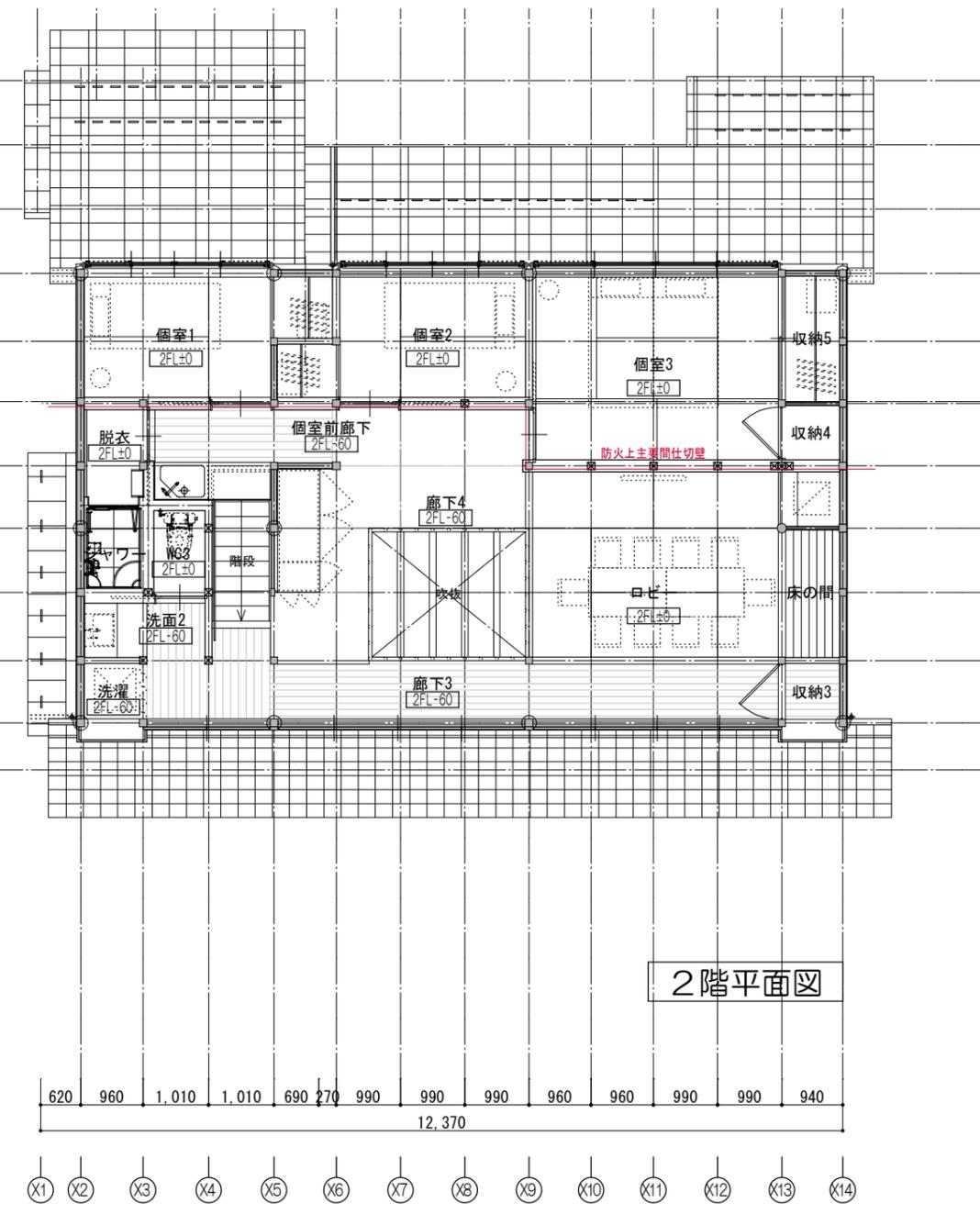
計画敷地：鳥取県西伯郡南部町法勝寺507



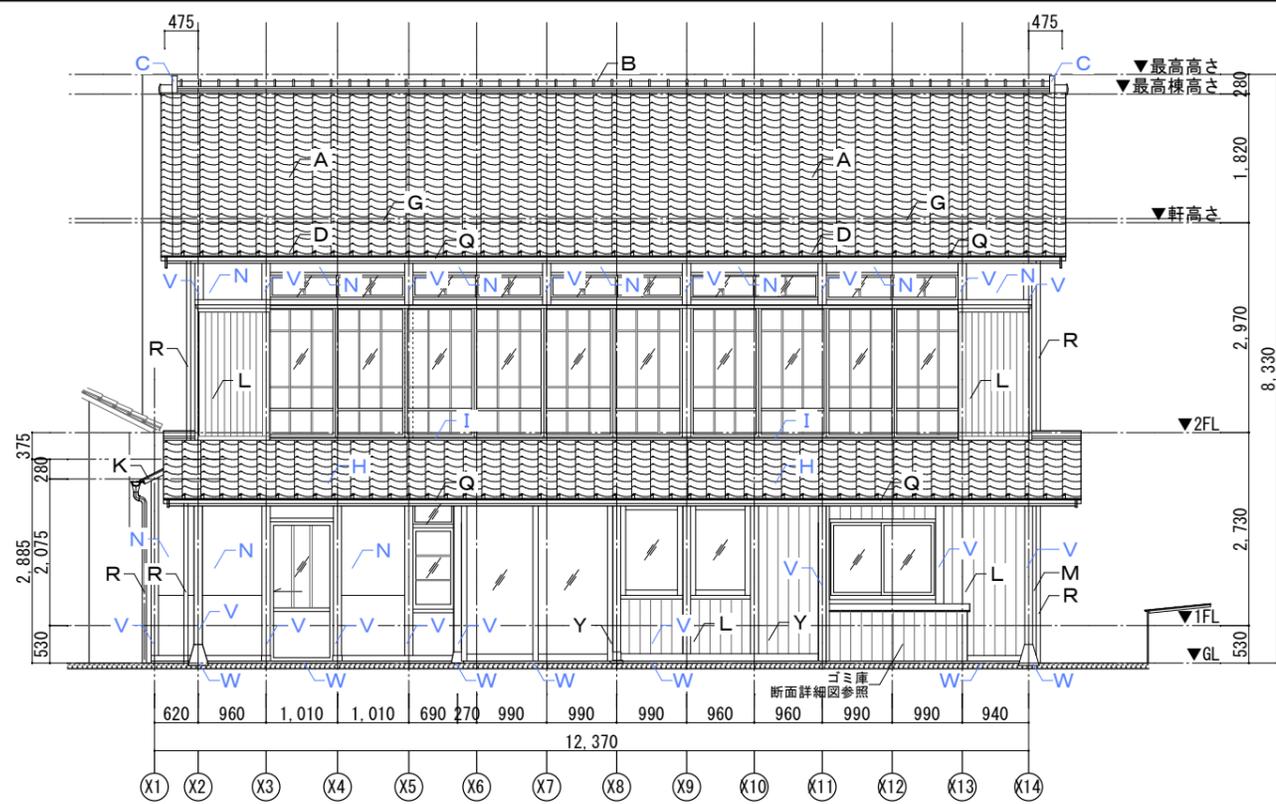
■ 既存柱・壁位置を示す



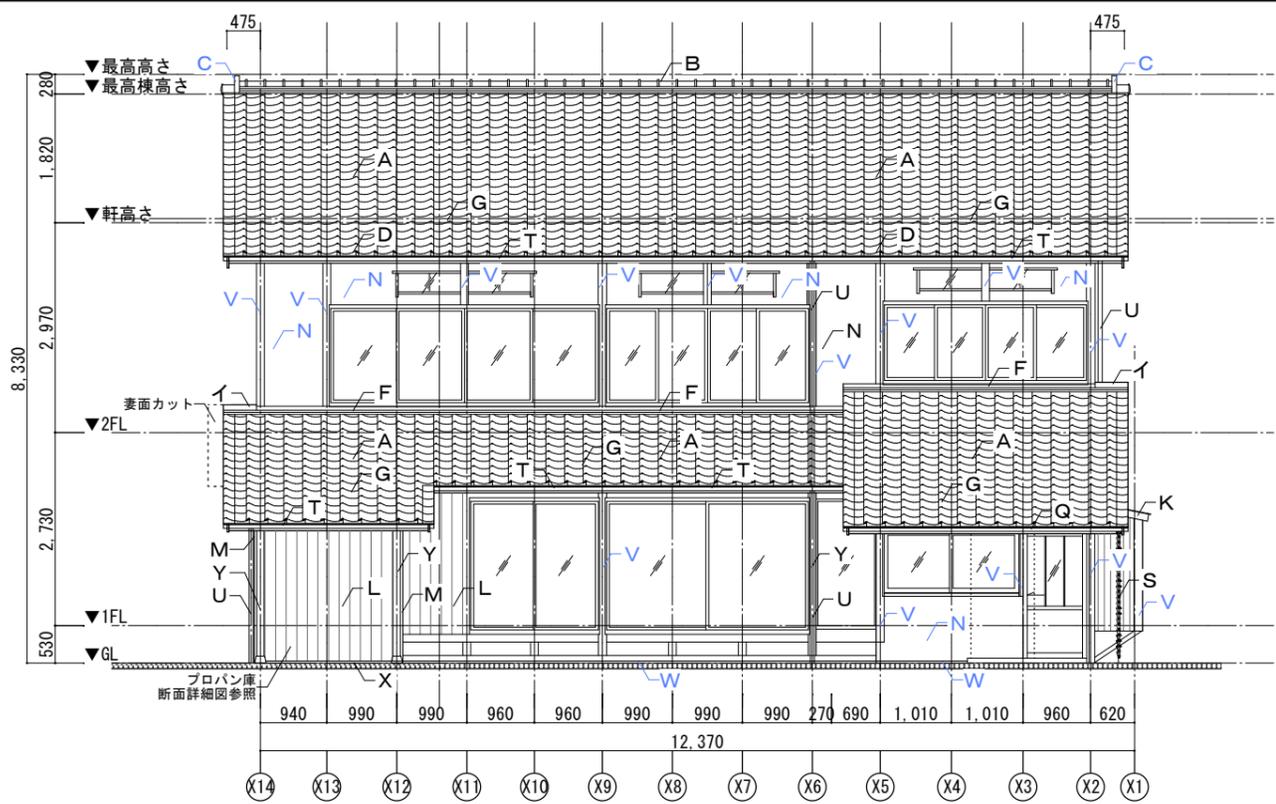
1階平面図



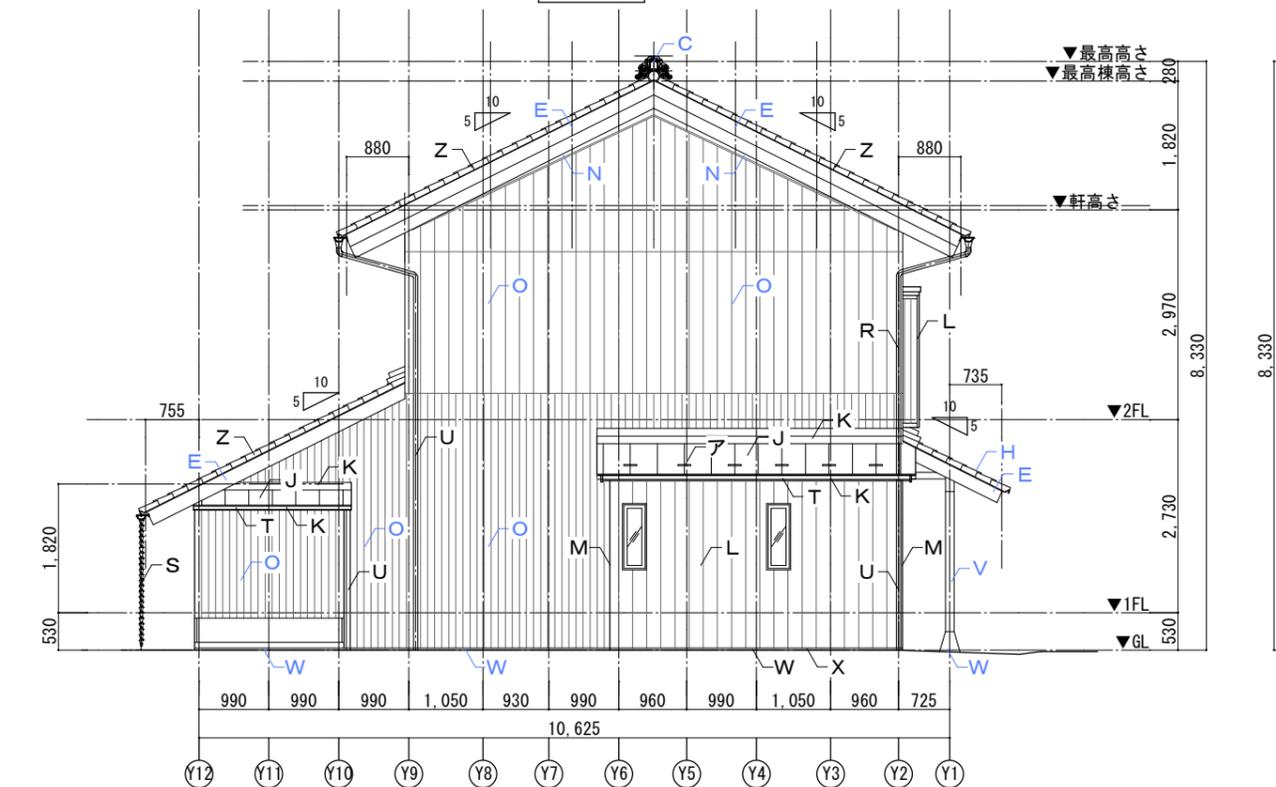
2階平面図



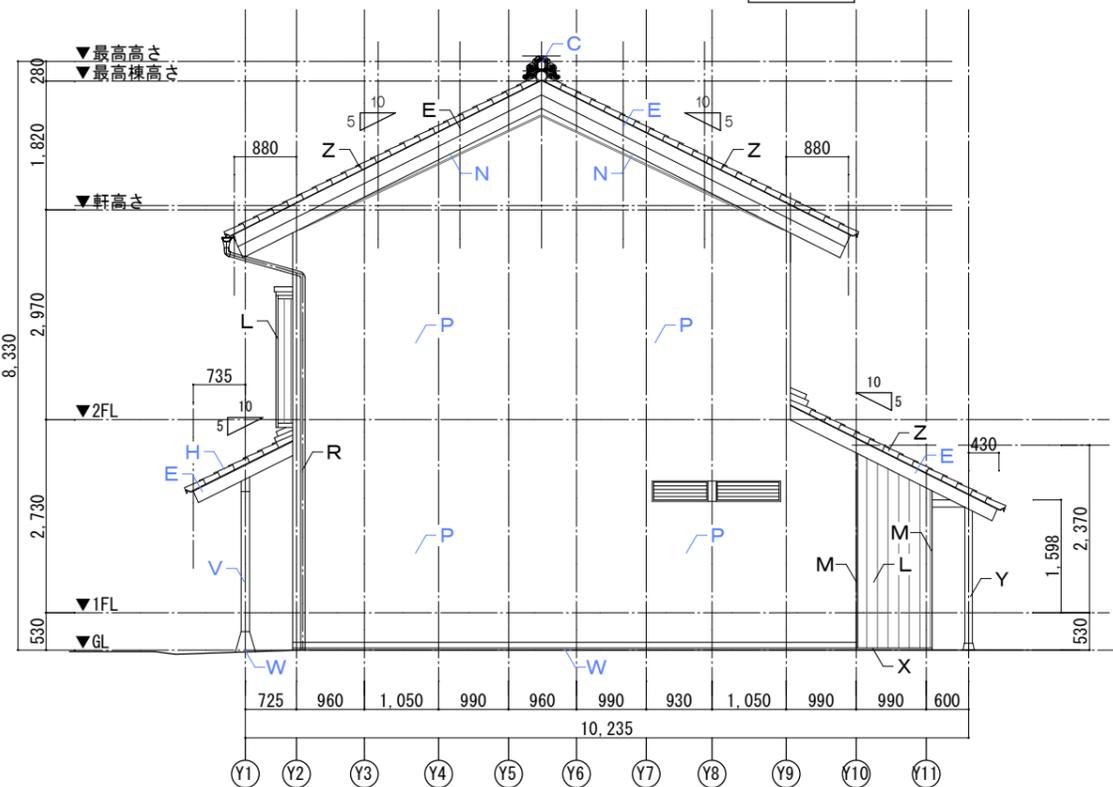
南西面



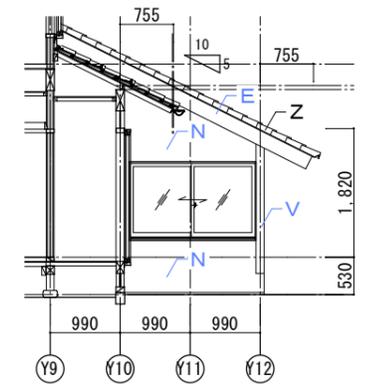
北東面



北西面



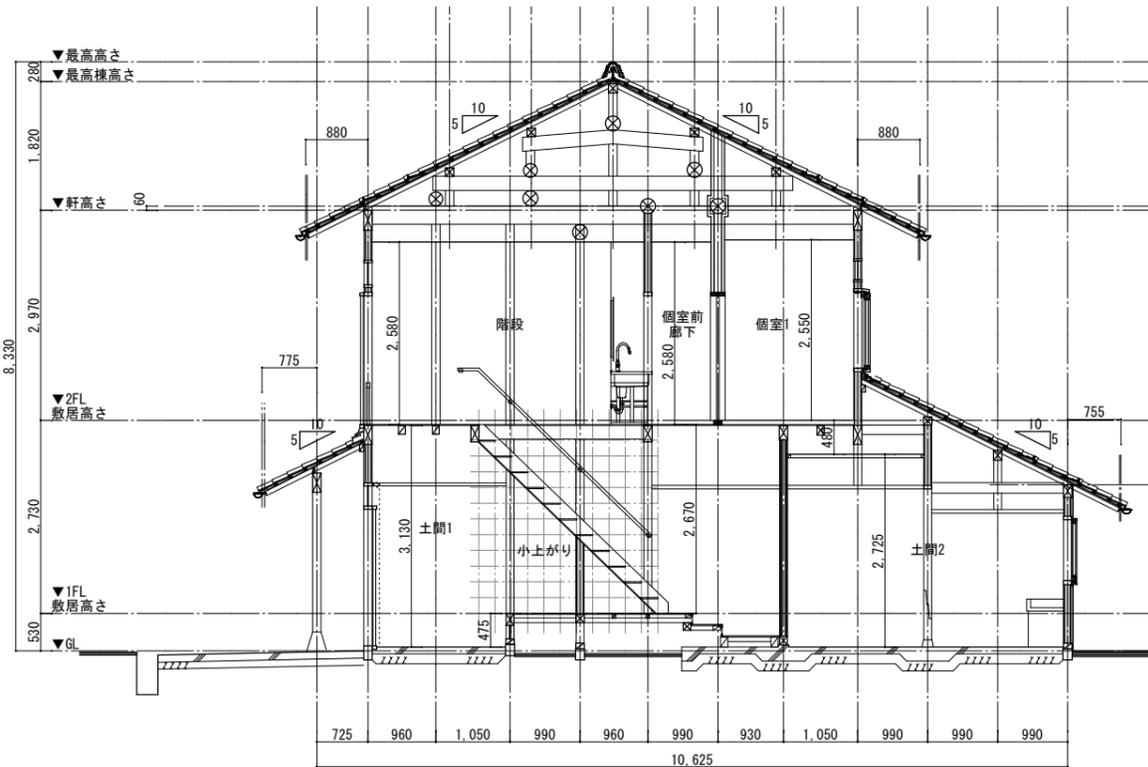
南東面



中庭廻り

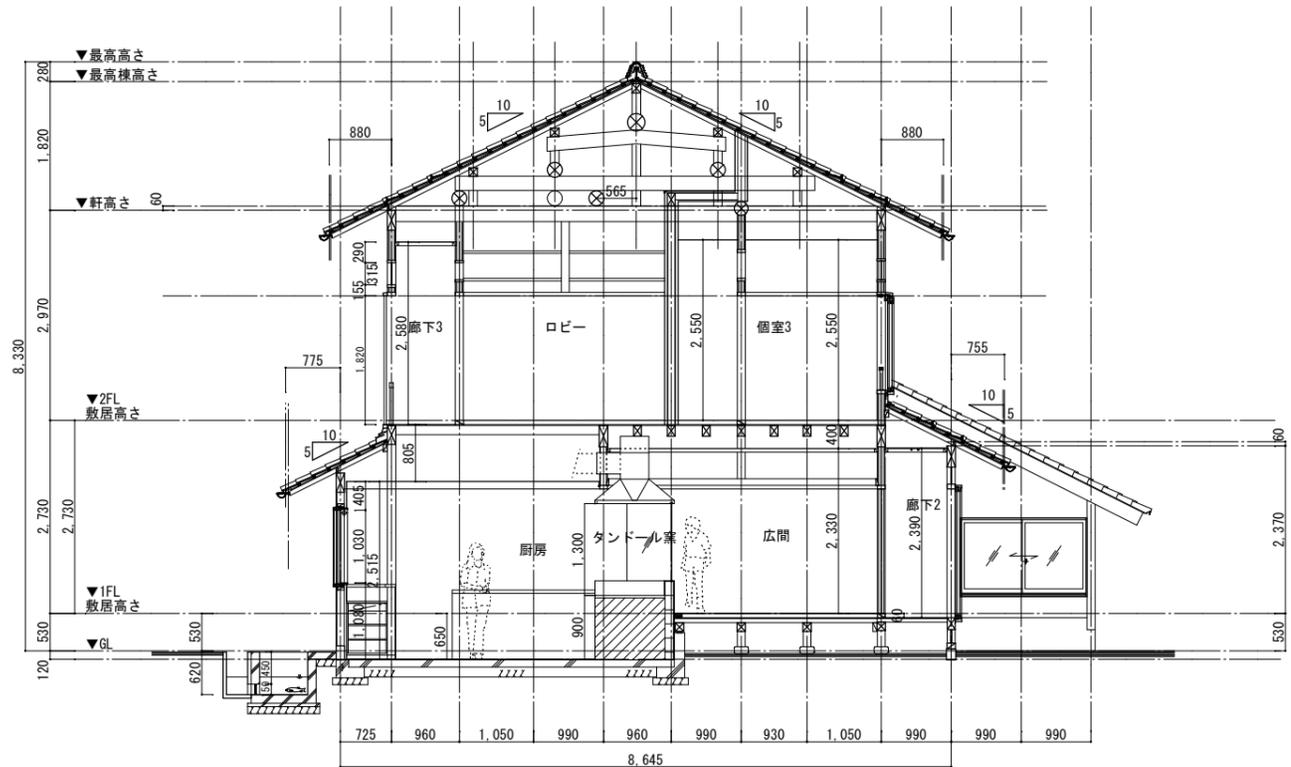
記号凡例

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
A	【新設】屋根A：軽量セメント瓦（【ケイミュー】ROOGA「雅」）	H	【既存】屋根B：瓦屋根 既存のまま	O	【既存】外壁B：木板縦張り 既存のまま	V	【既存】化粧柱：既存のまま
B	【新設】棟：高棟仕様、換気設備	I	【既存】のし瓦不随調整	P	【既存】外壁B：板金波板 既存のまま	W	【既存】縁石・東石：既存のまま
C	【既存】既存瓦葺 美装再設置	J	【新設】屋根C：カラーSGL鋼板t0.4 立平葺	Q	【新設】軒樋A：ガルバリウム製 半丸φ120	X	【新設】基礎：コンクリート打放し カラークリア塗装
D	【新設】軒先：広小舞仕様	K	【新設】ケラバ包み・軒先水切・雨押え：木下地カラーSGL鋼板曲げ加工（屋根同材）	R	【新設】軒樋B：ガルバリウム製 φ60	Y	【新設】化粧柱・梁：OSM塗 足元東石
E	【既存】破風板	L	【新設】外壁A：スギt15 W150 堅羽目板貼（実加工） OSM塗装	S	【新設】鋼線	Z	【新設】ケラバ：ROOGA専用部材
F	【新設】雨押え：木下地カラーSGL鋼板曲げ加工	M	【新設】外壁コーナー：スギ30角 OSM塗（外壁A）	T	【新設】軒樋C：塩ビ製 半丸φ120	ア	【新設】雪止め：L型アングル50×50 1列 溶融亜鉛メッキ塗装
G	【新設】雪止め：RG雪止め金具2列（屋根同色）	N	【既存】外壁B：土壁の上、漆喰塗 既存のまま	U	【新設】軒樋D：塩ビ製 φ60	イ	【新設】棟包（ROOGA部材）



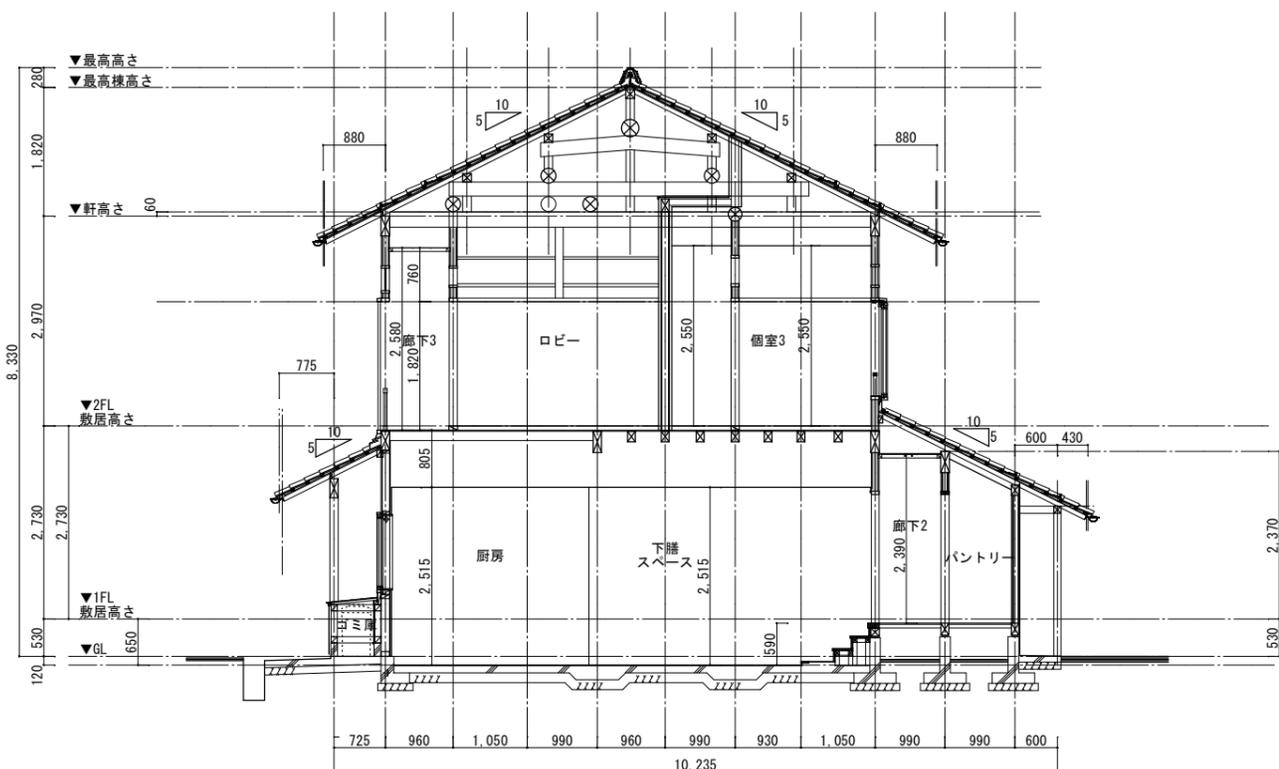
Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11 Y12

X4-X5通り間



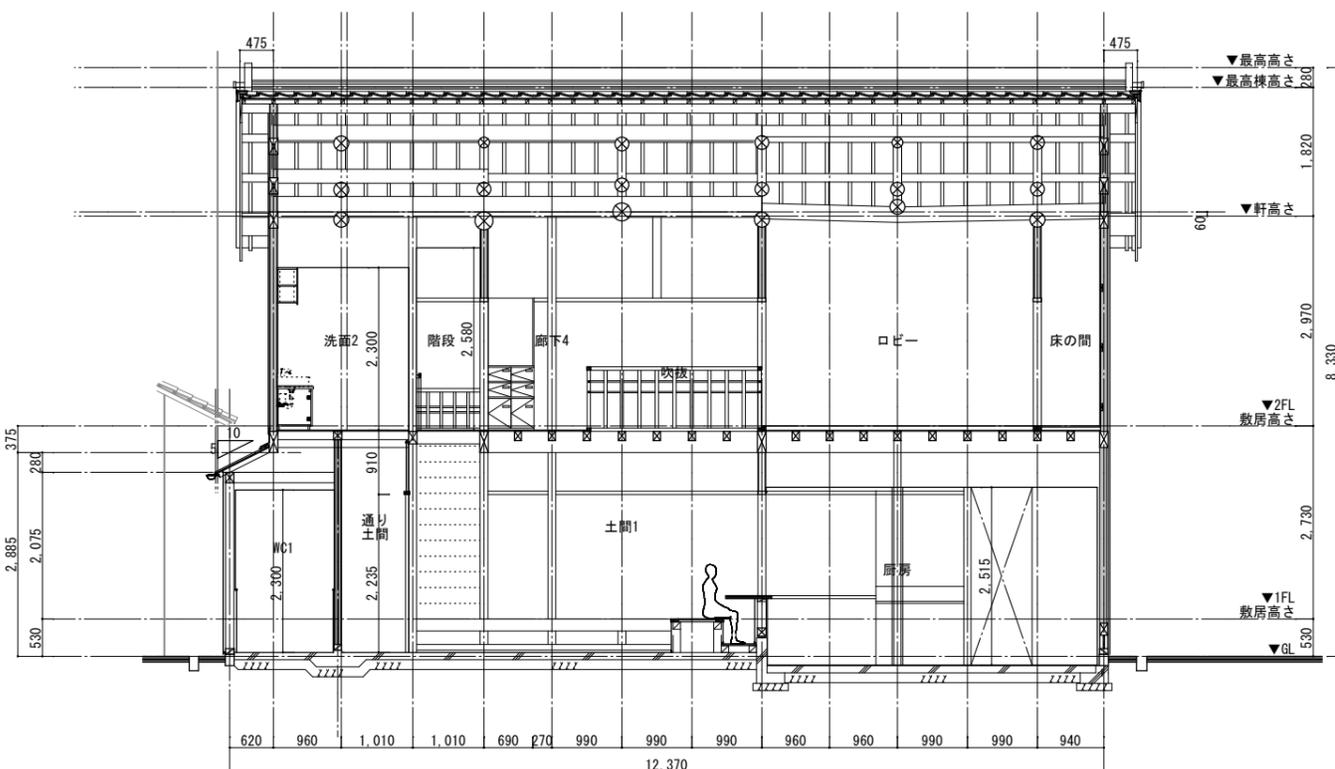
Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11 Y12

X11-X12通り間



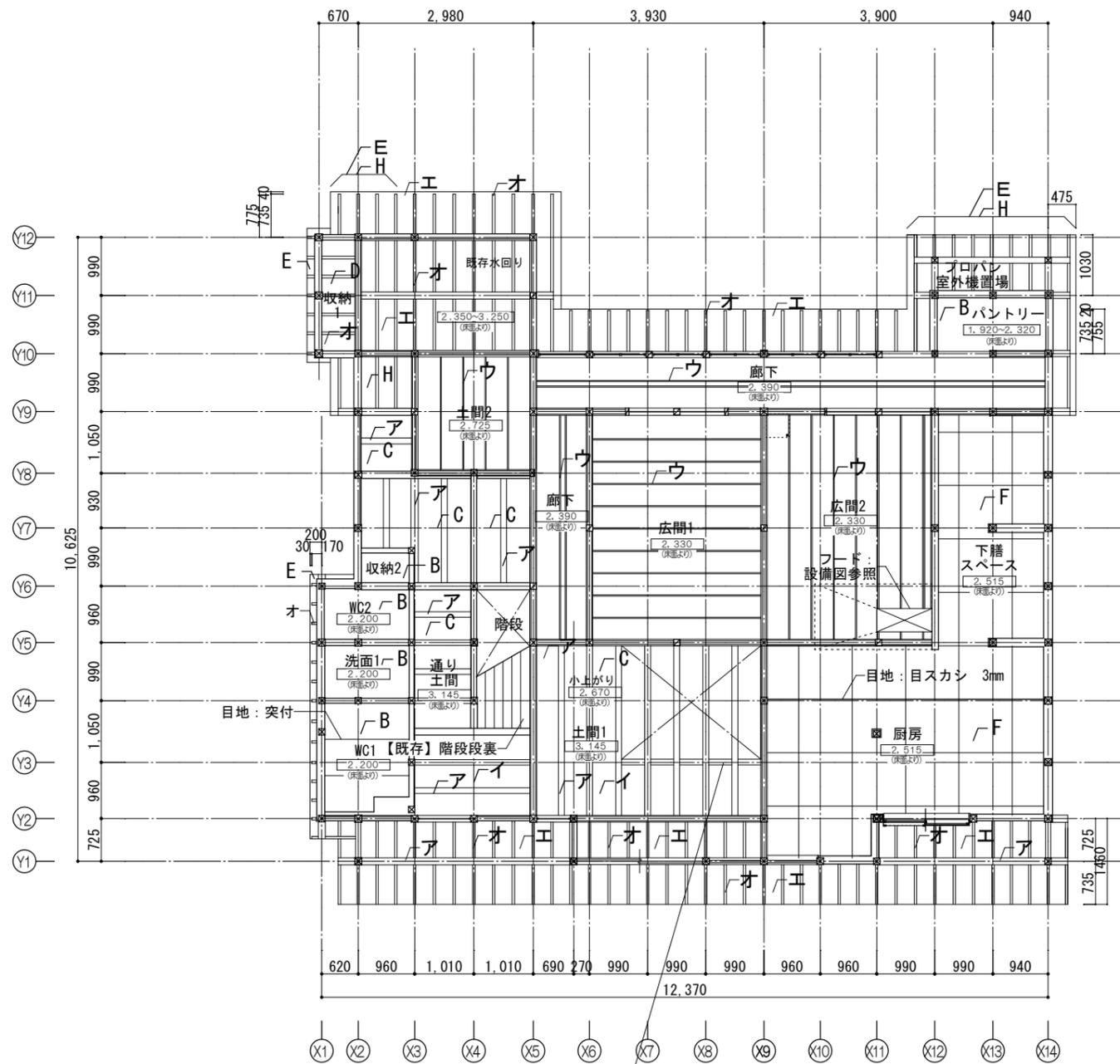
Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10 Y11

X12-13通り間

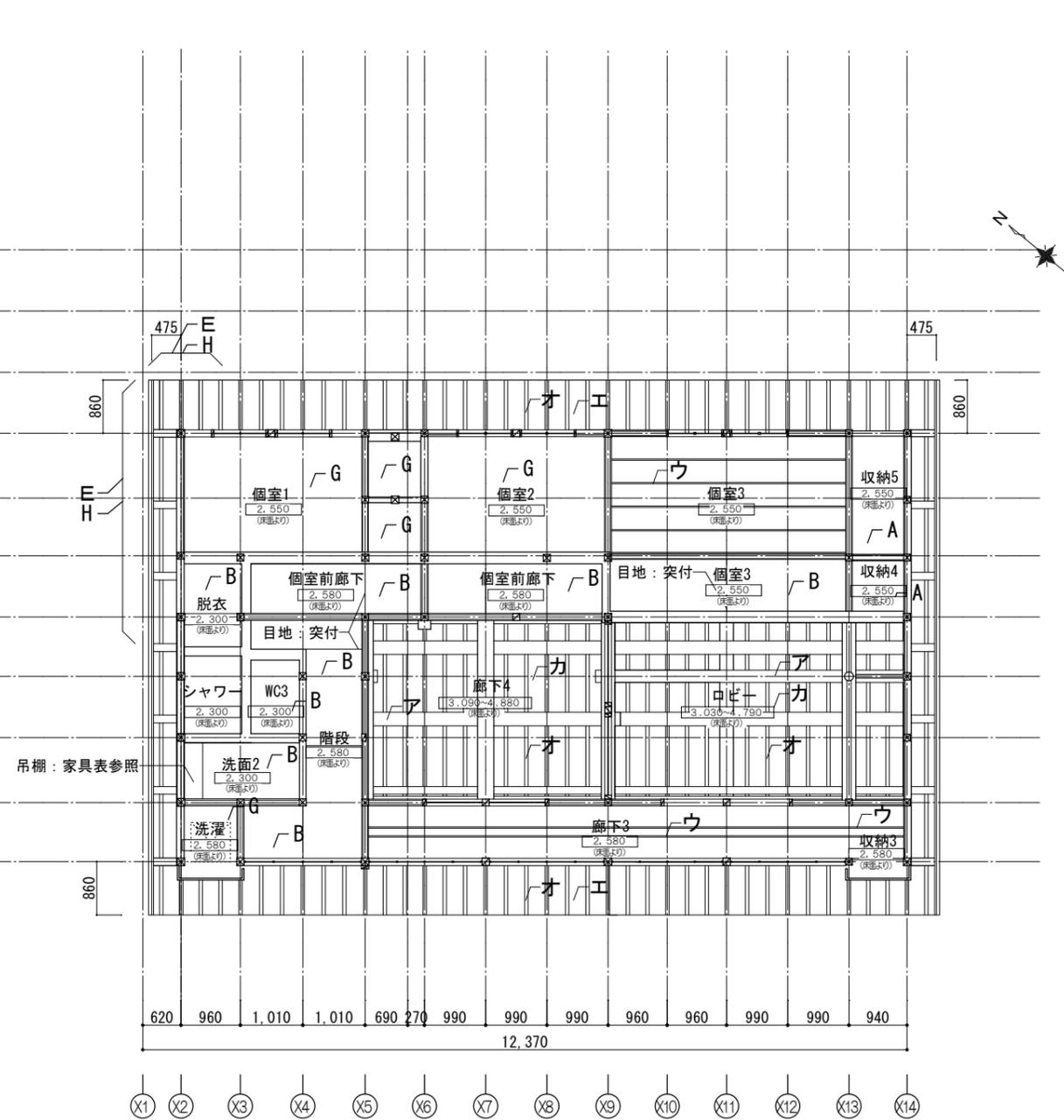


X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14

Y3-Y4通り間



1階天井伏図

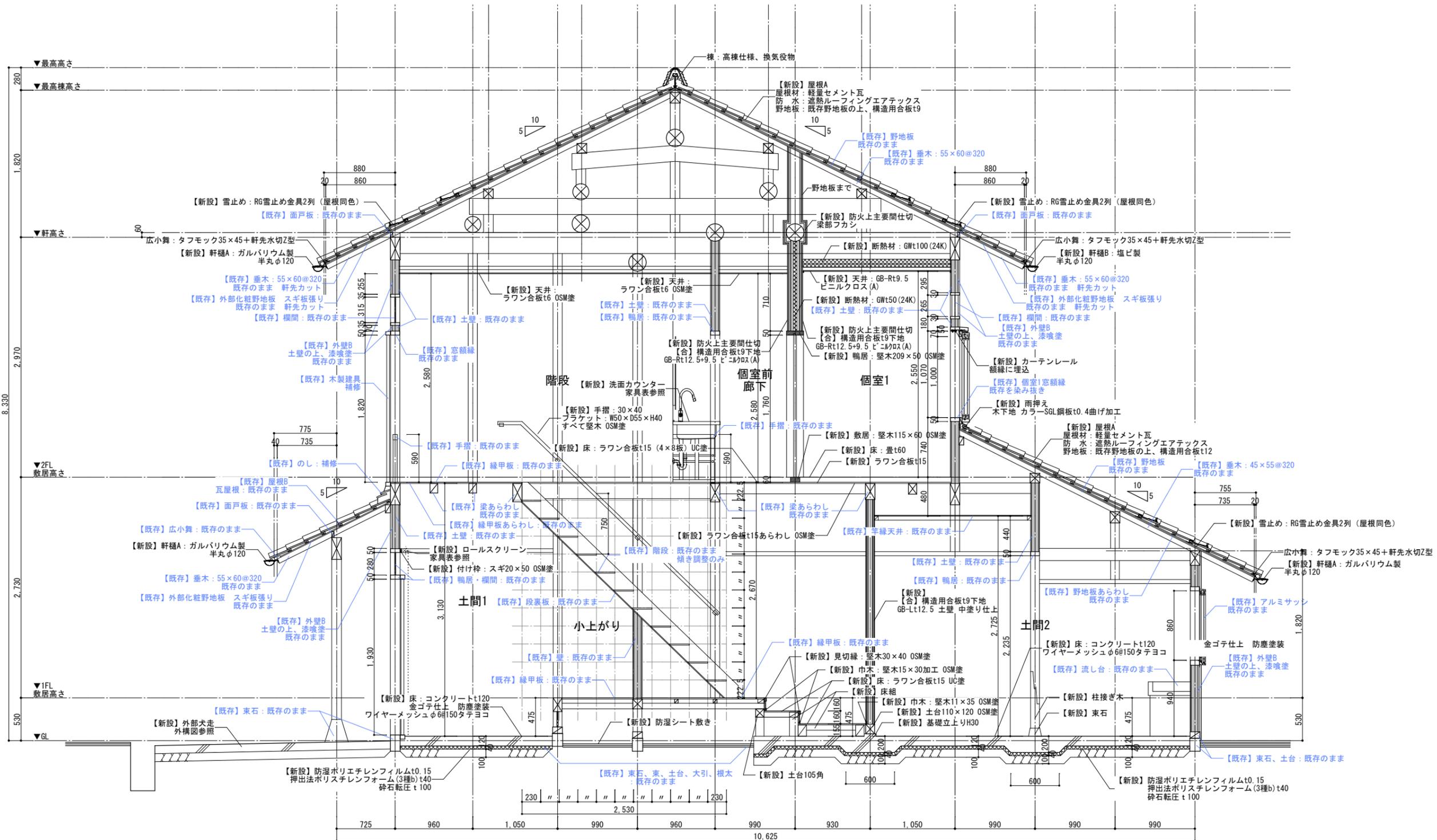


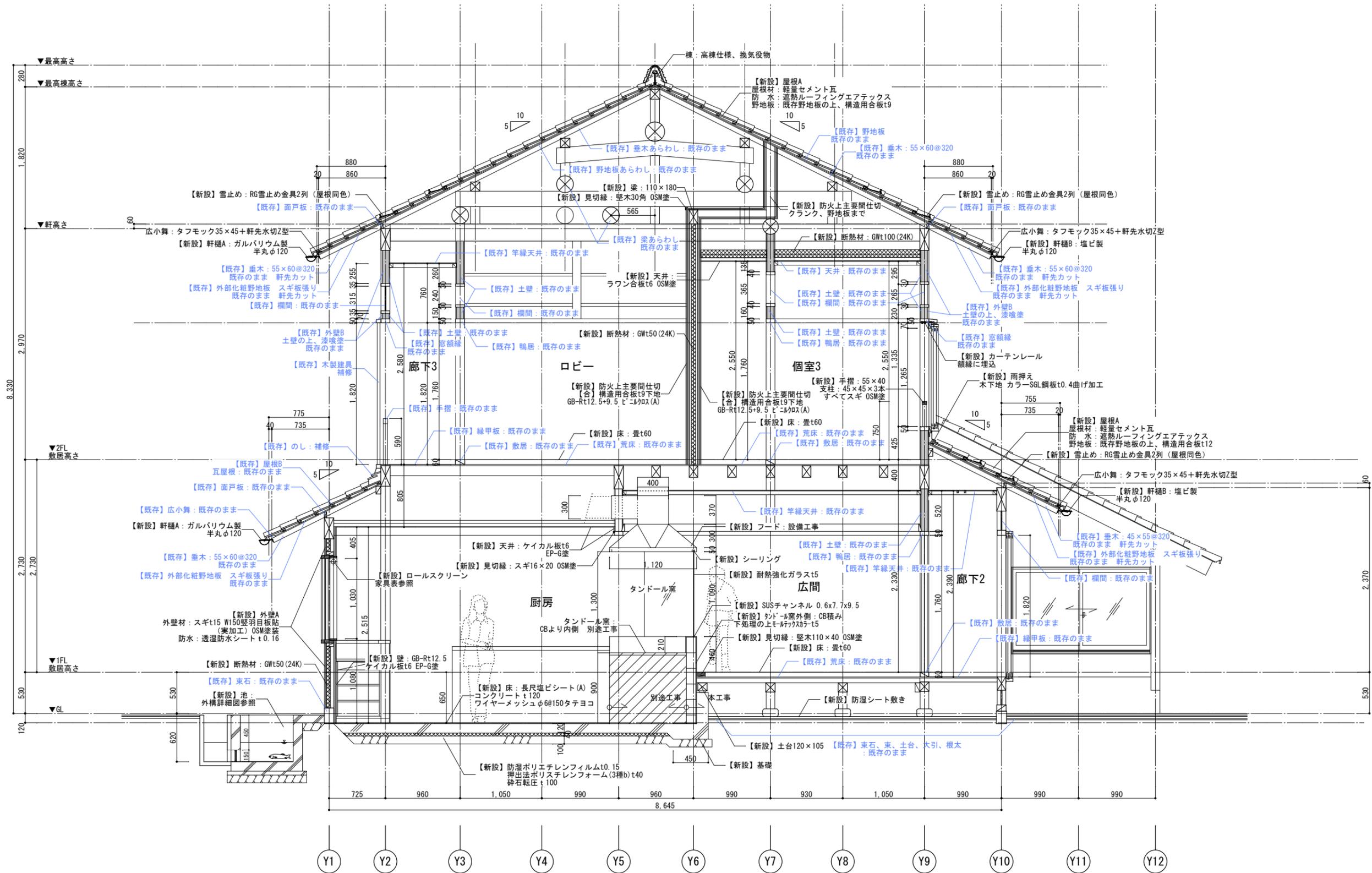
2階天井伏図

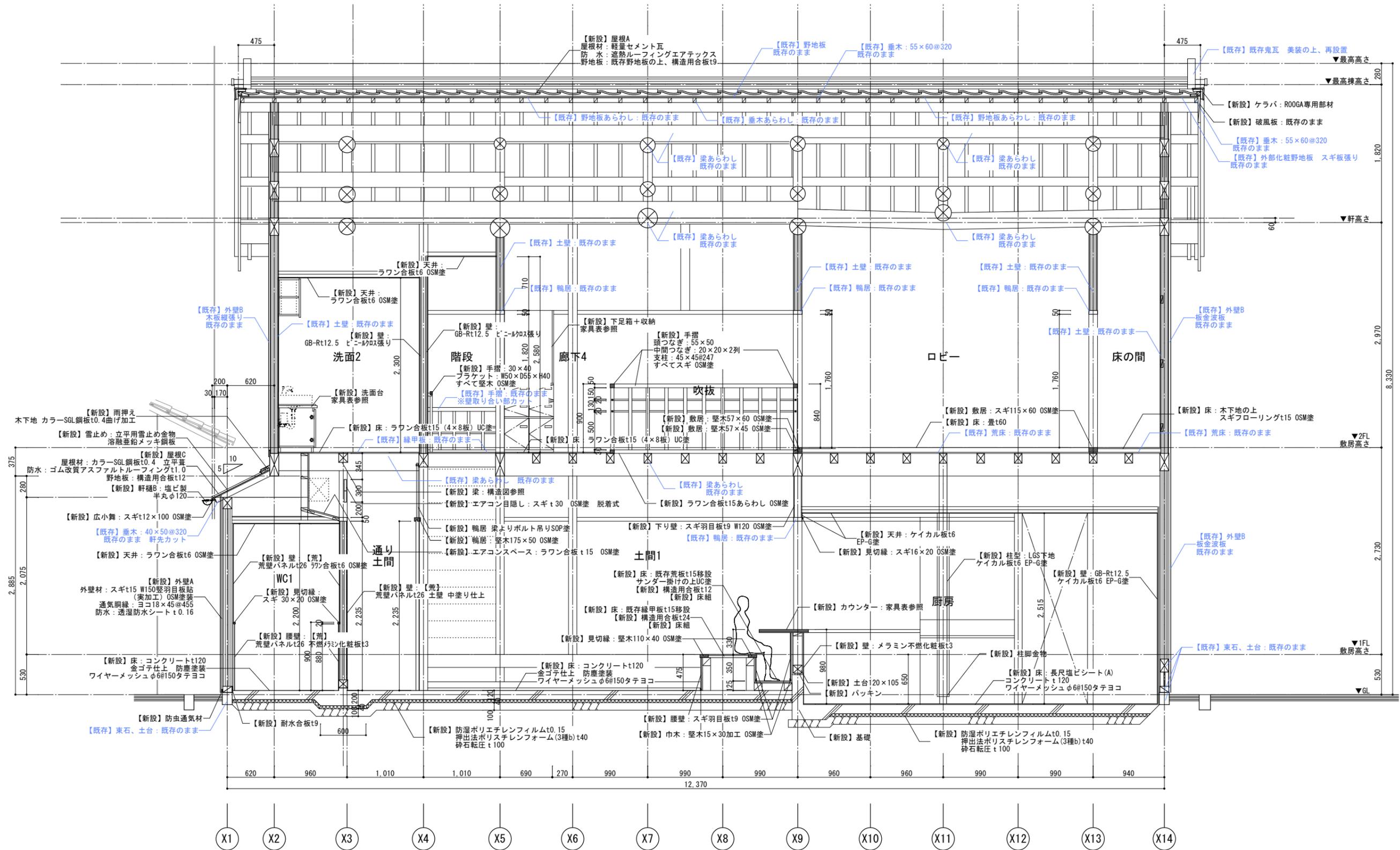
【新設】梁：□105 OSM塗

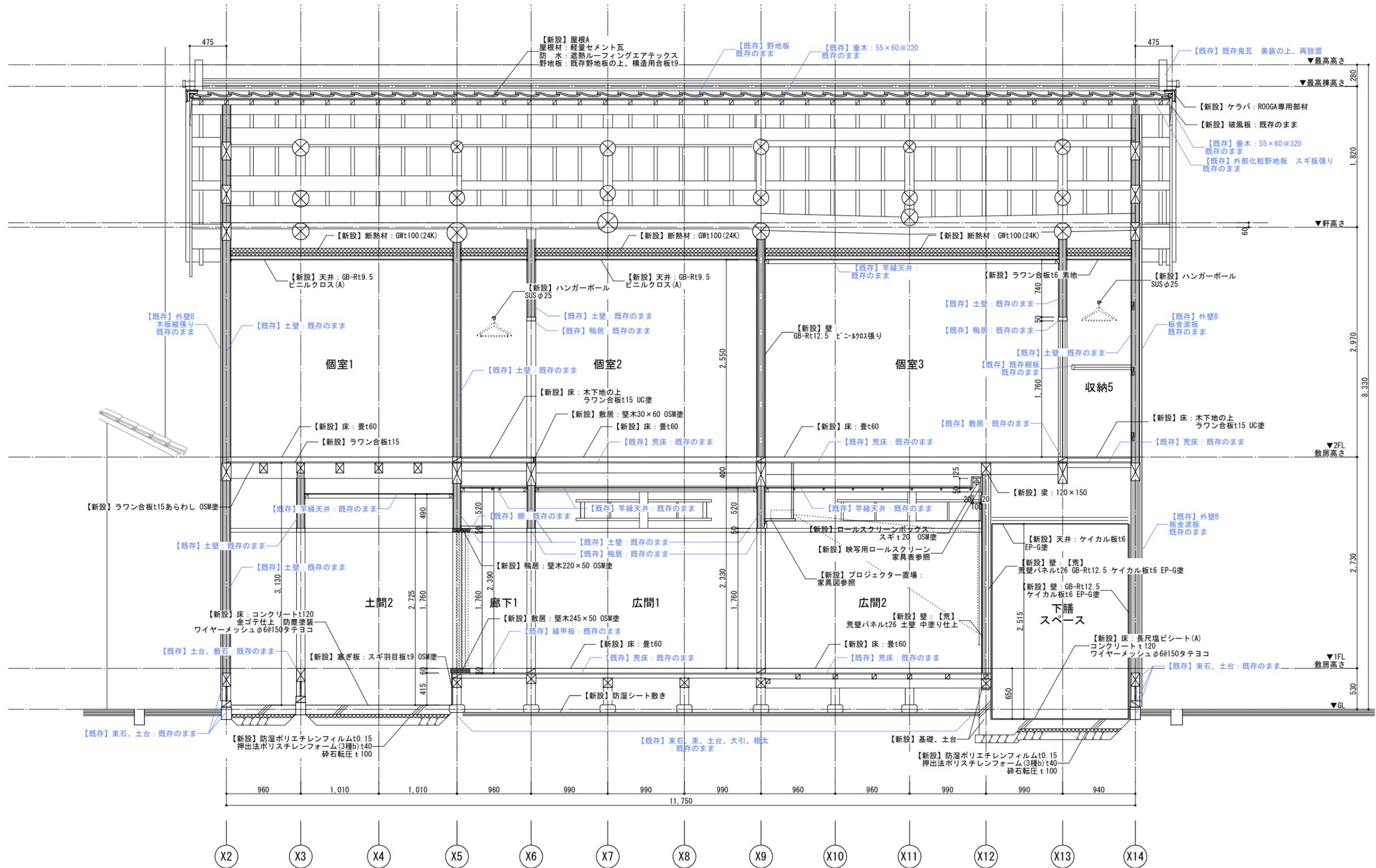
■凡例

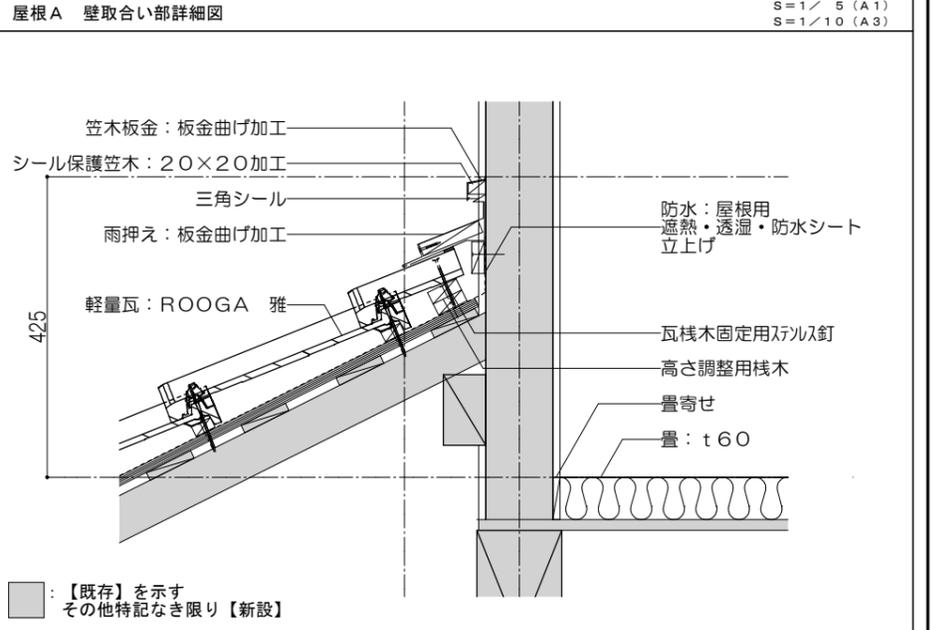
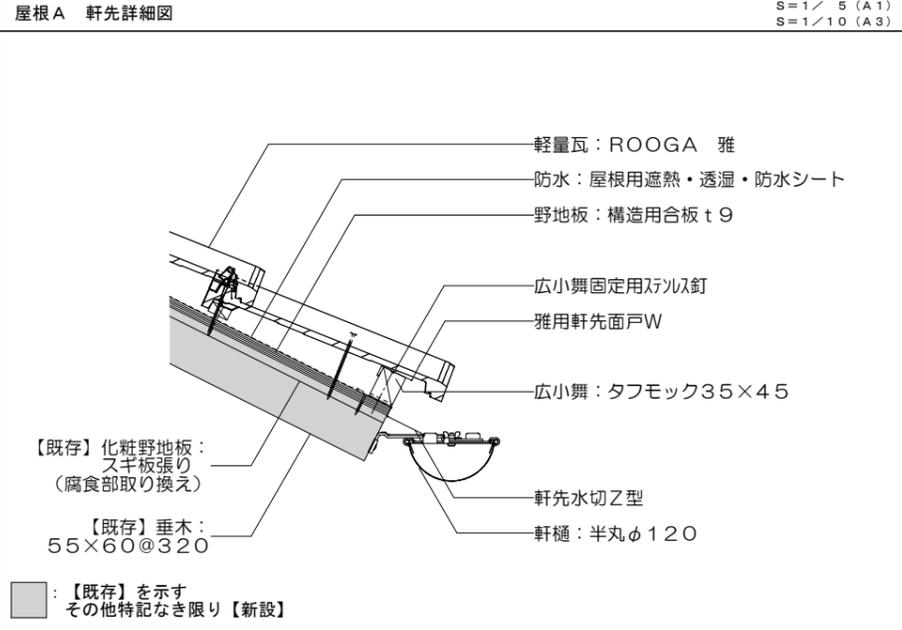
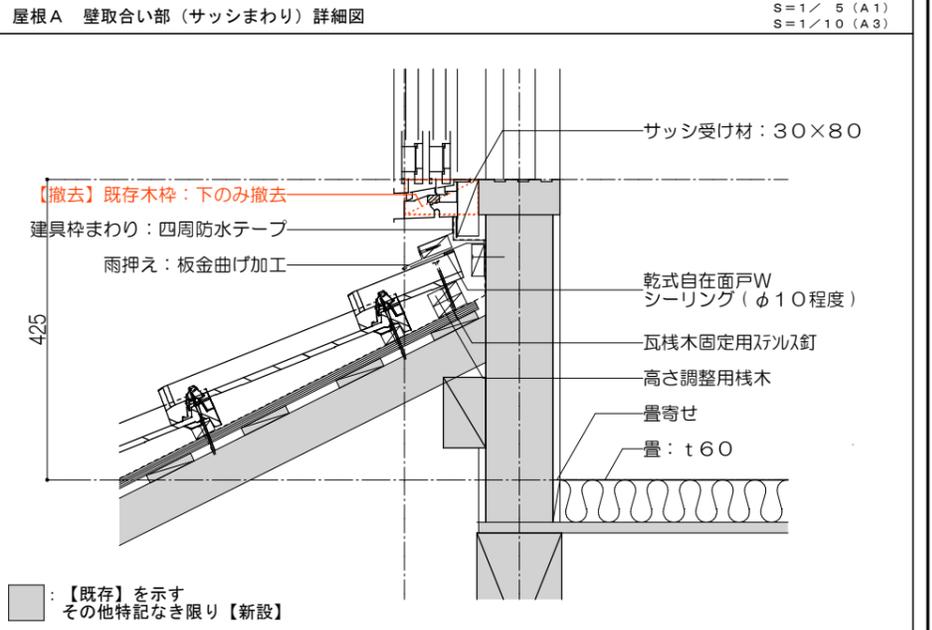
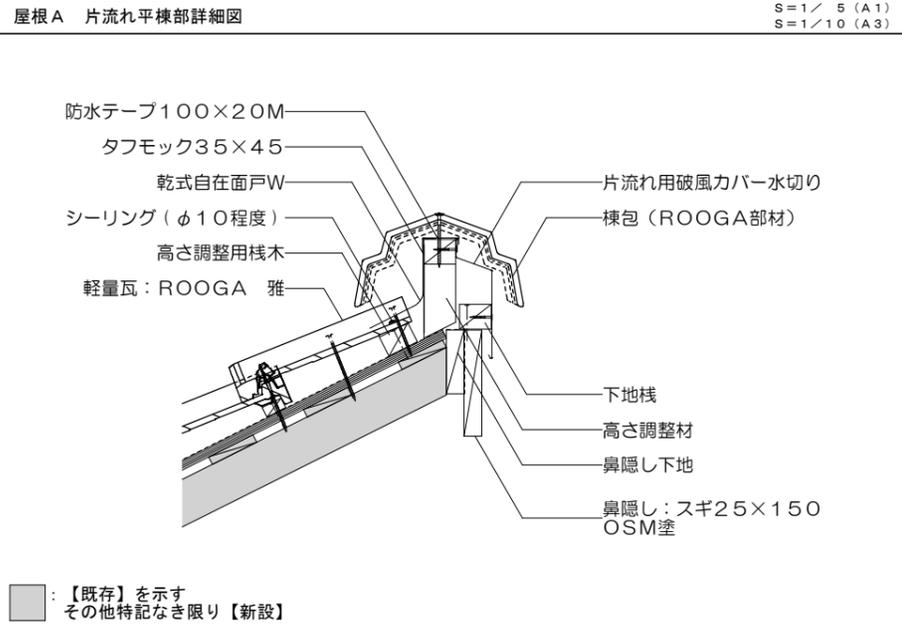
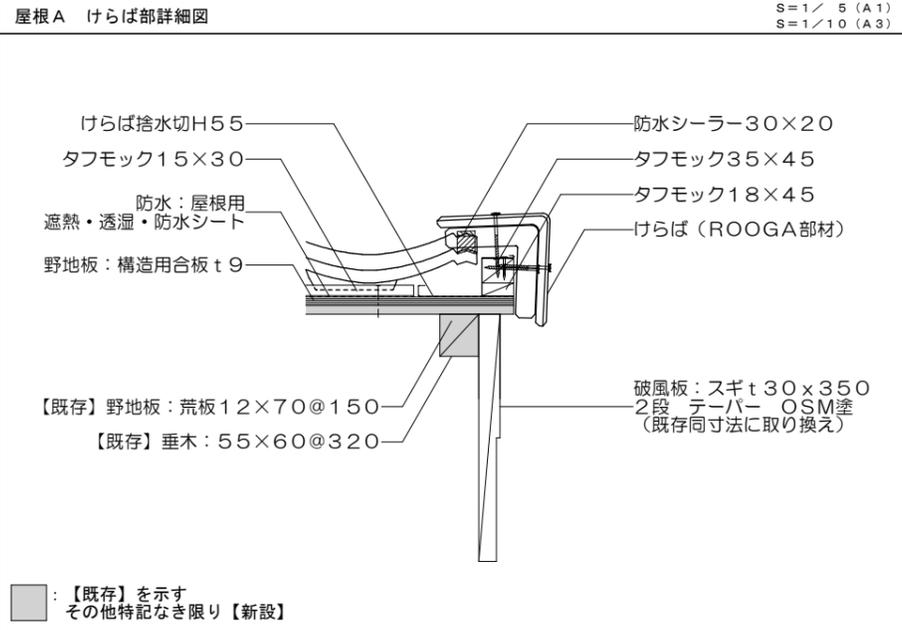
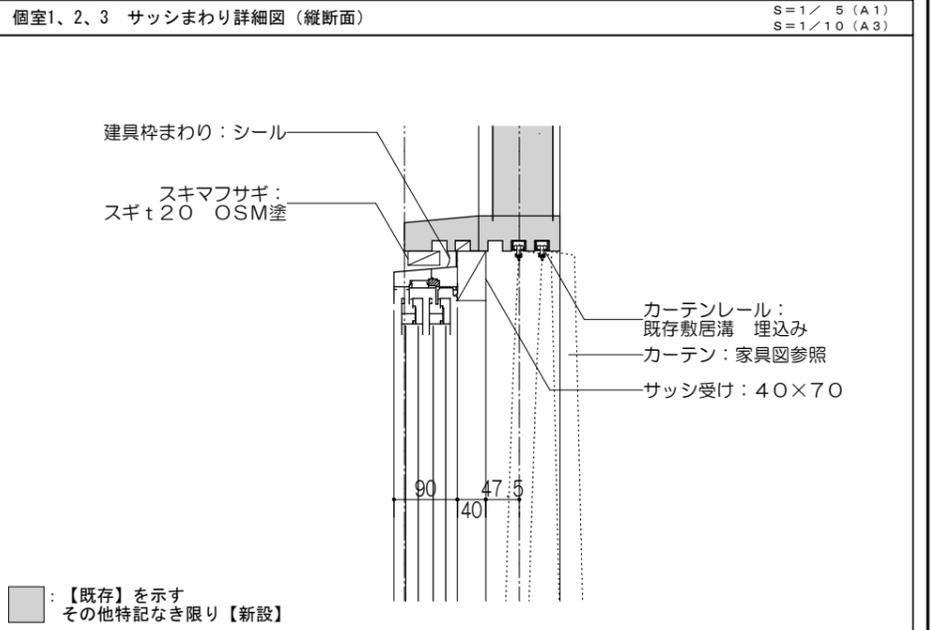
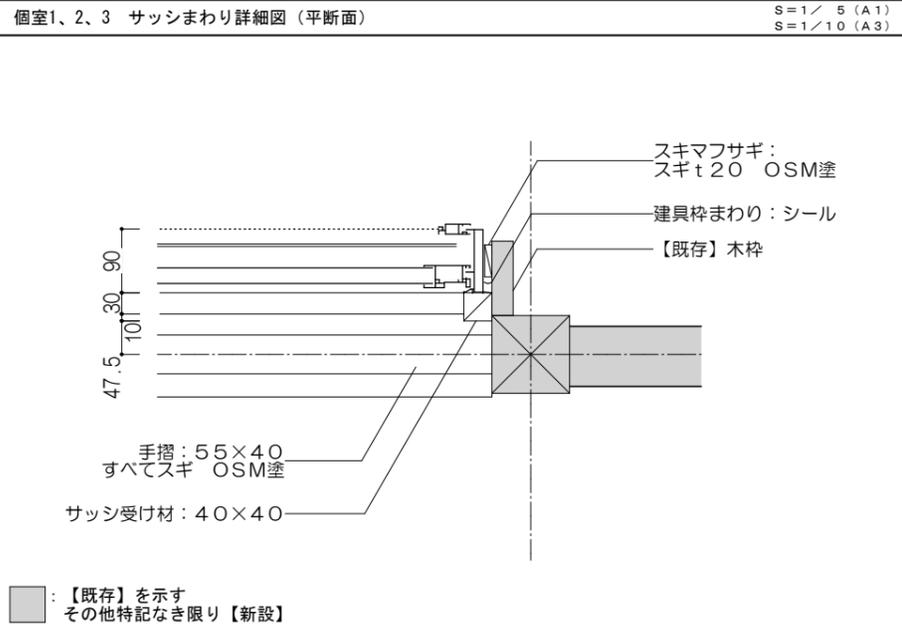
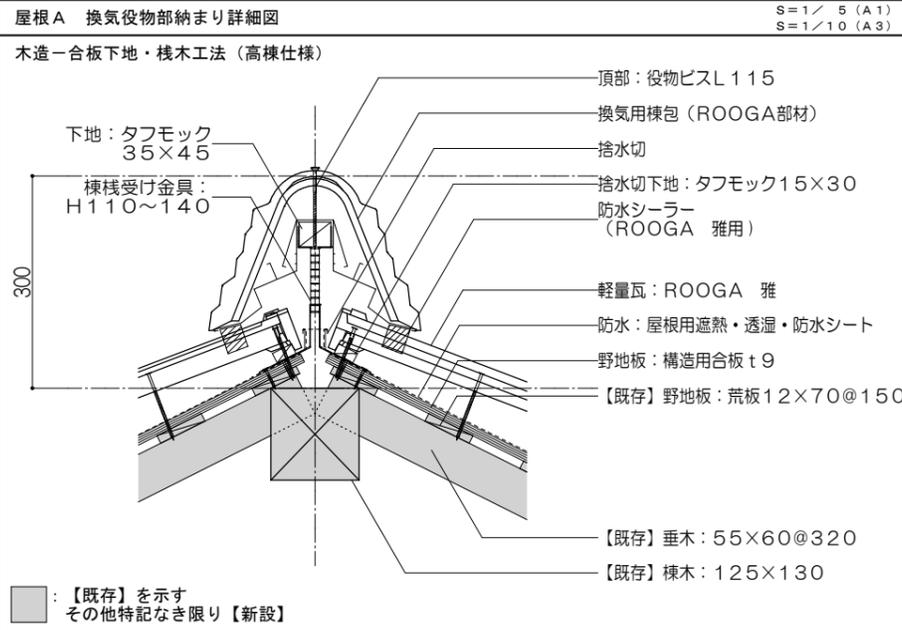
記号	仕上
A	ラワン合板 t6 素地
B	ラワン合板 t6 OSM塗 (目地突付)
C	ラワン合板 t15 現し OSM塗
D	構造用合板 t12 現し
E	構造用合板 t12 現し OSM塗
F	ケイカル板 t6 EP-G塗
G	GB-R t9.5 ビニルクロス (A)
H	【新設】墨木現し OSM塗
ア	【既存のまま】梁現し
イ	【既存のまま】上階縁甲板現し
ウ	【既存のまま】竿縁天井現し
エ	【既存のまま】荒板現し
オ	【既存のまま】垂木現し
カ	既存荒板の上構造用合板素地

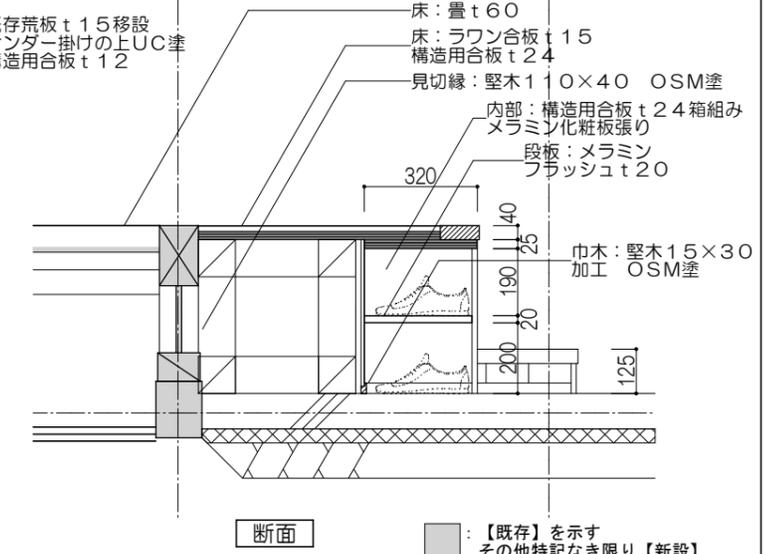
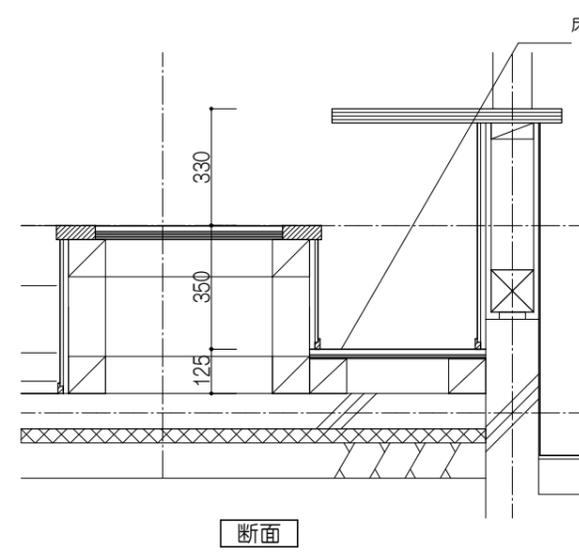
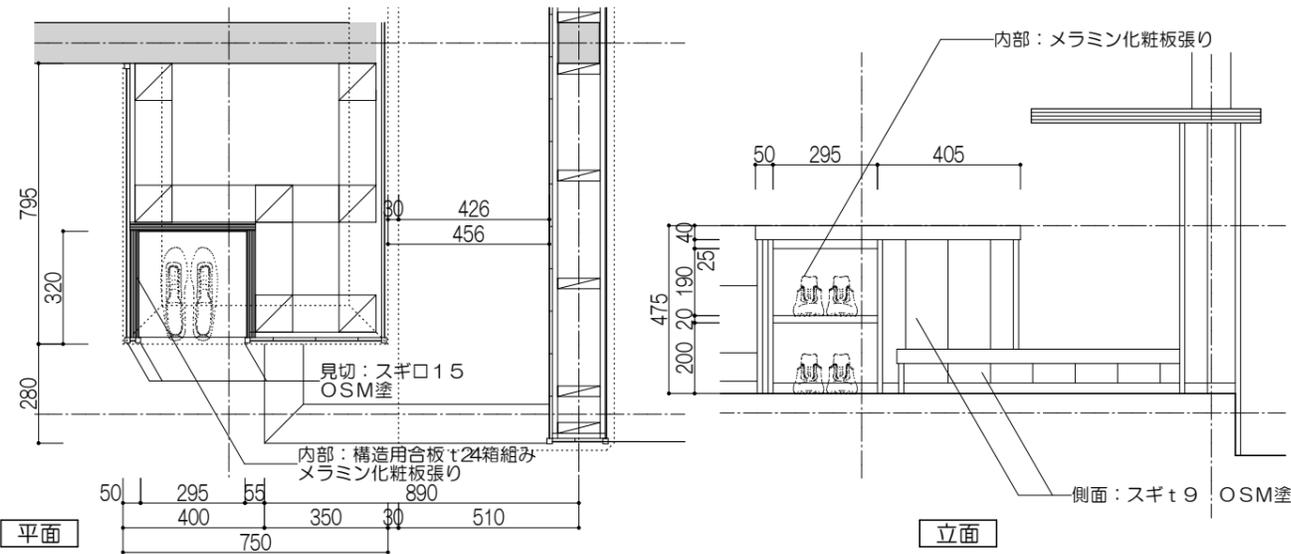






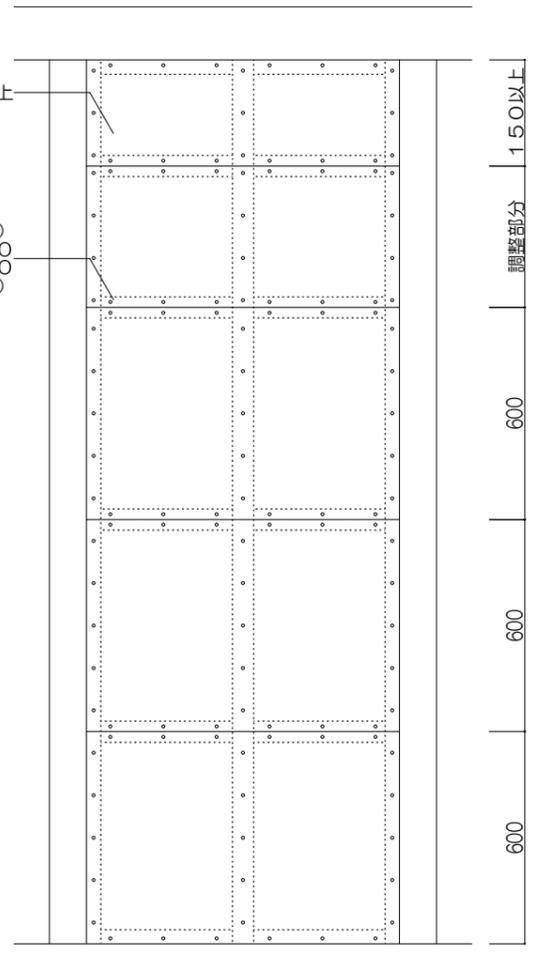
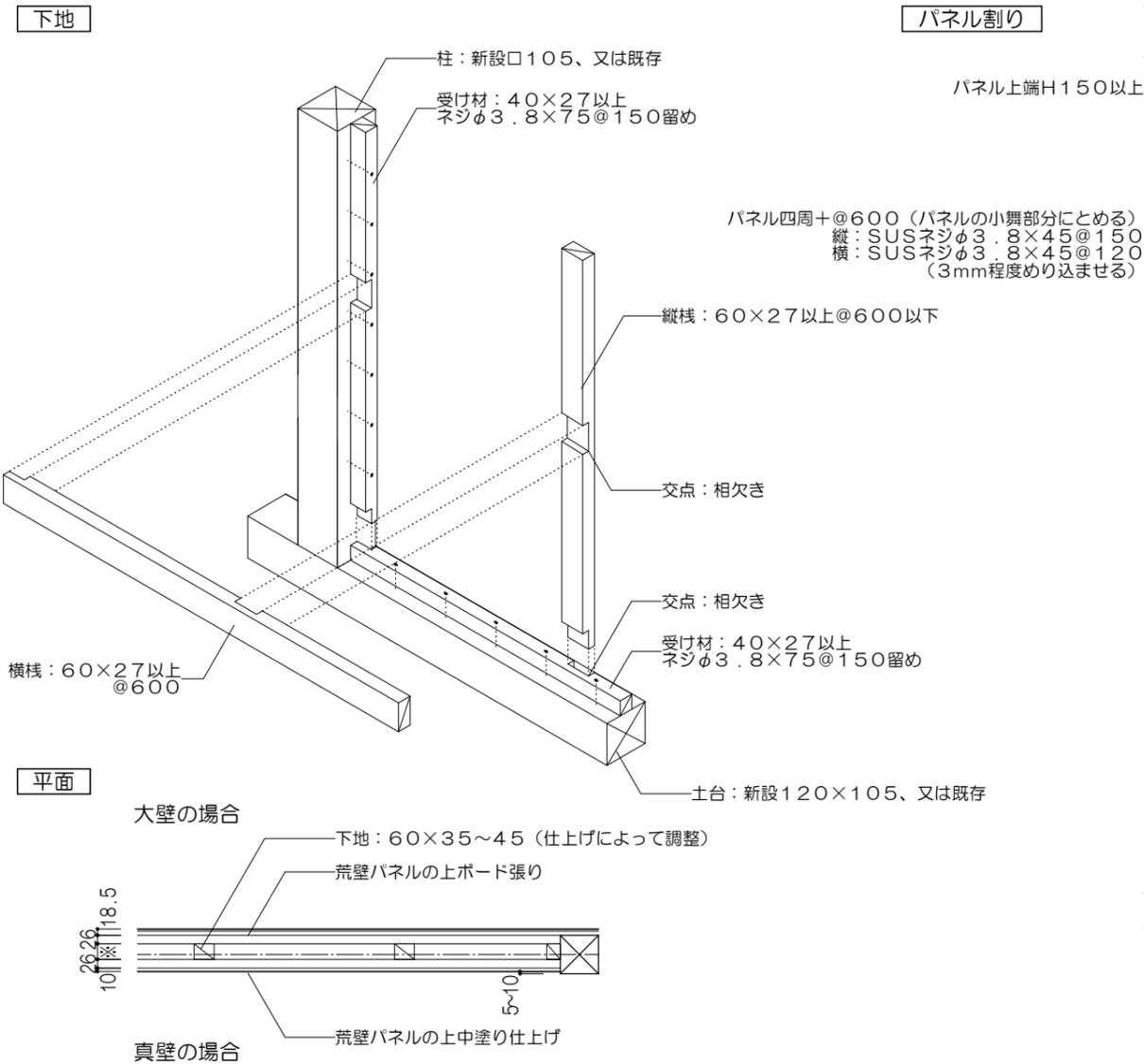


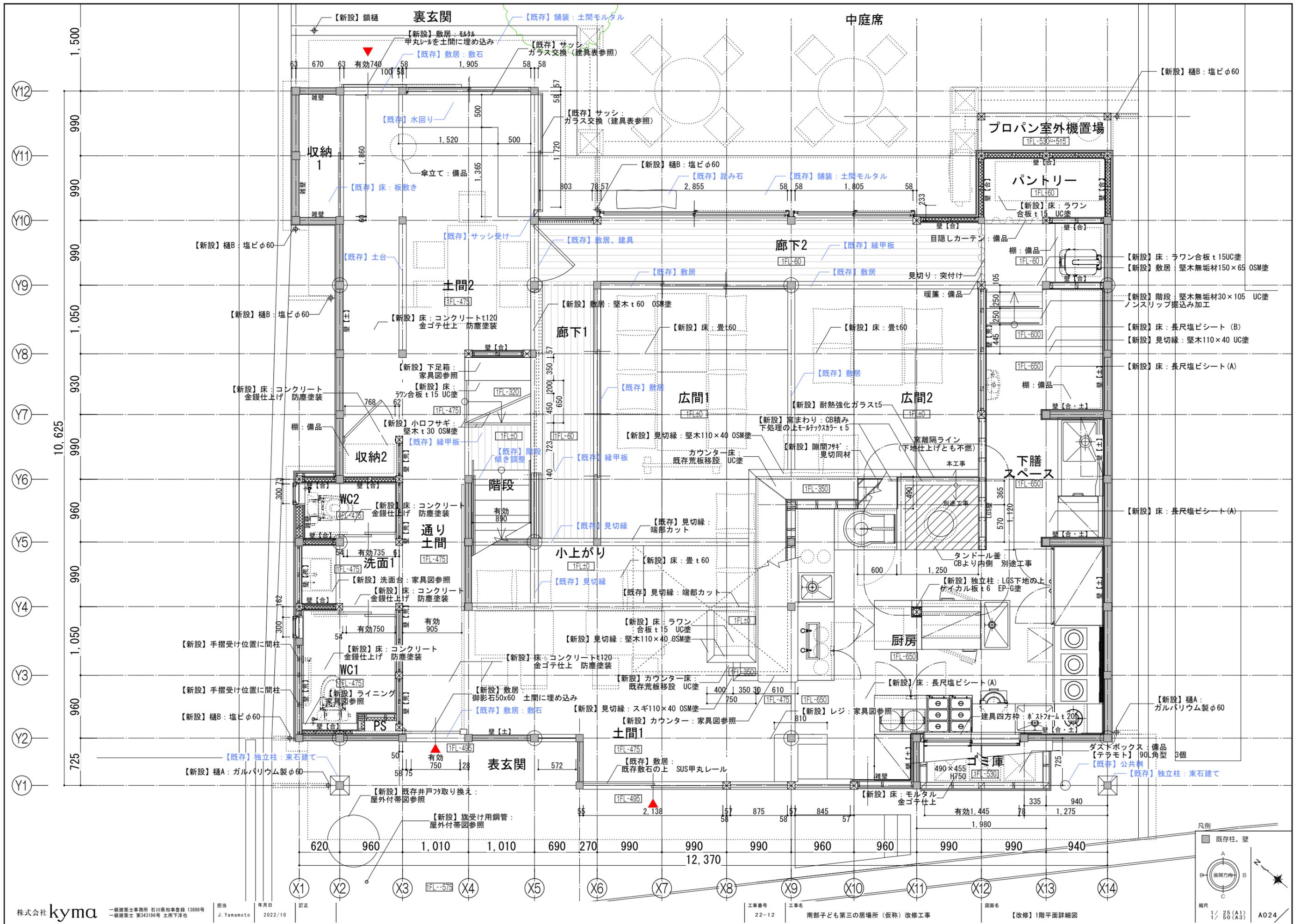


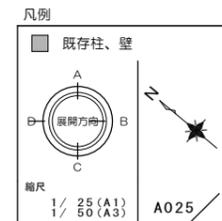
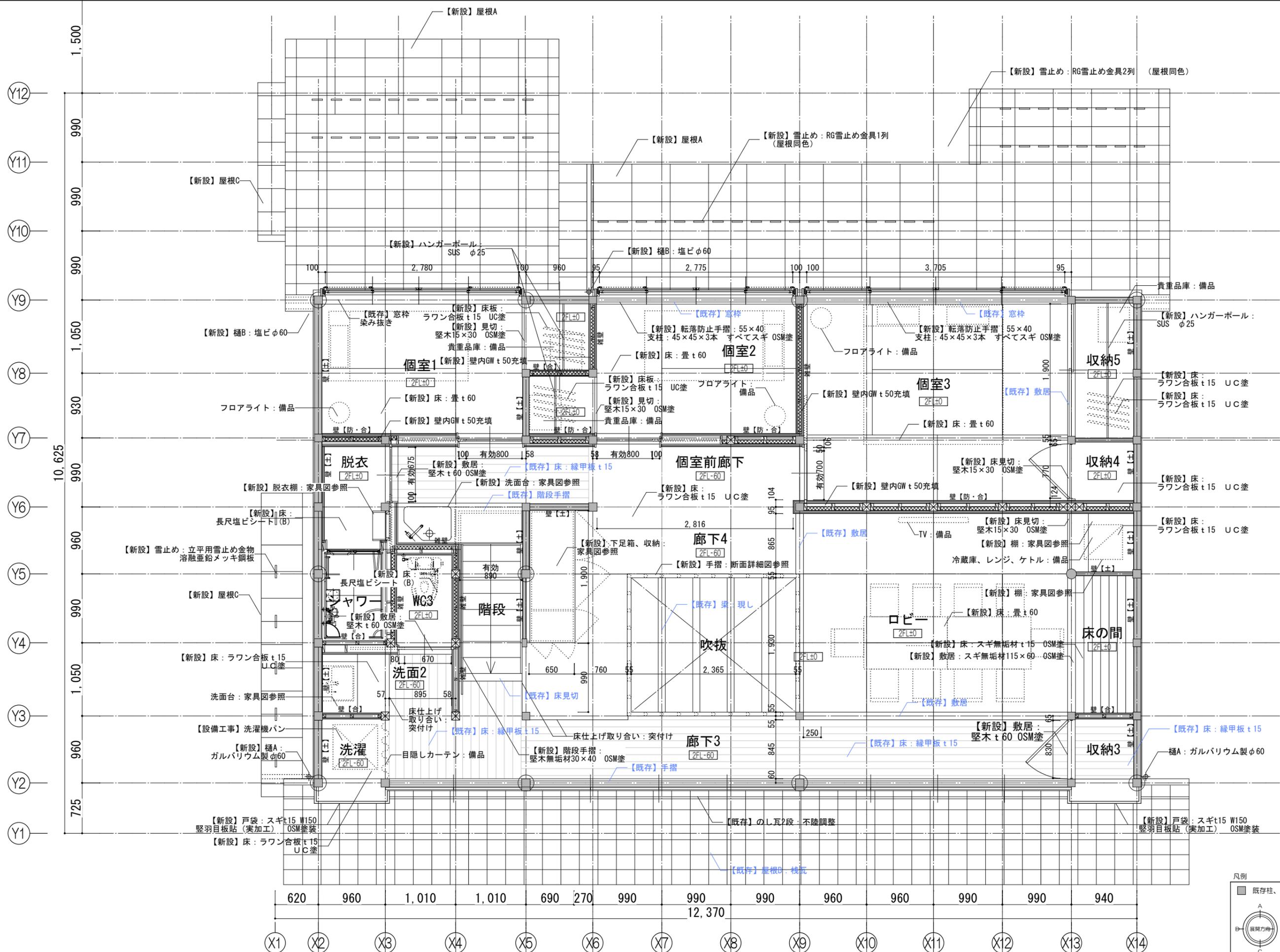


荒壁パネル（受け材仕様）詳細図

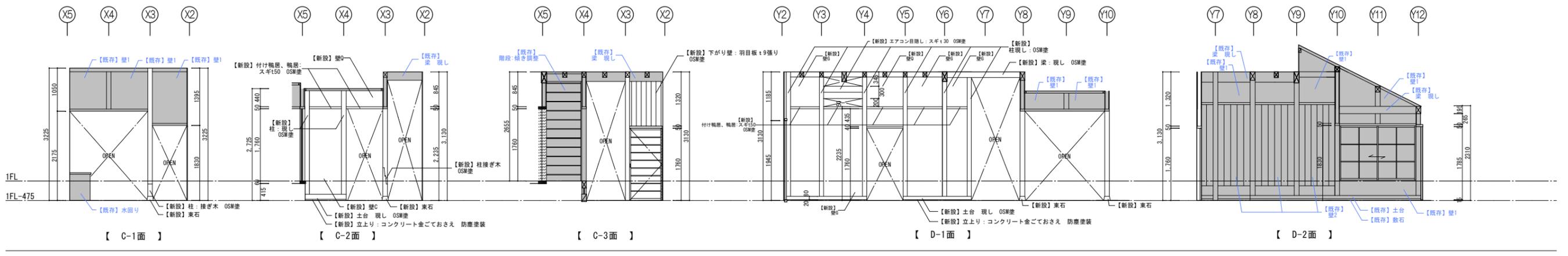
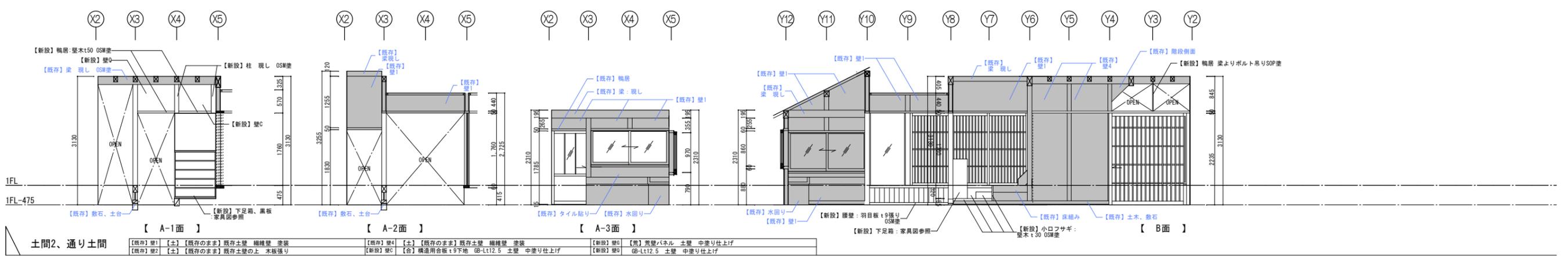
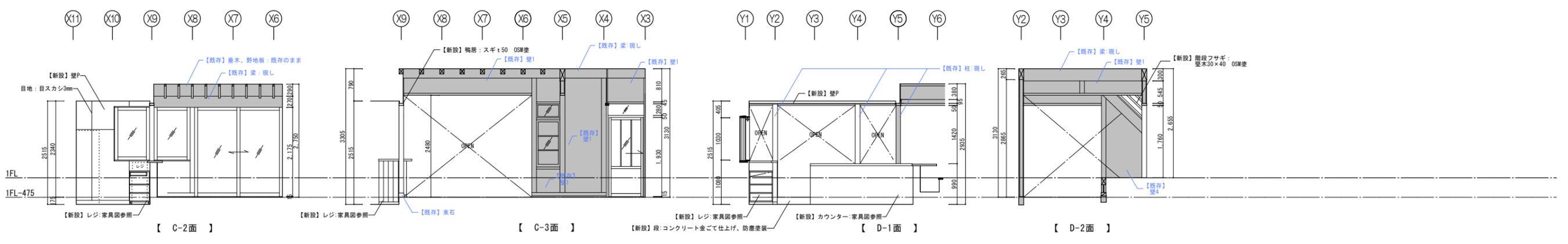
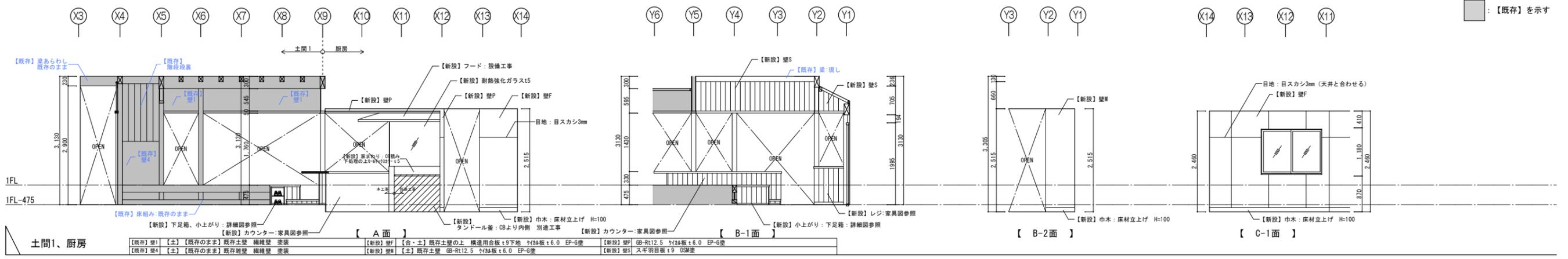
※荒壁パネル施工マニュアルに従うこと

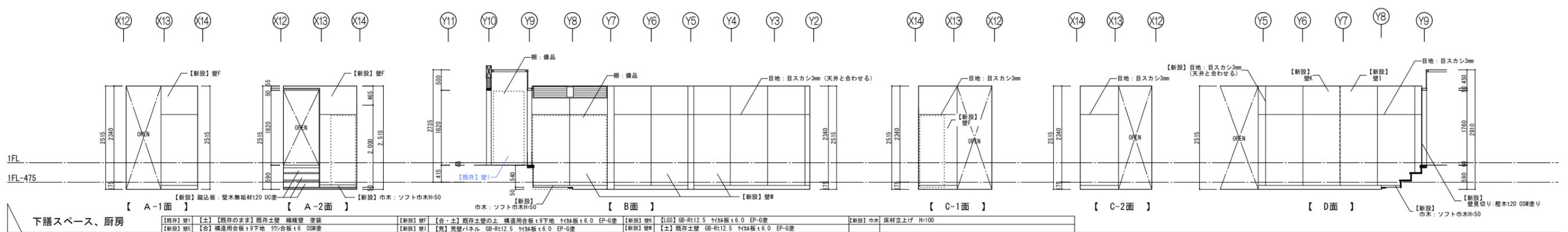
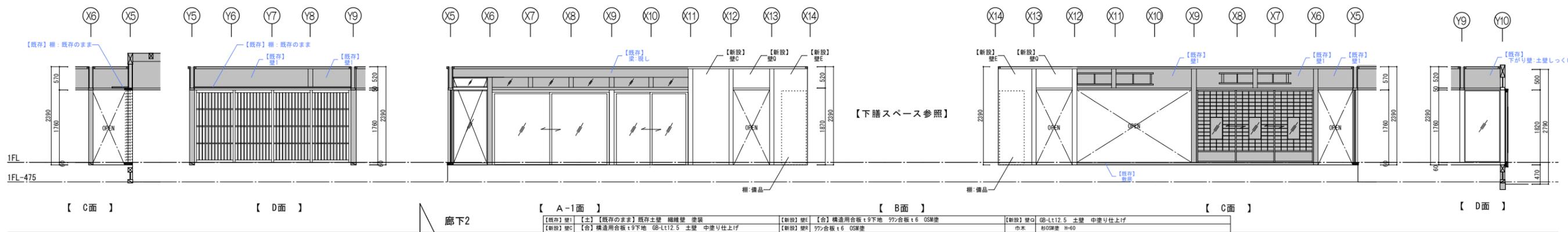
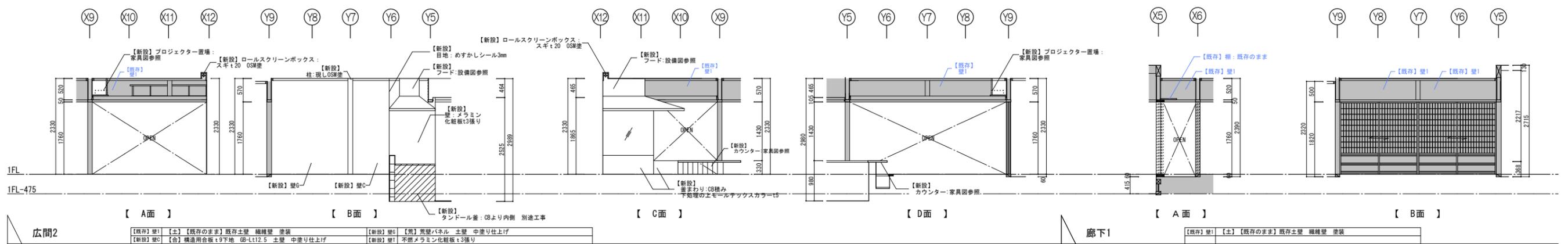
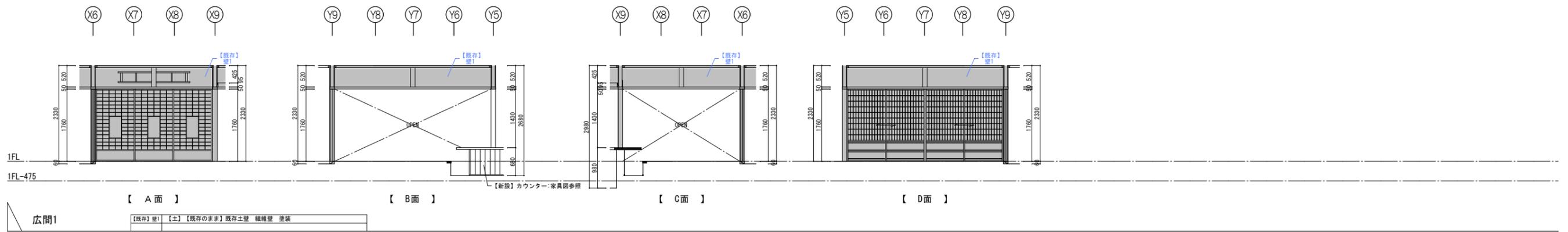


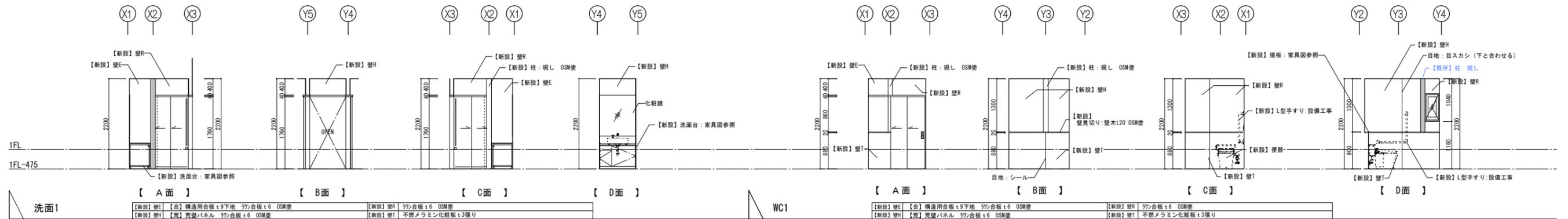
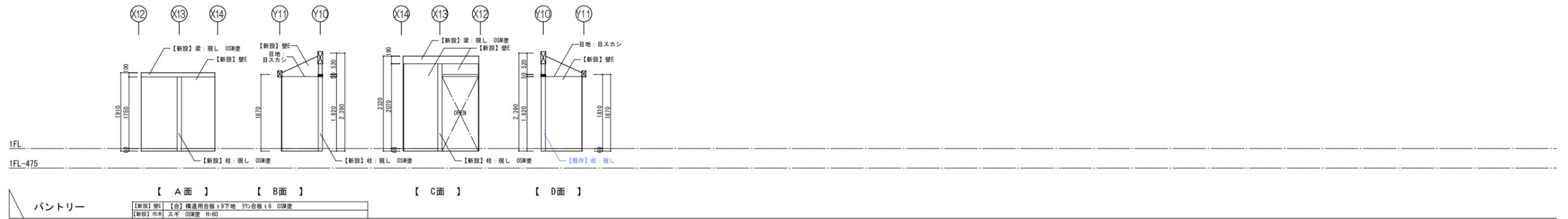




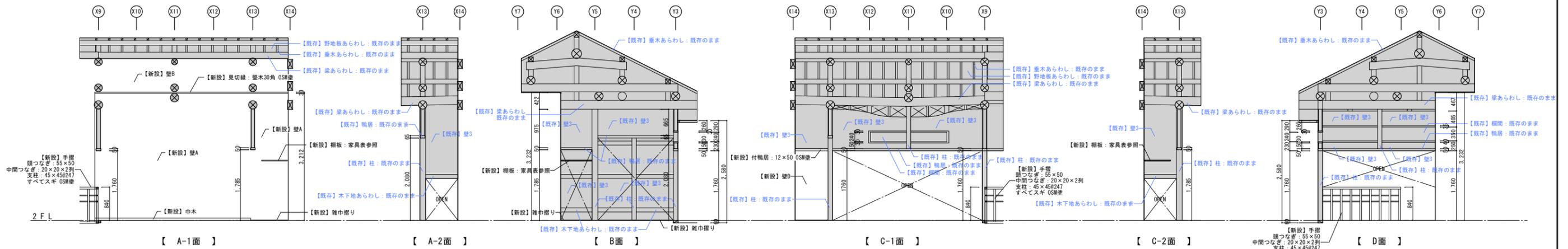
■：【既存】を示す





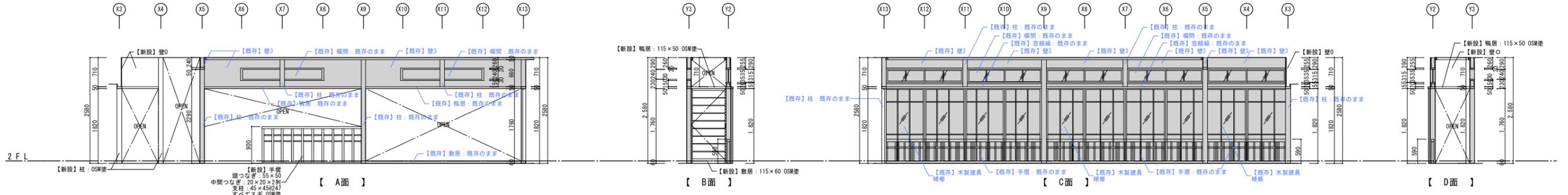


■ : 【既存】を示す



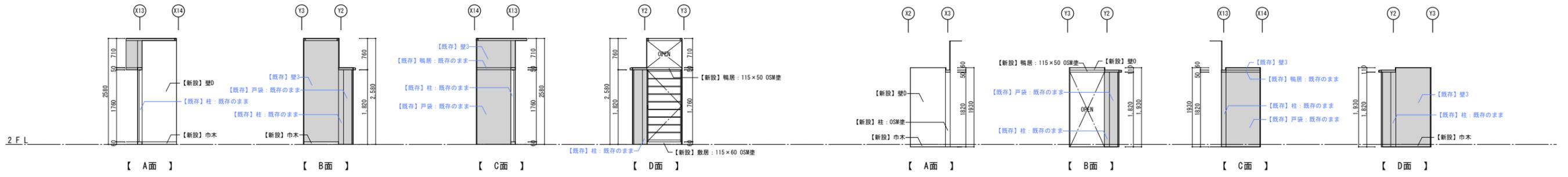
【既存】壁③	【土】	【既存】既存土壁 瓦葺仕上げ	【新設】壁④	【合】構造用合板+9下地 GB-Rt12.5 ビニル強化
【新設】壁A	【防・合】	構造用合板+9下地 GB-Rt12.5+9.5 ビニル強化	巾木	スチP60 OSM塗
【新設】壁B	【防】	GB-Rt12.5+9.5 ビニル強化	襖巾着子	スチP10角 OSM塗

ロビー



廊下3

【既存】壁③	【土】	【既存】既存土壁 瓦葺仕上げ
【新設】壁④	【合】	構造用合板+9下地 GB-Rt12.5 ビニル強化

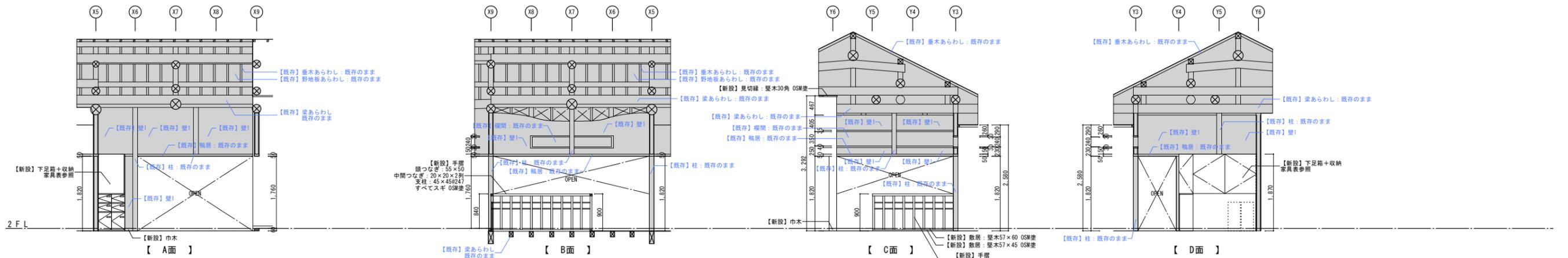


収納3

【既存】壁③	【土】	【既存】既存土壁 瓦葺仕上げ
【新設】壁④	【合】	構造用合板+9下地 GB-Rt12.5 ビニル強化
巾木		スチP60 OSM塗

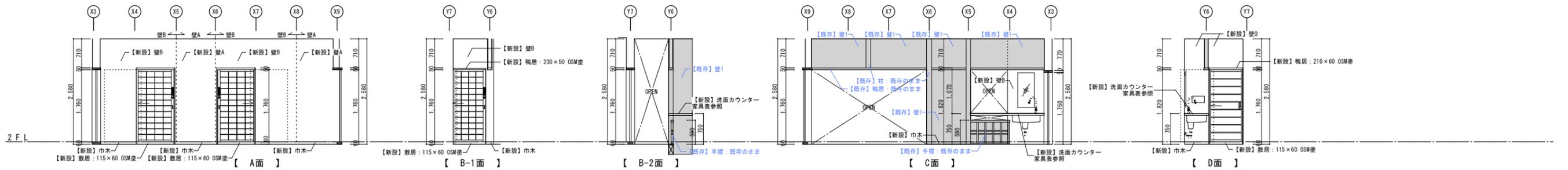
洗濯

【既存】壁③	【土】	【既存】既存土壁 瓦葺仕上げ
【新設】壁④	【合】	構造用合板+9下地 GB-Rt12.5 ビニル強化
【新設】壁⑤	【防】	GB-Rt12.5 ビニル強化
巾木		スチP60 OSM塗



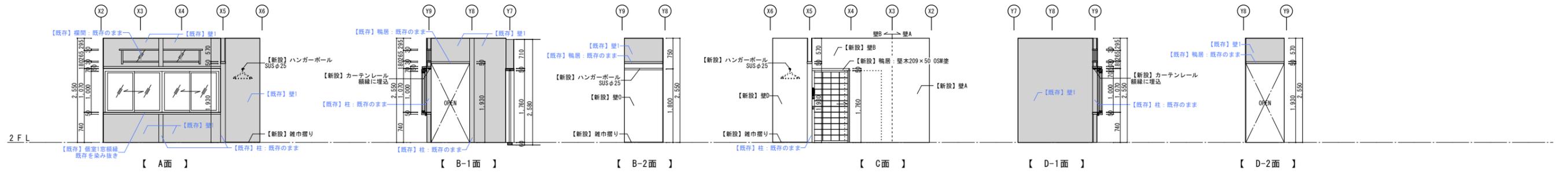
廊下4

【既存】壁1	【土】	【既存のまま】	【既存土壁】	【編組壁】	【塗壁】
巾木	スチ460	OSM塗			

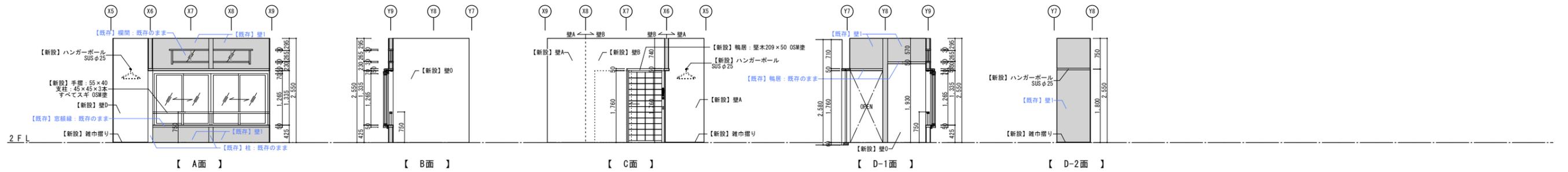


個室前廊下

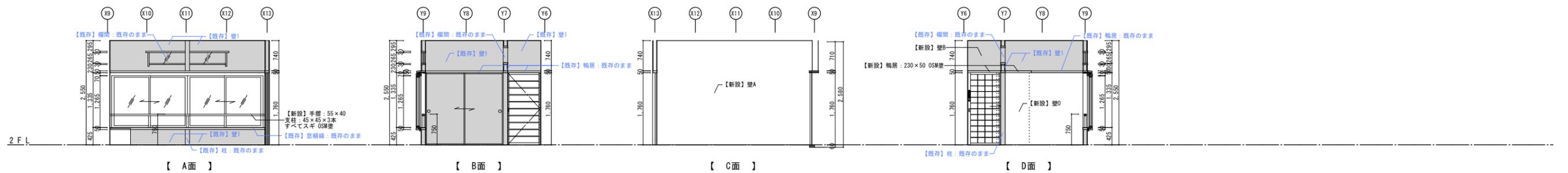
【既存】壁1	【土】	【既存のまま】	【既存土壁】	【編組壁】	【塗壁】
【新設】壁A	【防・金】	構造用合板 t9下地	GB-Rt12.5+9.5	t23702張り	
【新設】壁B	【防】	GB-Rt12.5+9.5	t23702張り		
【新設】壁C	GB-Rt12.5	t23702張り			
巾木	スチ460	OSM塗			



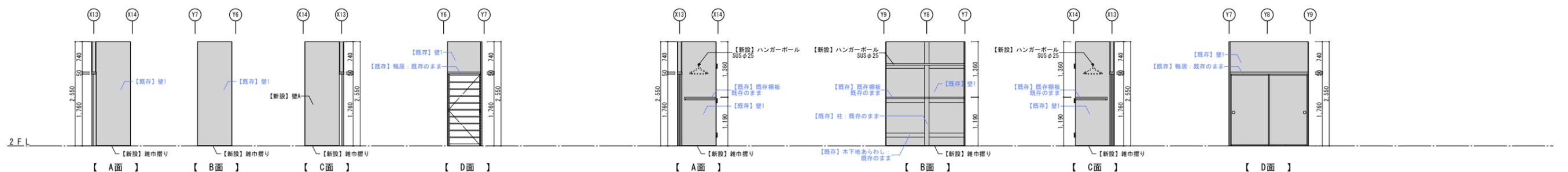
【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 縦横壁 塗装	【新設】壁D	【合】構造用合板+9下地 GB-Rt12.5 2'×4'02"張り
【新設】壁A	【防・合】構造用合板+9下地 GB-Rt12.5+9.5 2'×4'02"張り	【新設】壁C	【合】GB-Rt12.5 2'×4'02"張り
【新設】壁B	【防】GB-Rt12.5+9.5 2'×4'02"張り	雑巾摺り	スギ10角 OSM塗



【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 縦横壁 塗装	【新設】壁D	【合】構造用合板+9下地 GB-Rt12.5 2'×4'02"張り
【新設】壁A	【防・合】構造用合板+9下地 GB-Rt12.5+9.5 2'×4'02"張り	【新設】壁C	【合】GB-Rt12.5 2'×4'02"張り
【新設】壁B	【防】GB-Rt12.5+9.5 2'×4'02"張り	雑巾摺り	スギ10角 OSM塗



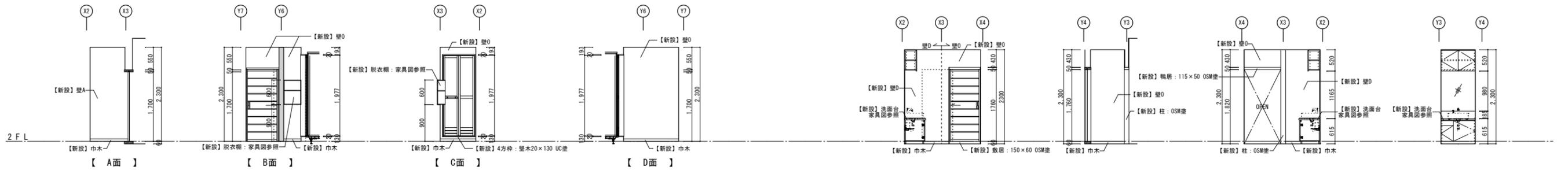
【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 縦横壁 塗装	【新設】壁D	【合】構造用合板+9下地 GB-Rt12.5 2'×4'02"張り
【新設】壁A	【防・合】構造用合板+9下地 GB-Rt12.5+9.5 2'×4'02"張り	【新設】壁C	【合】GB-Rt12.5 2'×4'02"張り
【新設】壁B	【防】GB-Rt12.5+9.5 2'×4'02"張り		



【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 縦横壁 塗装
【新設】壁A	【防・合】構造用合板+9下地 GB-Rt12.5+9.5 2'×4'02"張り
雑巾摺り	スギ10角 OSM塗

【既存】壁1	【土】【既存のまま】既存土壁 縦横壁 塗装
雑巾摺り	スギ10角 OSM塗

■ : 【既存】を示す

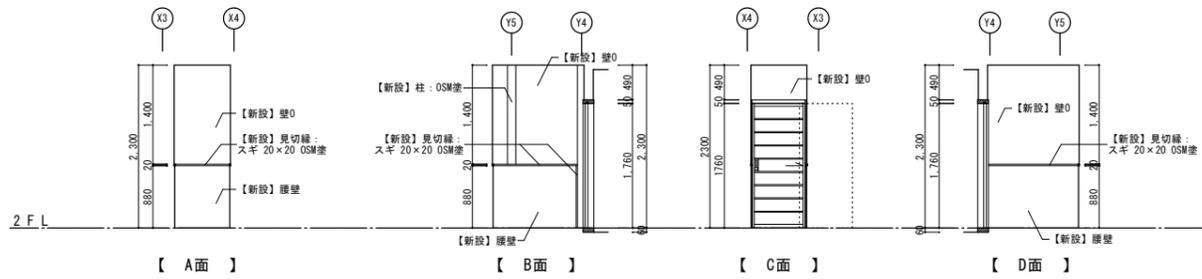


脱衣

【新設】壁A	【防・合】構造用合板 t9下地 GB-Rt12.5 t9.5 びこめり張り
【新設】壁C	GB-Rt12.5 びこめり張り
巾木	スチH60 OSM塗

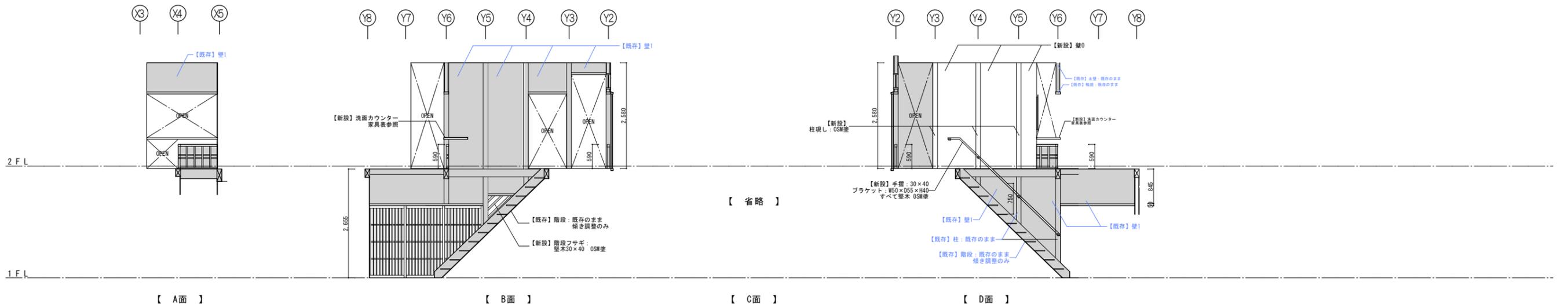
洗面2

【新設】壁D	【合】構造用合板 t9下地 GB-Rt12.5 びこめり張り
【新設】壁C	GB-Rt12.5 びこめり張り
巾木	スチH60 OSM塗



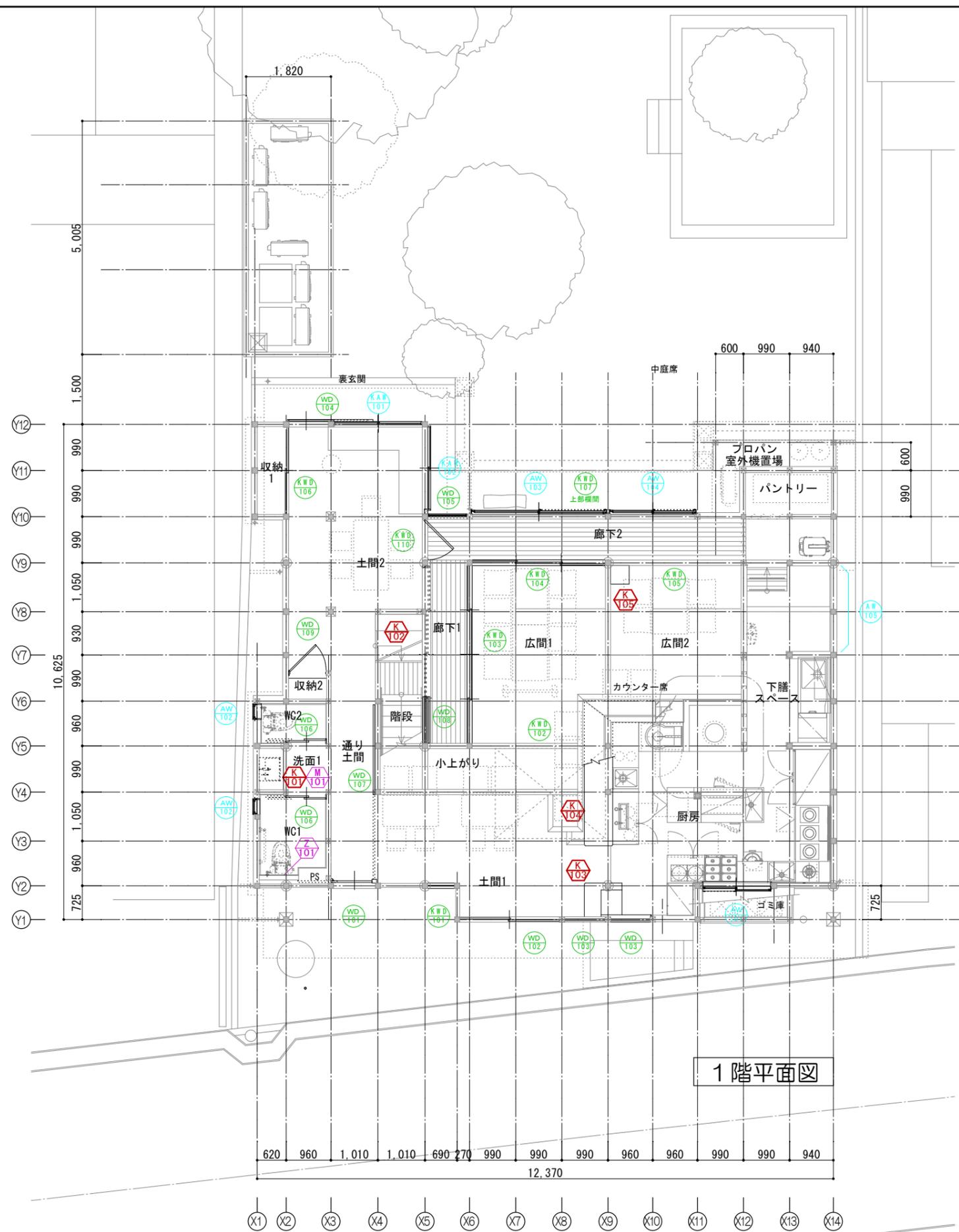
WC3

【新設】壁C	GB-Rt12.5 びこめり張り
壁壁	不燃Pシ化粧板 t3張り H80

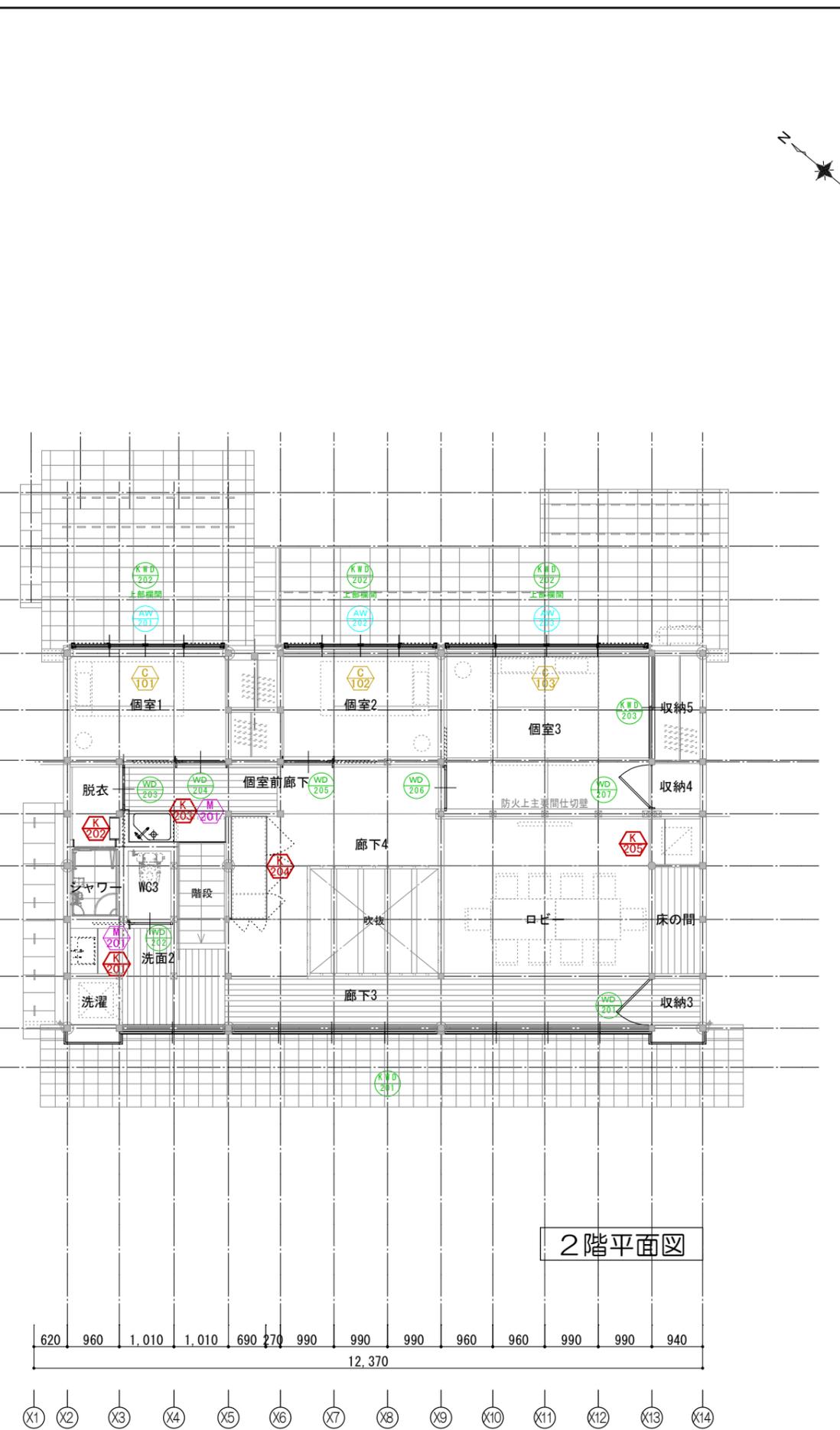


階段

【既存】壁	【土】 【既存のまま】 既存土壁 縦横壁 塗壁
【新設】壁C	GB-Rt12.5 びこめり張り



1階平面図



2階平面図

特記事項

- 1) 本工事に於いては、製作図作成の上、係員の承認を受けること。又、係員が必要と認めるものについては、試作品を製作し検討すること。
- 2) 図中の寸法は概略寸法である為、上記について、係員の承認を受けること。
- 3) 製作にあたっては、請負者・専門業者連名の施工受書書、性能書を提出し、係員の承認をうけること。
- 4) 建築金物は全て見本品を提出し、係員の承認を受ける事。
- 5) A T (防音) ・仕様セミ A T 仕様防音扉については、4 方枠にネオプレンゴム戸当りを施工し、フラッシュ内部にはロックウール充填 (80kg/m³) する事。
- 6) A T 仕様防音扉は、3 点締りとする。又、建込み後の総合性能は、J I S の T-2 等級とする。所要遮音性能が満足されず支障のある場合は、速やかに改修する事。改修内容については、係員の承認を受ける事。
- 7) 錠のバックセットは原則として 64mm 以上とする。
- 8) 外部ガラリ開口率は、特記ない限り 35% とし、防虫網 (ガラスロン、#21メッシュ) を付とする。又、風圧など考慮し、必要に応じてカギ等で補強のこと。
- 9) 内部ガラリの開口率は、特記ない限り 50% とする。
- 10) ガラリにダクトが接続する場合は、ダクト接続フラジ付 (L-30×30×5) とする。

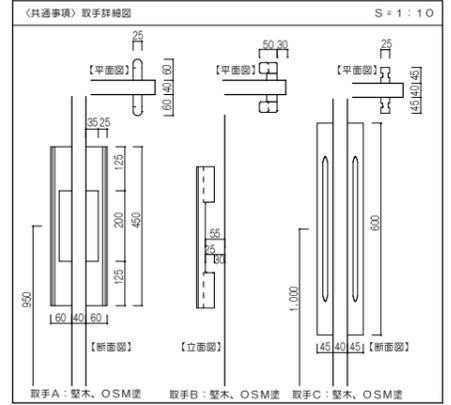
- 材料 スチール 鋼板は亜鉛メッキ鋼板を使用し、厚さは特記 t:1.6、方立・無目・扉の骨組等は 2.3mm、扉板厚は特記なき限り 1.6mm とする。防錆処理は水性錆止塗料 2 回塗とする。
- アルミ J I S H 4100 に規定する A6063S-T5 または A6063SS-T5 とする。(押出型材)
J I S H 4000 に規定する A1200P、1200R とする。とする。(板材)
J I S G 3131 に規定する S P H C ・黒皮鋼板 (補助材) 金型ゴム (クロロプレン発泡、B P T 発泡) (構造材)
※アルミサッシ用金物で一般的に必要とされるものは特記なくとも装備するものとする。
J I S 適合品 原則、強度 S-4、気密 A-3、水密 W-4
- ステンレス J I S A 4702 に適合 #700 以上とする。(J I S G 4305 に規定する SUS-304)
- 木 木製建具に使用する合板は、耐水合板 (I 類) F O を使用する。

○金物 指定製造所製品とし、型式は設計図示により見本品を提出の上、係員の承認を受けること。
マスターキーは特記ない限り金属、木製建具を結合したものを一系統 3 本×3 系統製作する。グラッドマスターは 1 本製作する。各室の鍵はキーボックスに納めて提出する。

- 硝子 硝子押さえは特記なき限り全て弾性シーラント (シリコン) とする。床底数字は硝子厚を示す。
P : 普通硝子 (磨板)
F L : フロート板硝子
F : 型板硝子
S G : スリ硝子
P W : 網入 (線入) 磨板硝子
F W : 網入 (線入) 型板硝子
H F L : 熱線吸収硝子 プール
G F L : 熱線吸収硝子 グレー
B F L : 熱線吸収硝子 ブロンズ
L o w - E : 低放射ガラス
T : 強化硝子
T D : 強化硝子戸
H H R : 高性能熱線反射硝子
H R : 熱線反射硝子
H R W : 耐熱熱線反射強化硝子
A : 空気層
P C : 耐熱強化ガラス
G B : ガラスブロック (防火設備: 旧 乙防)
H S : 倍強度硝子
※硝子厚 15mm の使用に付いては、風洞実験等で安全を確認した場合は変更可

○シーリング アルミサッシ廻りシーリングは、特記無き限り全てポリサルファイド系又は、実成シリコン系シーリングとする。

- 仕上 電解着色: 電解 2 次着色 9+7 μm 以上
○X ラミン: [A I C A] メラミン化粧紙 2014 カラーシステムフィット
○V 型レール: ケーザーバルテック UA12 同等品
○戸車: ケーザーバルテック Y S K 3 同等品
○引戸クローザー: ベスト No. 790 (戸箱仕様) 同等品 ※戸先・戸尻両側取付



※ L o w - E ガラスは日射取得型 (クリア) とする

記号・数量	A W - 1 0 1	A W - 1 0 1	A W - 1 0 3	A W - 1 0 4	A W - 1 0 5
図面					
型式・位置	引違い窓 厨房	引違い出窓 WC1, WC2	引違い窓 廊下 2	引違い窓 廊下 2	2 連固定ガラリ (半外付型) 厨房
見込	86	72	90	90	70
材料	アルミ、アングル部: 樹脂	アルミ、アングル部: 樹脂	アルミ、アングル部: 樹脂	アルミ、アングル部: 樹脂	アルミ
仕上	アルミ: 電解着色 内装線: ポストフォーム t 25	アルミ: 電解着色 内装線: スギ t 25 自然塗料塗	アルミ: 電解着色 樹脂: 敷居: 既存利用	アルミ: 電解着色 樹脂: 敷居: 既存利用	アルミ: 電解着色 内装線: ポストフォーム t 25
硝子	FL3+A12+FL3	FL3+A12+F4	FL5+A12+FL5	FL5+A12+FL5	-
金物	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 縦線アングルピース、メーカー付属金物一式	横引きロールアミ戸 (クリアネット)、ロッキングハンドル アルミ水切、結露受 縦線アングルピース、メーカー付属金物一式	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 メーカー付属金物一式、飛散防止フィルム	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 メーカー付属金物一式、飛散防止フィルム	ダクト接続アングル、防虫ネット、メーカー付属金物一式
備考	【YKKap】エピソード II NEO-B 半外付 同等品	【YKKap】エピソード II NEO-B 半外付 同等品	【YKKap】エピソード II NEO-B 外付 同等品	【YKKap】エピソード II NEO-B 外付 同等品	開口率 30%
記号・数量	A W - 2 0 1	A W - 2 0 2	A W - 2 0 3	K A W - 1 0 1	K A W - 1 0 2
図面					
型式・位置	引き分け窓 備室 1	引き分け窓 備室 2	引き分け窓 備室 3	引違い窓 土間 2	引違い窓 土間 2
見込	90	90	90	-	-
材料	アルミ、アングル部: 樹脂	アルミ、アングル部: 樹脂	アルミ、アングル部: 樹脂	アルミ	アルミ
仕上	アルミ: 電解着色 樹脂: 敷居: 既存利用	アルミ: 電解着色 樹脂: 敷居: 既存利用	アルミ: 電解着色 樹脂: 敷居: 既存利用	-	-
硝子	FL3+A12+FL3	FL3+A12+FL3	FL3+A12+FL3	既存型ガラス → FL3	既存型ガラス → FL3
金物	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 メーカー付属金物一式	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 メーカー付属金物一式	スライドアミ戸 (クリアネット)、クレセント アルミ水切、結露受 メーカー付属金物一式	-	-
備考	【YKKap】エピソード II NEO-B 外付 同等品	【YKKap】エピソード II NEO-B 外付 同等品	【YKKap】エピソード II NEO-B 外付 同等品	-	-
記号・数量	W D - 1 0 1	W D - 1 0 2	W D - 1 0 3	W D - 1 0 4	W D - 1 0 5
図面					
型式・位置	片引き扉戸 土間 1	引違い扉戸 土間 1	片開き扉戸 厨房	片引き扉戸 土間 2	ランマ付きFIX窓 廊下 2
見込	85 (40)	115 (40)	115 (40)	50 (40)	115
材料	木枠: スギ、敷居: 御影石 樞: スギ、板: スギ t 12	木枠: スギ 樞: スギ	木枠: スギ 樞: スギ	木枠: スギ、敷居: モルタル 樞: スギ、板: スギ t 12	木枠: スギ
仕上	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗
硝子	FL3+A6+FL3	FL5+A6+T5	FL3+A6+FL3	FL3+A6+FL3	FL5+A6+T5 ランマ: FL3+A6+FL3
金物	ステンレス甲丸レール、ステンレス戸車 ピンチブロック、モヘヤ、取手C、面付引戸錠 (自動施錠暗証番号式)	ステンレス甲丸レール、ステンレス戸車、引手、ねじ締り錠 ピンチブロック、モヘヤ	グレモンハンドル、T 車、取手、ラッチ ピンチブロック、モヘヤ、 ブリーチ扉戸 (クリアネット)	ステンレス甲丸レール、ステンレス戸車 ピンチブロック、モヘヤ、取手C、面付引戸錠 (自動施錠暗証番号式)	-
備考	面付引戸錠【長沢製作所】キーレックス800同等品	飛散防止フィルム	面付引戸錠【長沢製作所】キーレックス800同等品	面付引戸錠【長沢製作所】キーレックス800同等品	飛散防止フィルム

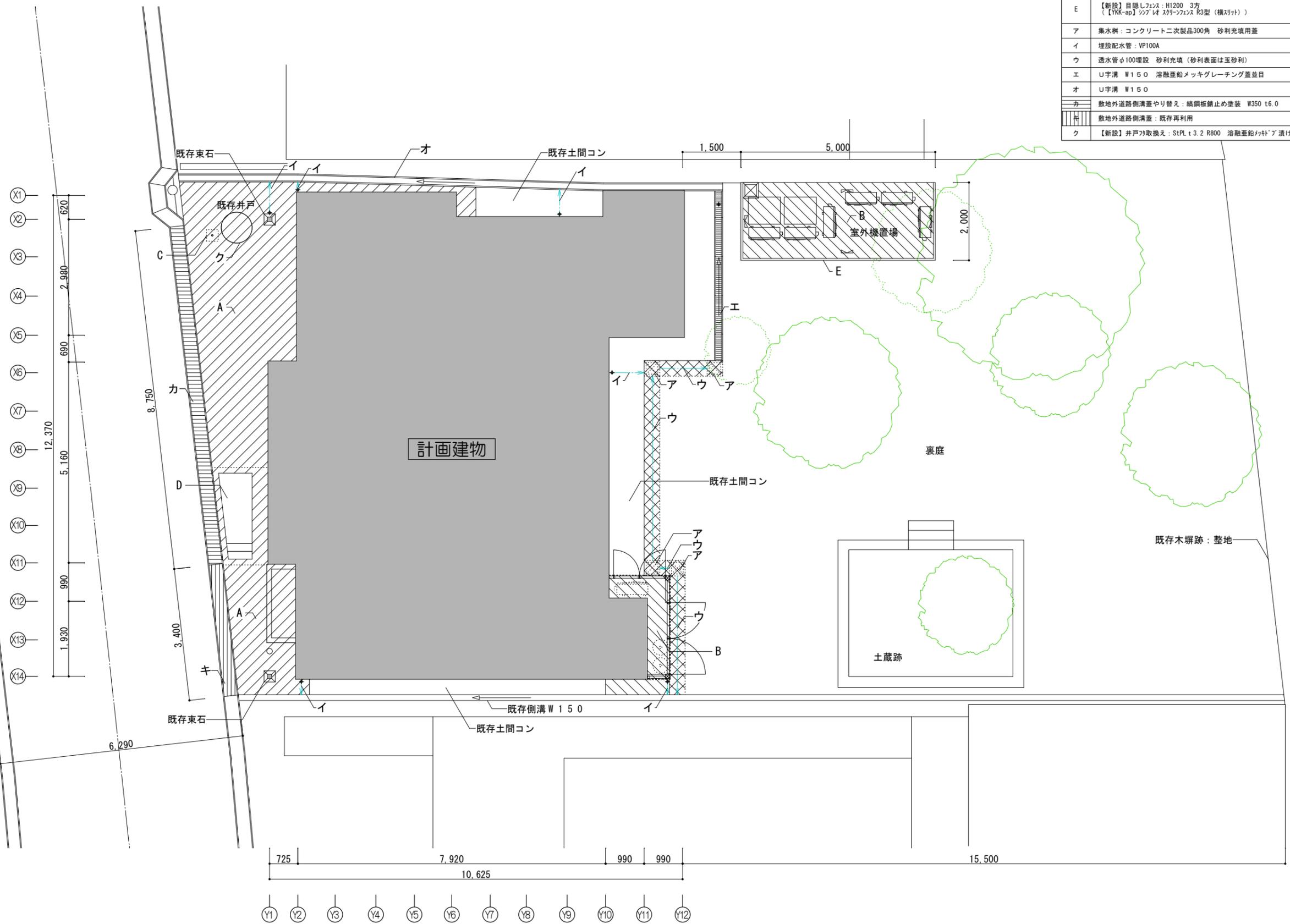
記号・数量	WD-106	WD-107	WD-108	WD-109	KWD-110
図面					
型式・位置	2連片引き扉戸	片引き格子戸	4連片引き格子戸	片開き扉戸【既存扉戸を改造】	FIX窓
見込	105(36)	105(40)	180(36)	105(30)	115
材料	木枠：スギ 扉：ラウンフラッシュ	木枠：スギ 扉：スギ、格子：スギ24x30H127	木枠：スギ、敷居：地松 扉：スギ、格子：スギ20x30H75	木枠：新設 スギ 扉：既存改造、板：既存改造	木枠：スギ、敷居：地松 扉：スギ、格子：スギ
仕上	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗
硝子	明かり窓：アクリル フロスト加工 W20xH100xD36	-	-	-	T5
金物	上部レール、ソフトクローズ上部吊り車、ガイドレール、ガイドローラー、戸当たり 振り込み引手、表示錠	上部レール、ソフトクローズ上部吊り車、ガイドレール、ガイドローラー、戸当たり 振り込み引手、シリンダー錠錠（扉扉側錠錠）	Vレール、戸車 振り込み引手、シリンダー錠錠、引き寄せ縛り	丁番、取手、ラッチ、戸当たり、シリンダー錠	-
備考					飛散防止フィルム
記号・数量	WD-201	WD-202	WD-203	WD-204	WD-205
図面					
型式・位置	片開き扉戸【既存扉戸を改造】	戸袋式片引き扉戸【既存扉戸を改造】	戸袋式片引き扉戸【既存扉戸を改造】	脱衣	戸袋式片引き障子戸
見込	105(30)	150(36)	150(36)	200(30)	200(30)
材料	木枠：新設 スギ、敷居：新設 地松 扉：既存改造、板：既存改造	木枠：新設 スギ、敷居：新設 地松 扉：既存改造、板：既存改造	木枠：新設 スギ、敷居：新設 地松 扉：既存改造、板：既存改造	木枠：新設 スギ、敷居：新設 地松 扉：スギ、格子：スギ	木枠：新設 スギ、敷居：新設 地松 扉：スギ、格子：スギ
仕上	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗	自然塗料塗
硝子	-	-	-	ワーロンt2.0	ワーロンt2.0
金物	丁番、取手、ラッチ、戸当たり、シリンダー錠	取手、表示錠	取手、表示錠	取手、面付引戸錠（自動錠錠増設番号式）	取手、面付引戸錠（自動錠錠増設番号式）
備考				面付引戸錠錠【長沢製作所】キーレックス800同等品	面付引戸錠錠【長沢製作所】キーレックス800同等品
記号・数量	WD-206	WD-207	KWD-101	KWD-102	KWD-103
図面					
型式・位置	片引き障子戸	片開き扉戸【既存扉戸を改造】	【既存】FIX窓	【既存】障子	【既存】障子
見込	200(30)	110(30)	-	-	-
材料	木枠：新設 スギ、敷居：新設 地松 扉：スギ、格子：スギ	木枠：新設 スギ、床見切：新設 地松 扉：既存改造、板：既存改造	-	-	-
仕上	自然塗料塗	自然塗料塗	-	-	-
硝子	ワーロンt2.0	-	-	-	-
金物	取手、面付引戸錠（自動錠錠増設番号式）	丁番、取手、ラッチ、戸当たり、シリンダー錠	-	-	-
備考	面付引戸錠錠【長沢製作所】キーレックス800同等品	-	-	-	-
記号・数量	KWD-104	KWD-105	KWD-106	KWD-107	
図面					
型式・位置	【既存】障子	【既存】障子	【既存】扉戸	【既存】欄間FIX窓	外観図
見込	-	-	-	-	-
材料	-	-	-	-	-
仕上	-	-	-	-	-
硝子	-	-	-	-	-
金物	-	-	-	-	-
備考					

記号・数量	KWD-201	1	KWD-202	3	KWD-203	1
姿図						
型式・位置	欄間FIX窓【既存のまま】 木製引戸【既存改修】		廊下2 【既存】欄間引違い窓		居室1、2、3 【既存】引違い襖戸	
見込	-		-		-	
材料	一部交換【図示】		-		-	
仕上	交換部分 自然塗料塗		-		-	
硝子	ガラス既存のまま		-		-	
金物	木製引戸 梃補修、SUS製戸車交換、SUS製丸レール交換、数層交換		-		-	
備考						
記号・数量						
姿図						
型式・位置						
見込						
材料						
仕上						
硝子						
金物						
備考						
記号・数量						
姿図						
型式・位置						
見込						
材料						
仕上						
硝子						
金物						
備考						
記号・数量						
姿図						
型式・位置						
見込						
材料						
仕上						
硝子						
金物						
備考						
記号・数量						

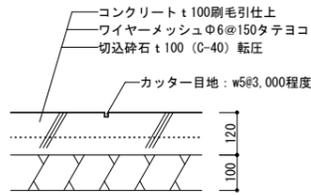
記号・数量	K-101、M-101 洗面台、鏡 / 1箇所	K-102 下足箱、黒板 / 1箇所	K-103 レジ / 1箇所	K-104 カウンター / 1箇所		
位置	洗面1	階段	厨房	広間1、2、厨房		
材料・仕上	洗面台天板: 堅木無垢材 t3.0 染色UC塗 扉: ラワン単板付合板フラッシュ t2.0 染色UC塗 内仕上: ポリ合板貼り 小口・巾木: 堅木無垢材 t3.0 染色UC塗、耐食鏡 t5 (特なし)	天板: 堅木無垢材付合板フラッシュ t2.0 染色UC塗 側板: 背板: 堅木無垢材付合板フラッシュ 染色UC塗 内部: メラミン化粧板貼り 小口・巾木: 堅木無垢材 t3.0 染色UC塗	天板: 堅木無垢材 t4.0 染色UC塗 【厨房側】 側板: 扉: メラミン化粧板フラッシュ 扉裏: スギ羽目板 t9 染色UC塗 巾木: 堅木無垢材 染色UC塗 H60	天板: スギ集成材 t4.0 染色UC塗 【厨房側】 側板: スギ羽目板 t9 W120 染色UC塗 巾木: 堅木集成材 染色UC塗 H30		
金物	洗面台: スライド丁番	-	SUS製可動棚レール、棚受け金物、スライドレール	-		
備考	洗面・トラップ・カラン (設備工事)	-	手かけ: 扉上部斜め加工	大工工事		
記号・数量	K-108 プロジェクター置場 / 1箇所	K-201、M-201 吊戸棚、洗面台、鏡 / 1箇所	K-202 棚 / 1箇所	K-203 洗面台、鏡 / 1箇所		
位置	広間2	洗面2	脱衣	個室前廊下		
材料・仕上	棚板: スギ集成材 t2.5 O.S.M塗 吊棒: スチール製 t2.5 O.S.M塗	洗面台天板: 堅木無垢材 t2.5 染色UC塗 扉・側板・背板: 高戸棚用合板フラッシュ t2.0 染色UC塗 内側板: ポリ合板フラッシュ t2.0 内仕上: ポリ合板貼り 小口・巾木: ラワン単板 t3.0 染色UC塗、耐食鏡 t5 (特なし)	スギ集成材 t2.5 染色UC塗	洗面台天板: 堅木無垢材 t4.0 染色UC塗 シンク: ステンレス304 t1.0曲げ加工 (裏面防滴塗装) 天板受け材 30×30		
金物	-	吊戸棚: スライド丁番、SUS製可動棚レール、棚受け金物 洗面台: スライド丁番	-	排水金物、ゴミ受け: 家具工事 ペーパーホルダー: 埋込型 (LIXIL R1010-S)		
備考	大工工事	吊戸棚手かけ: 扉下部斜め加工 洗面・トラップ・カラン (設備工事)	壁下地固定 (大工工事)	トラップ・カラン (設備工事)		
記号・数量	K-204 下足箱+収納 / 1箇所	K-205 収納 / 1箇所				
位置	廊下4	ロビー				
材料・仕上	本体: 珪藻土繊維付合板 t2.5 染色UC塗、扉: 珪藻土合板 t2.0 染色UC塗 側板・仕切板: ポリ合板フラッシュ t2.0 内仕上: ポリ合板貼り 小口・巾木: 堅木無垢材 t3.0 染色UC塗、扉下: 撥込み引手	ラワン合板 t2.4、小口堅木無垢材 t3 染色UC塗				
金物	35丁番、SUS製可動棚レール (3列)、棚受け金物、引手 (6箇所)、プラグ製空気穴φ50、プラグガラリ300×100					
備考		大工工事				
記号	数量	名称	位置	材料・仕上	寸法	備考
C: カーテン						
C-201	1	レ-42列	個室1	ホロン別途、レ-3のみ本工事	W: 2,860 × H: 1,070	
C-202	1	レ-42列	個室2	ホロン別途、レ-3のみ本工事	W: 2,855 × H: 1,335	
C-203	1	レ-42列	個室3	ホロン別途、レ-3のみ本工事	W: 3,785 × H: 1,335	
Z: ライニング						
Z-101	1	WC1		メラミンポストフォーム VPAタイプ	W: 840 × D: 100	



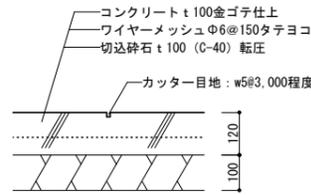
記号	仕上	数量
A	【新設】コンクリート舗装t120 刷毛引き仕上 ワイヤーメッシュφ6@150タテヨコ 切込砕石t100 (C-40) 転圧、カッター目地：w5@3,000程度	25.5㎡
B	【新設】コンクリート舗装t120 金ゴテ仕上 ワイヤーメッシュφ6@150タテヨコ 切込砕石t100 (C-40) 転圧、カッター目地：w5@3,000程度	12.6㎡
C	【新設】旗受け用コンクリート基礎	1ヶ所
D	【新設】コンクリート製池	1ヶ所
E	【新設】目隠しフェンス：H1200、3方 （【FKK-ap】形状は、スリッパ型 R3型（横リット））	9.0m
ア	集水樹：コンクリート二次製品300角 砂利充填用蓋	4ヶ所
イ	埋設配水管：VP100A	3.1m
ウ	透水管φ100埋設 砂利充填（砂利表面は玉砂利）	9.3m
エ	U字溝 W150 溶融亜鉛メッキグレーチング蓋並目	4.4m
オ	U字溝 W150	14.0m
カ	敷地外道路側溝蓋やり替え：綿鋼板錆止め塗装 W350 t6.0	8.8m
キ	敷地外道路側溝蓋：既存再利用	3.4m
ク	【新設】井戸ろ取換え：StPL t 3.2 R800 溶融亜鉛メッキ「フ」漬け	1ヶ所



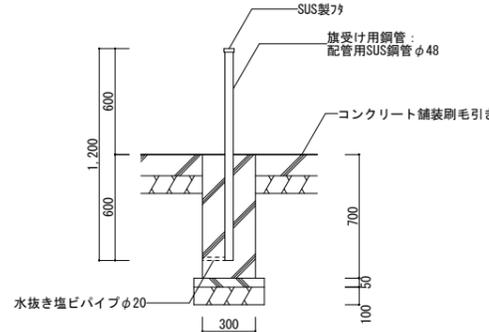
A : コンクリート舗装 刷毛引き仕上 A1=1:10 A3=1:20



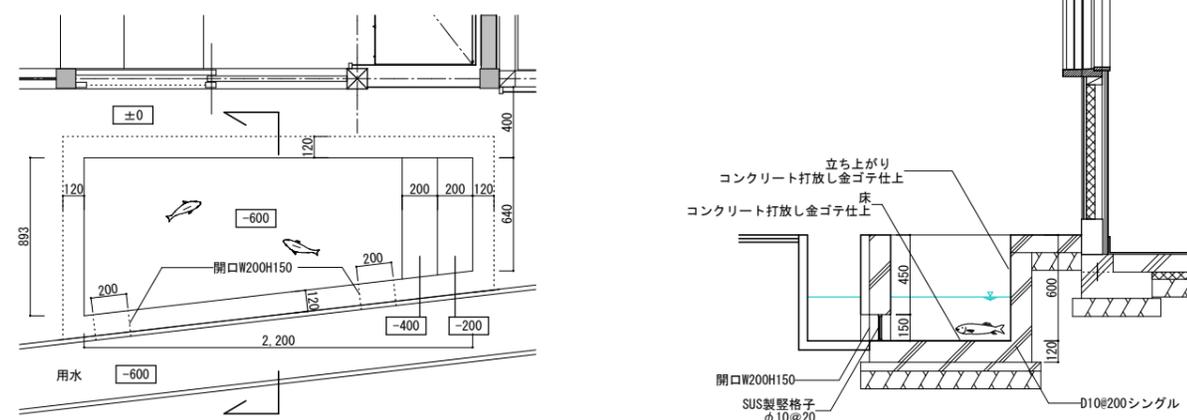
B : コンクリート舗装 金ゴテ仕上 A1=1:10 A3=1:20



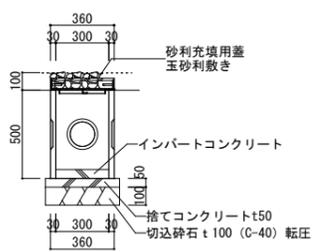
C : 旗受け用コンクリート基礎 A1=1:20 A3=1:40



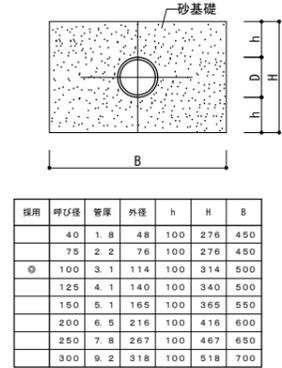
D : コンクリート製池 A1=1:20 A3=1:40



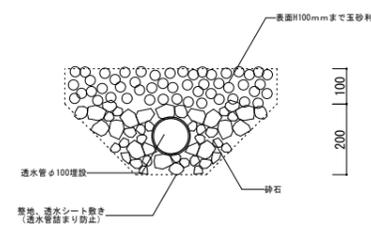
ア : 集水枡 コンクリート二次製品 300角砂利充填用蓋 A1=1:20 A3=1:40



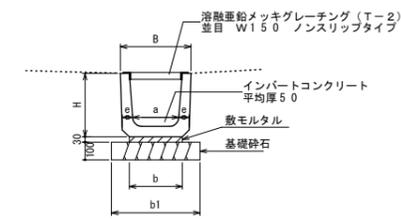
イ : 埋設配水管 : VP A1=1:10 A3=1:20



ウ : 透水管φ100埋設 砂利充填 (砂利表面は玉砂利) A1=1:10 A3=1:20



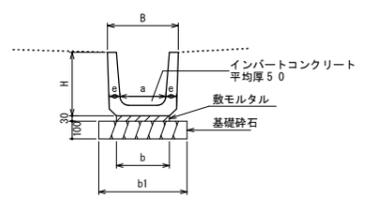
エ : U字溝 W150 溶融亜鉛メッキグレーチング蓋並目 A1=1:20 A3=1:40



寸法表

適用	名称	H (mm)	B (mm)	a (mm)	b (mm)	b1 (mm)	e (mm)
◎	150	185	210	140	160	360	35
◎	240	290	330	220	240	440	50

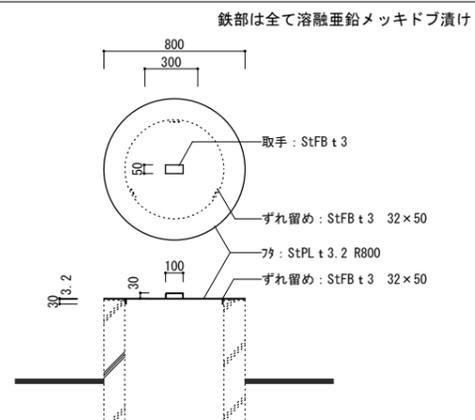
オ : U字溝 W150 A1=1:20 A3=1:40



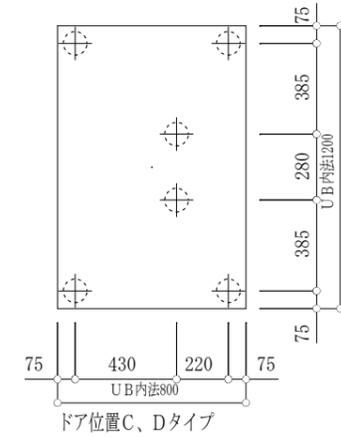
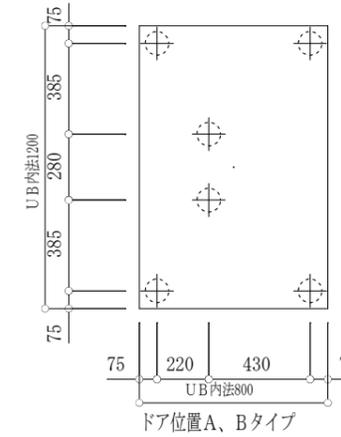
寸法表

適用	名称	H (mm)	B (mm)	a (mm)	b (mm)	b1 (mm)	e (mm)
◎	150	185	210	140	160	360	35
◎	240	290	330	220	240	440	50

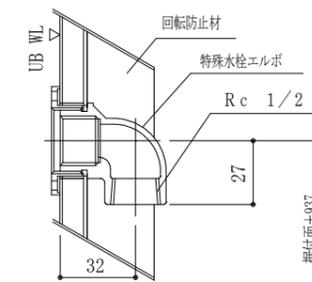
ク : 既存井戸蓋 A1=1:20 A3=1:40



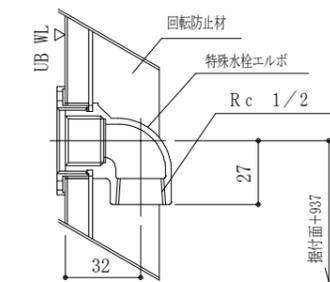
JSV0812UT		コロガシ *は、基本仕様からの変更箇所		
名称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル (抗菌防カビ仕様・モール式) 点検口φ450 (絞り点検口・落下防止用紐付・石膏ボード2枚貼り)	ホワイト		
* 壁パネル	HQパネル	ミネラホワイト		HDR36
* 床パネル	FRP カラリ床 (単色)	ホワイト (#NW1)		HDR36
* ドア枠	アルミアルマイト処理	アイボリー	(付枠用取付ネジUB支給、 ネジ取付および付枠別途)	HDR36
* ドアパネル	折戸 (ドア脱着機構付) 面材: 型板スチレン板 W=800 (有効開口幅 671mm)	アイボリー 面材: 半透明		HDR36
シャワー水栓	TBV03433JA 壁付サーモスタットシャワー金具 (スパウトL=70)			
* スライドバー シャワーヘッド	スライドハンガー付インテリアバー φ30 L=800 コンフォートウエーブシャワー ホース: L=1600	スライドバー: メタル調 ヘッド: メタル調 ホース: シルバー		SBE5R SRW11
照明	電源内蔵型LEDダウンライト 消費電力2.1W 電球色 VVVF1.6φ×2C L=2.0m付		(以降接続別途)	
ジョイントボックス	エコノミージョイント WJ3107相当品		(ジョイントボックスま での配線及びジョイント ボックス内の結線別途)	
* 換気扇	AC100V 消費電力:10/12W (50/60HZ)		(以降接続別途)	IKJC5
給水エルボ	シャワー用 青銅鋳物製 接続口 Rc 1/2		(以降接続別途)	
給湯エルボ	シャワー用 青銅鋳物製 接続口 Rc 1/2		(以降接続別途)	
排水トラップ	ABS樹脂 封水深50mm 接続口 VP50受口 ヘアークャッチャー付 高圧洗浄対応		(以降接続別途)	
* タオル掛け	ステンレス製 角パイプ L=300	座: ライトシルバー (#AQS)		KTA22
収納棚	コーナー収納棚2段	石目調 (SW)		
* 鏡	お掃除フック鏡 四角ミラー ツメ式 W298×H950			KURS1
腰掛け	ABS製 コーナー付けタイプ	ホワイト (W)		



床支持位置図



シャワー用給水エルボ



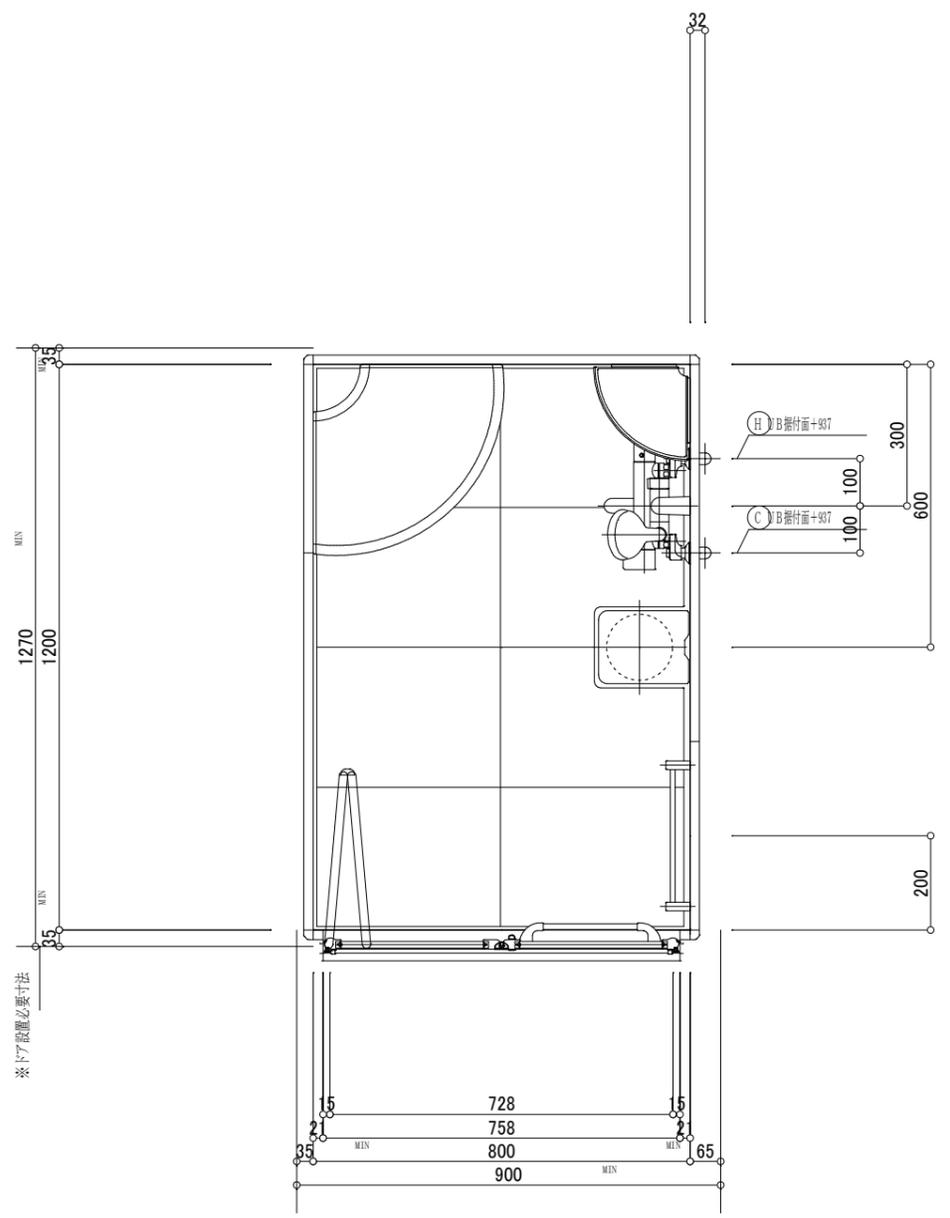
シャワー用給湯エルボ

商品(図面)は、諸般の事情により、予告なく改良、仕様変更などを行う場合があります。

★マークは、消費生活用製品安全法「長期使用製品安全点検制度」で指定された「特定保守製品」です。

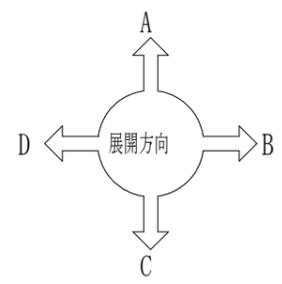
※ 各器具の穴加工・補強は現場加工となります。

TOTO	変更記録	備考	工事名	製図	縮尺	発行番号	工事番号
	△	現場番号:	南部町子ども第三の居場所プロジェ	検図	:	E36857	
	△	見積番号: (HU6Y695)	名称		年月日	営業担当	図面番号
	△		JSV0812UT		22.9.15		A-0101
	△		仕様書				

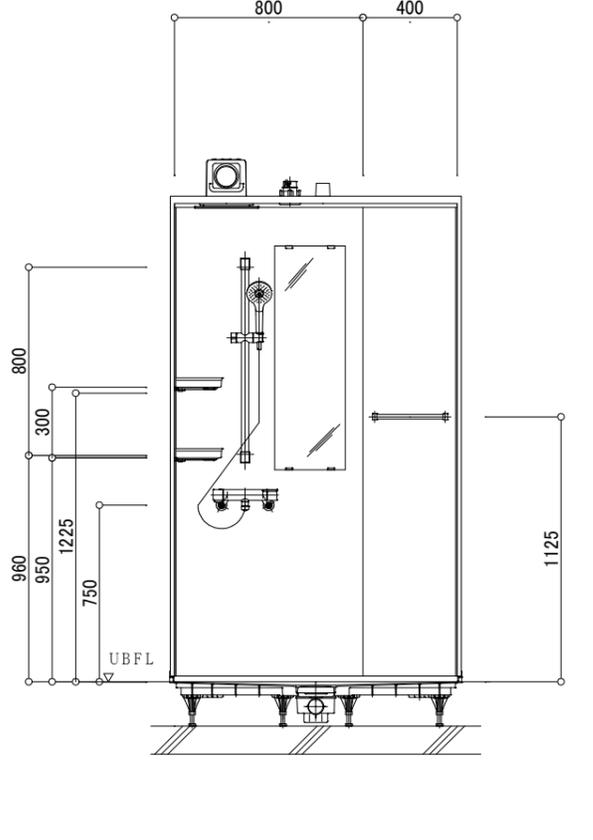
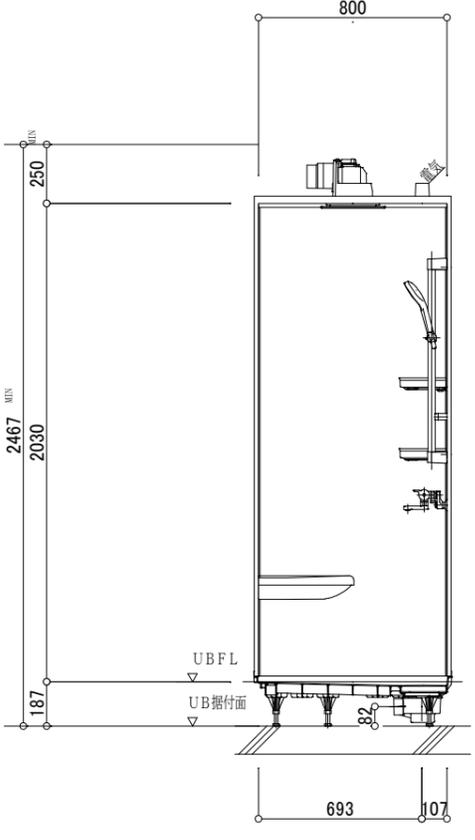
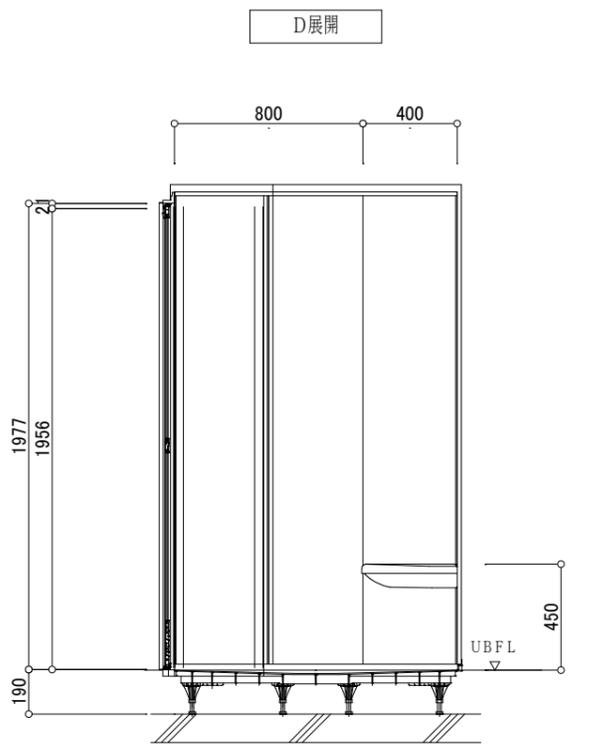
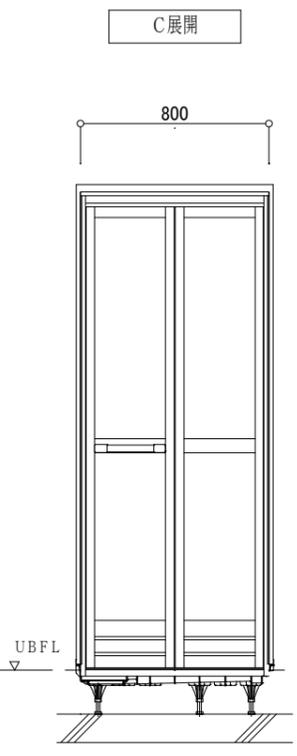
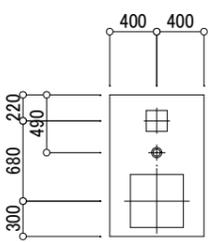


※ドア設置必要寸法

1/15 (A3)



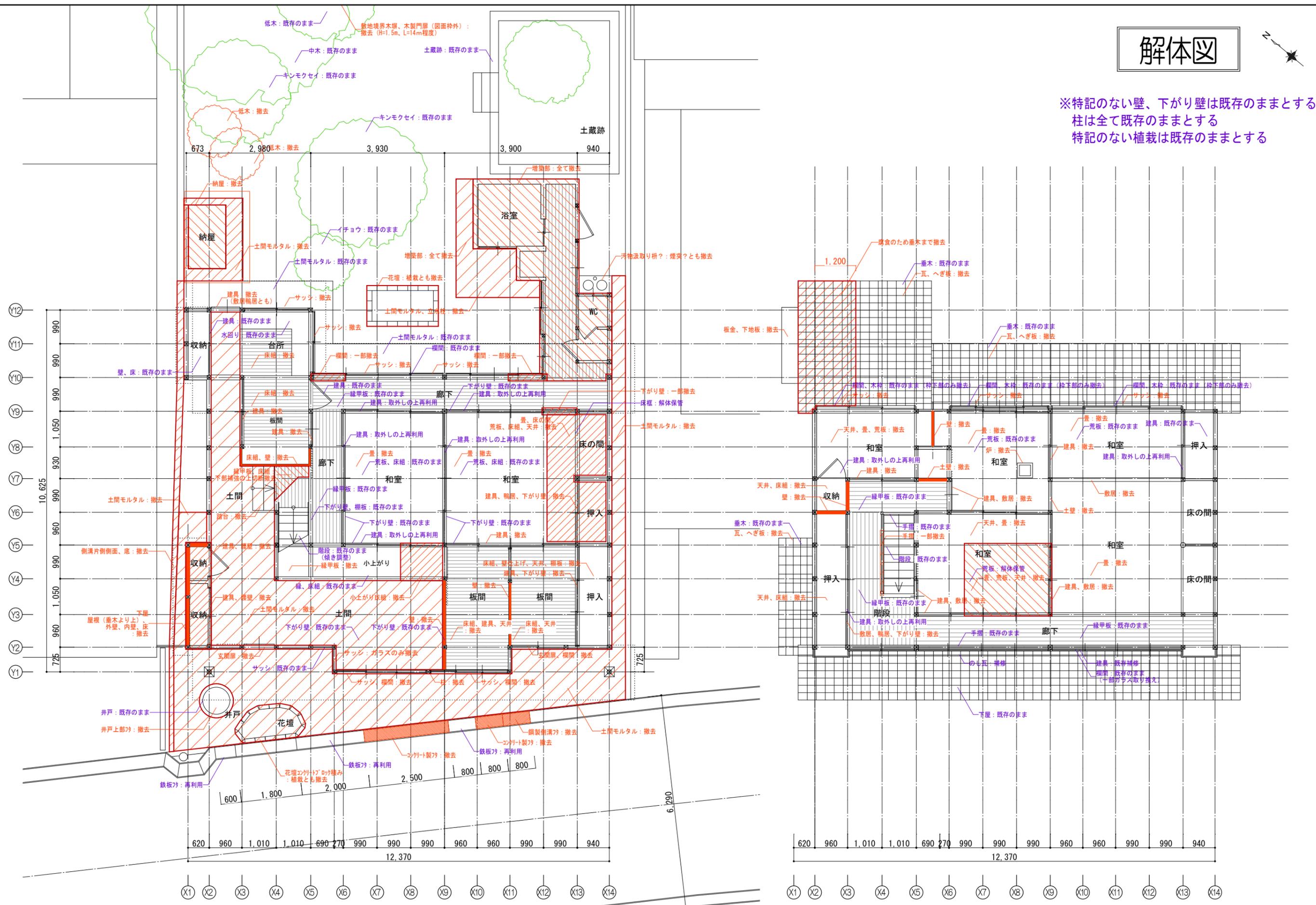
※UB設置必要寸法に
ドア設置必要寸法は含んでいません。
ドア納まりについての詳細は必ず
矩計図をご確認ください。



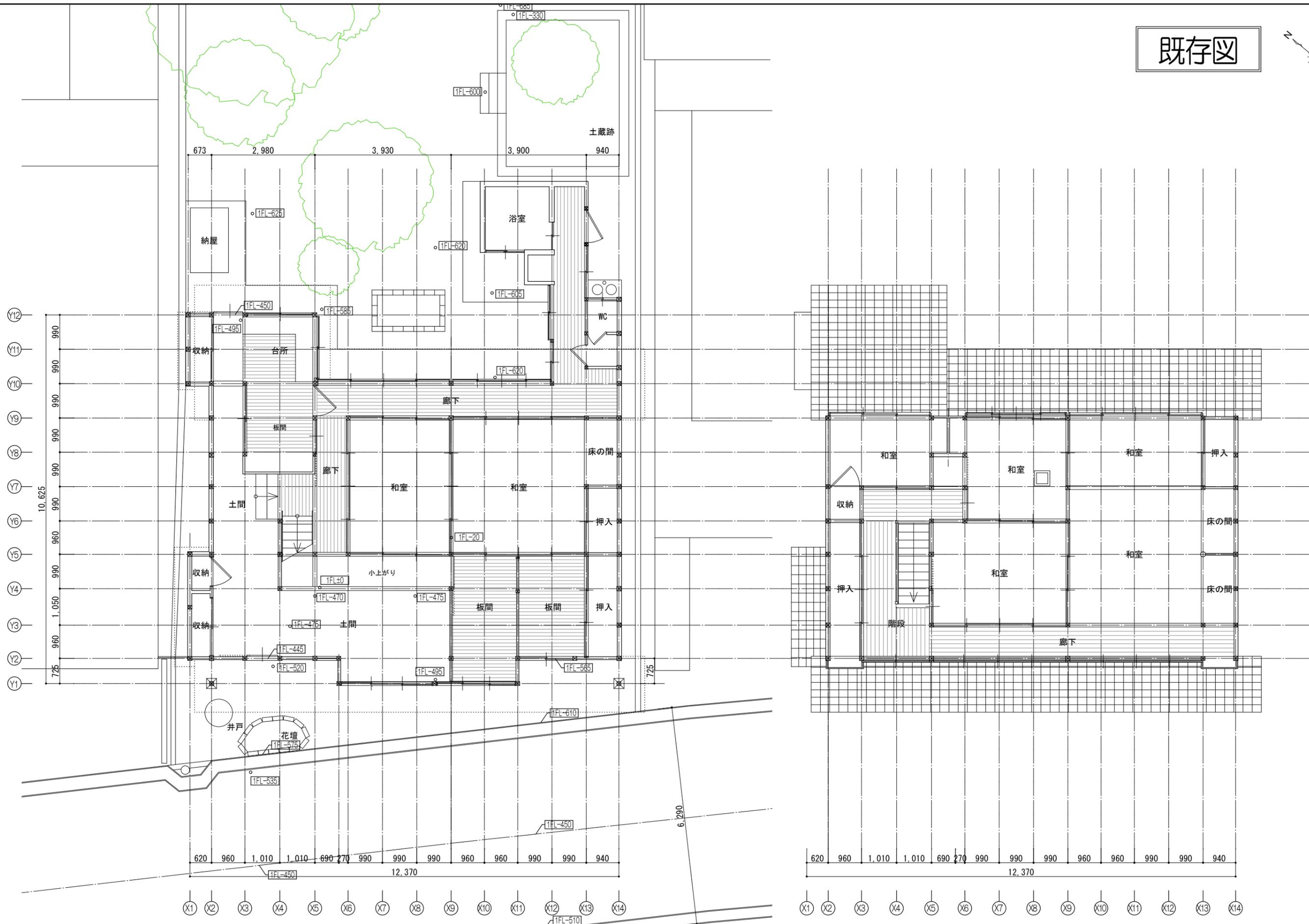
解体図



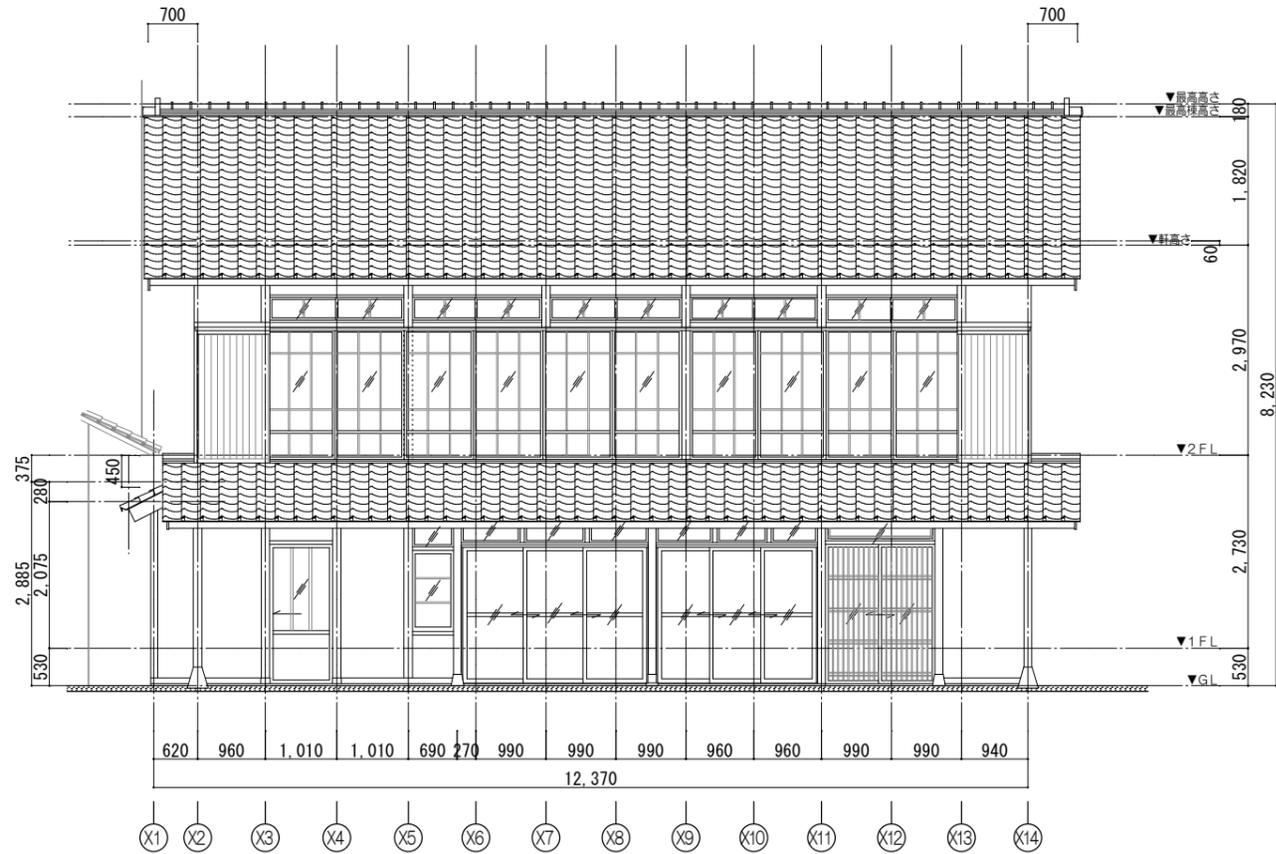
※特記のない壁、下がり壁は既存のままとする
柱は全て既存のままとする
特記のない植栽は既存のままとする



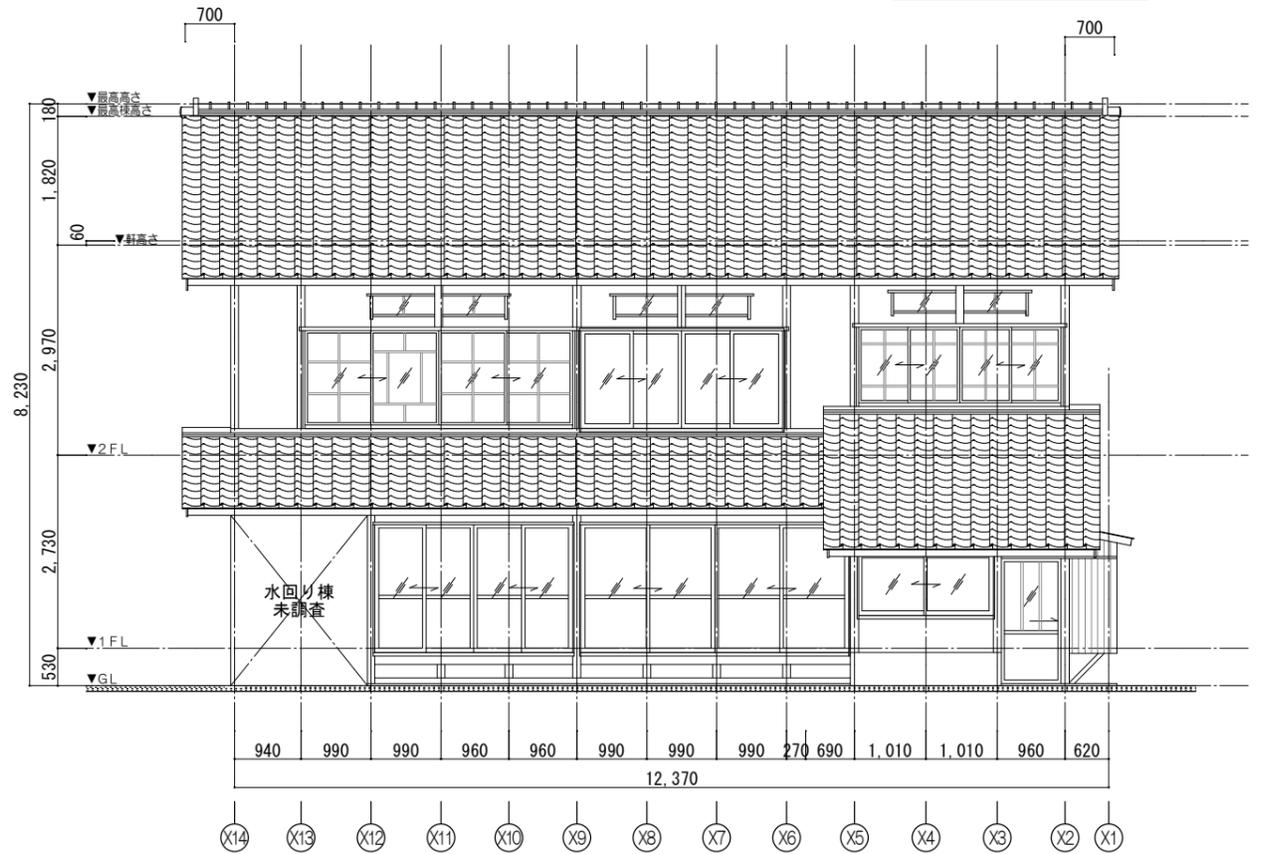
既存図



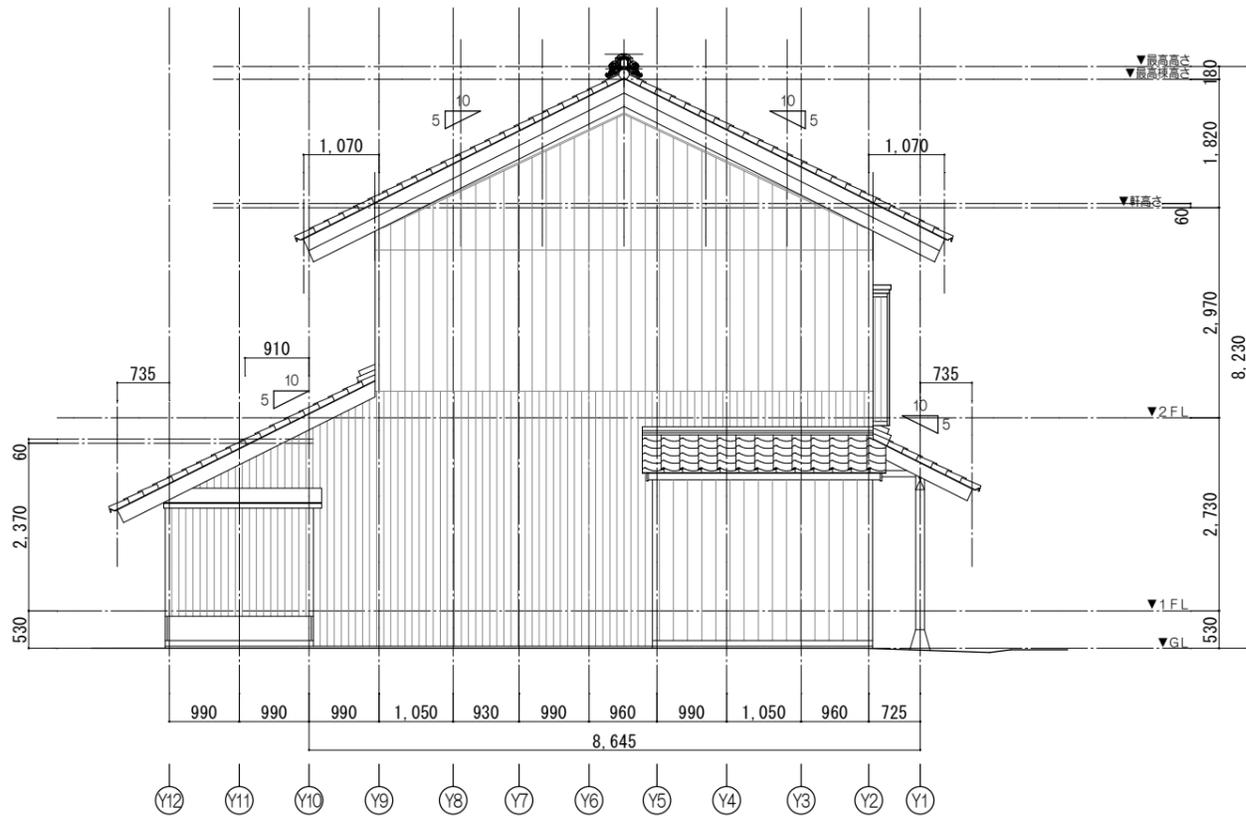
既存図



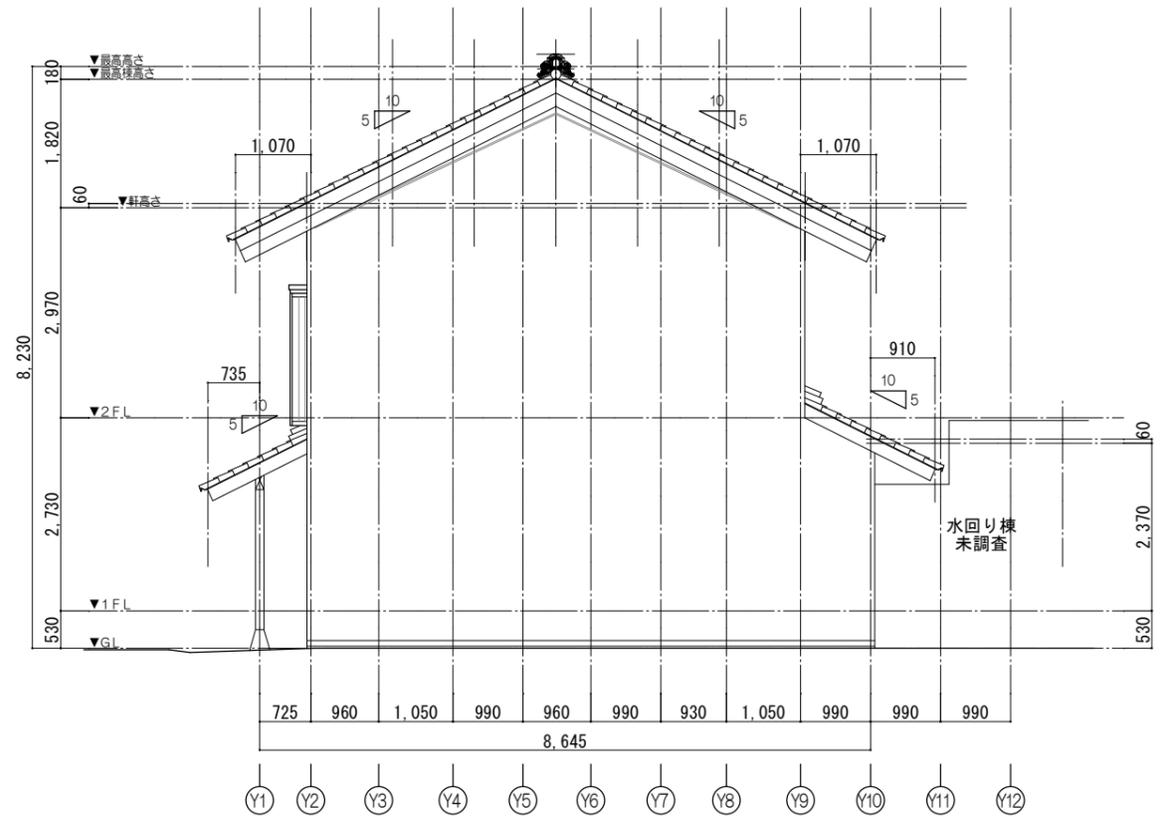
南西面



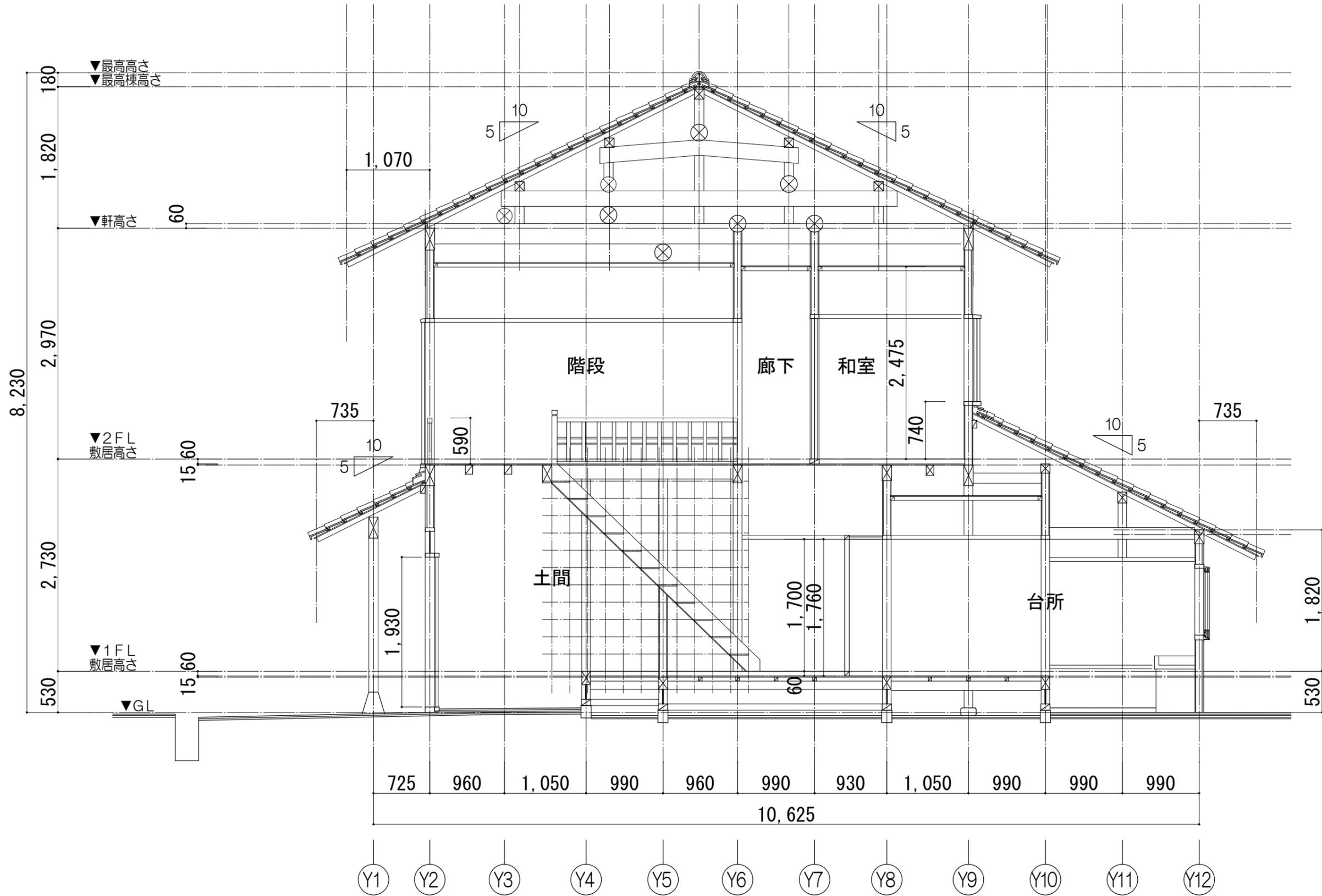
北東面

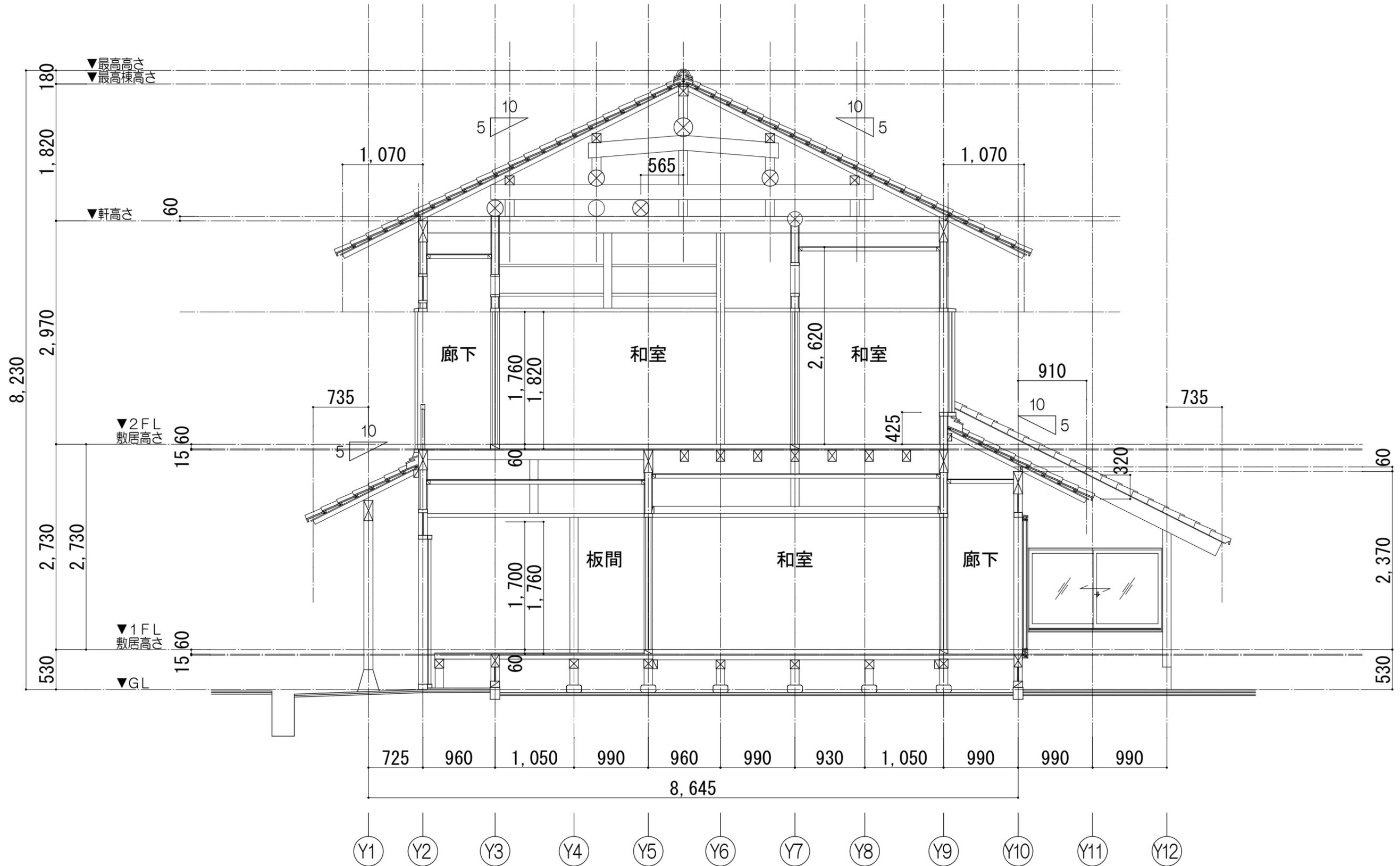


北西面

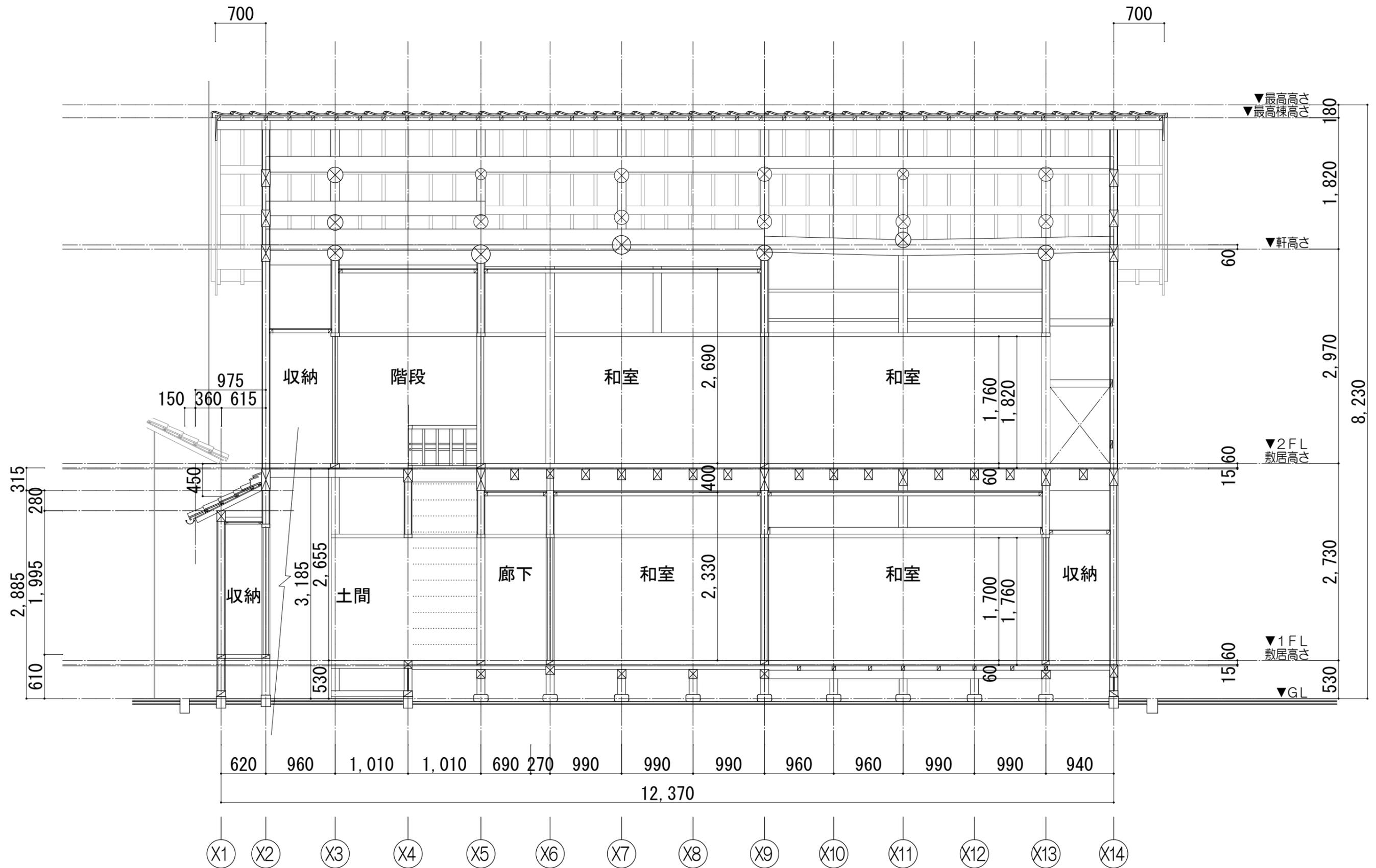


南東面

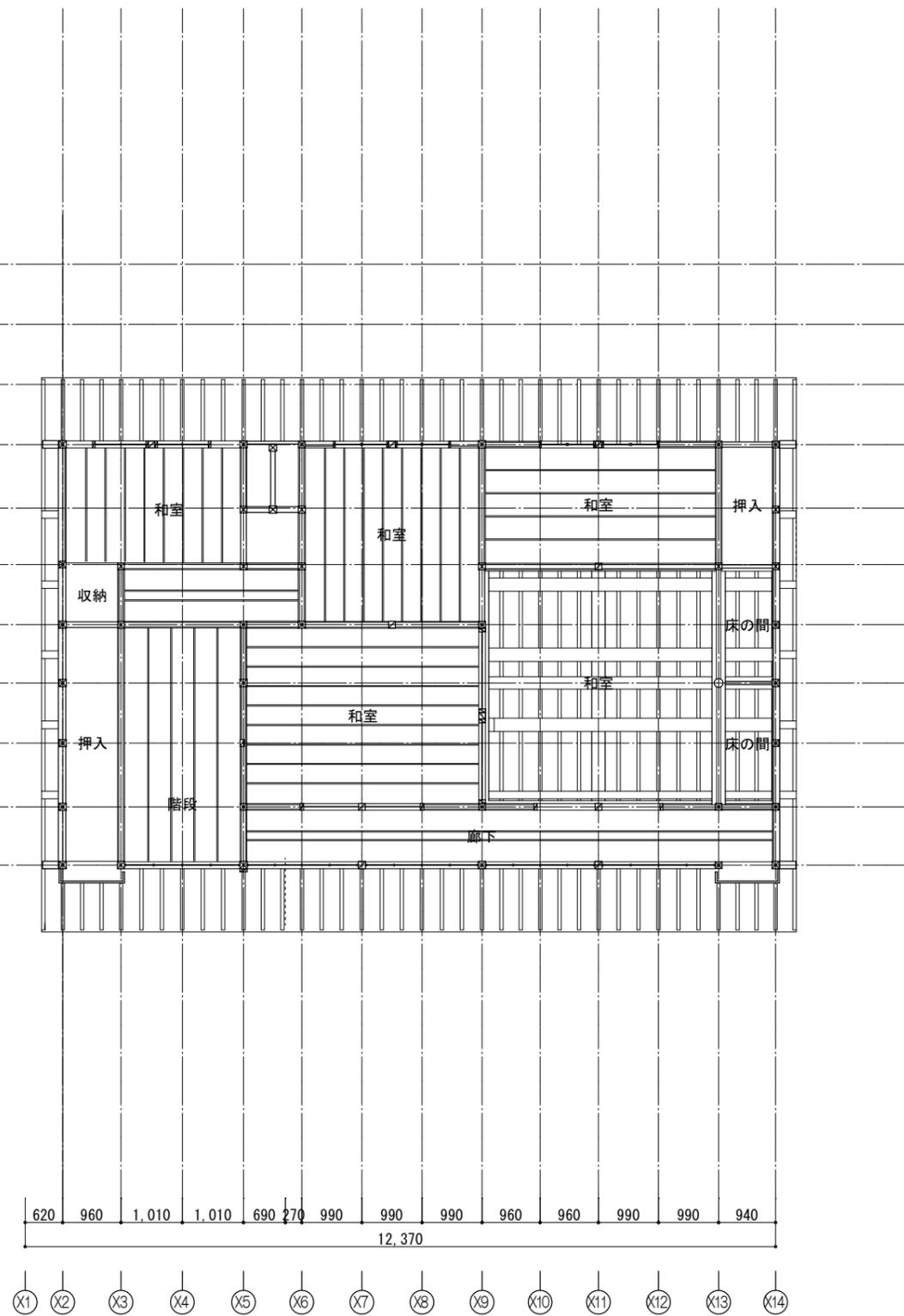
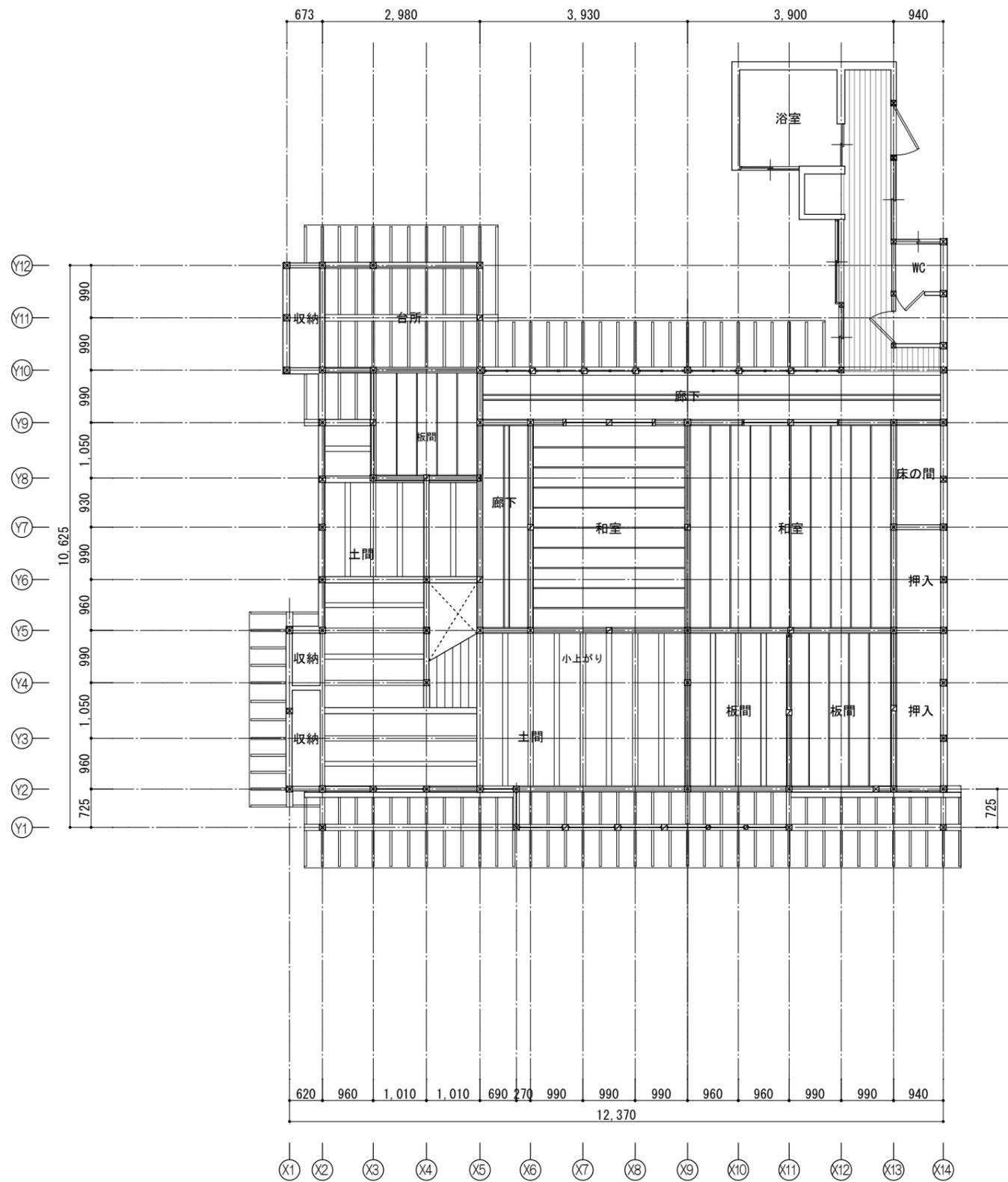




既存図



既存図



既存図

【凡例】

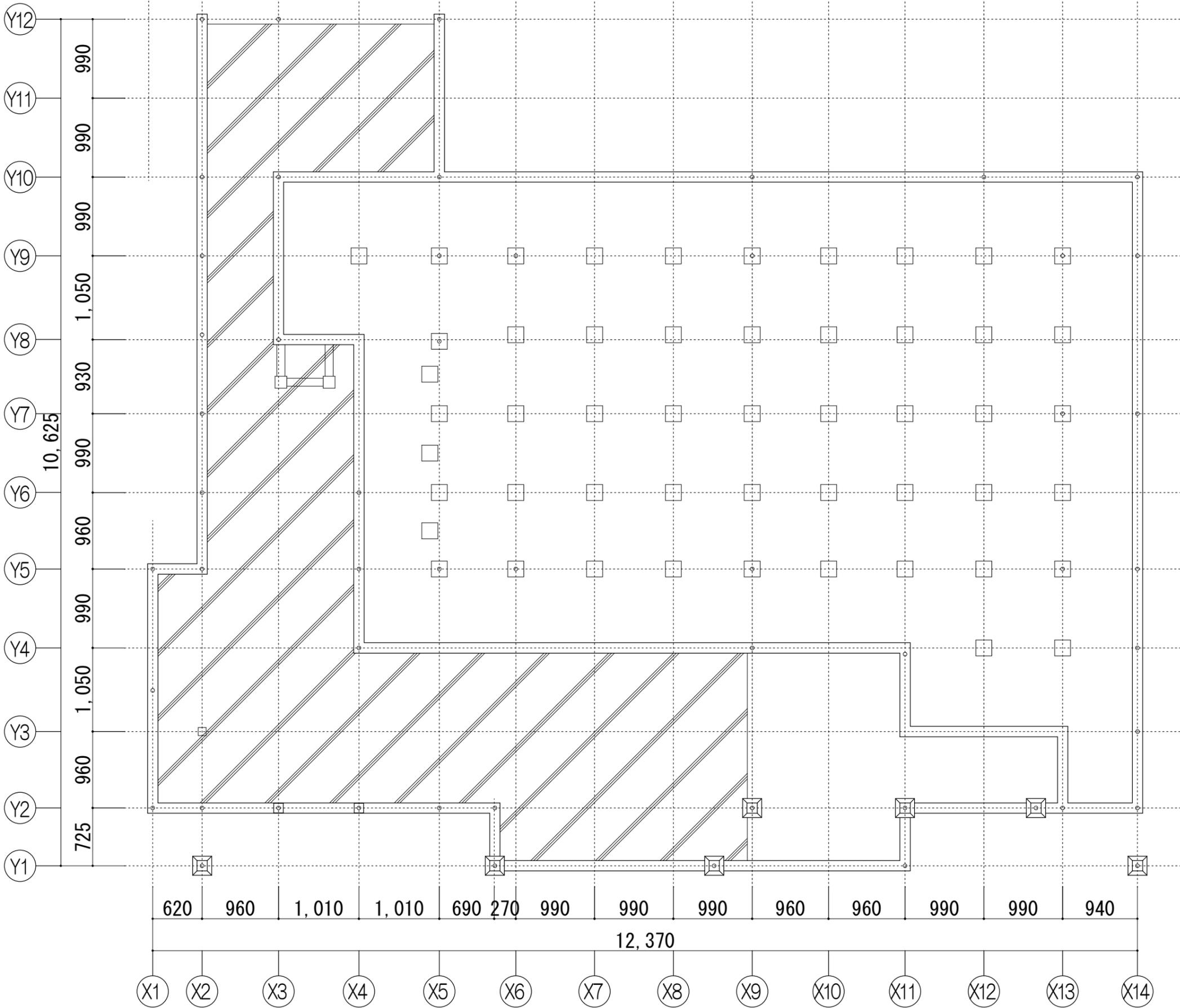
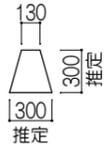
—— 礎石基礎 (W130 H160)

□ 束石

◻ 束石 (台形型)

○ 上部柱

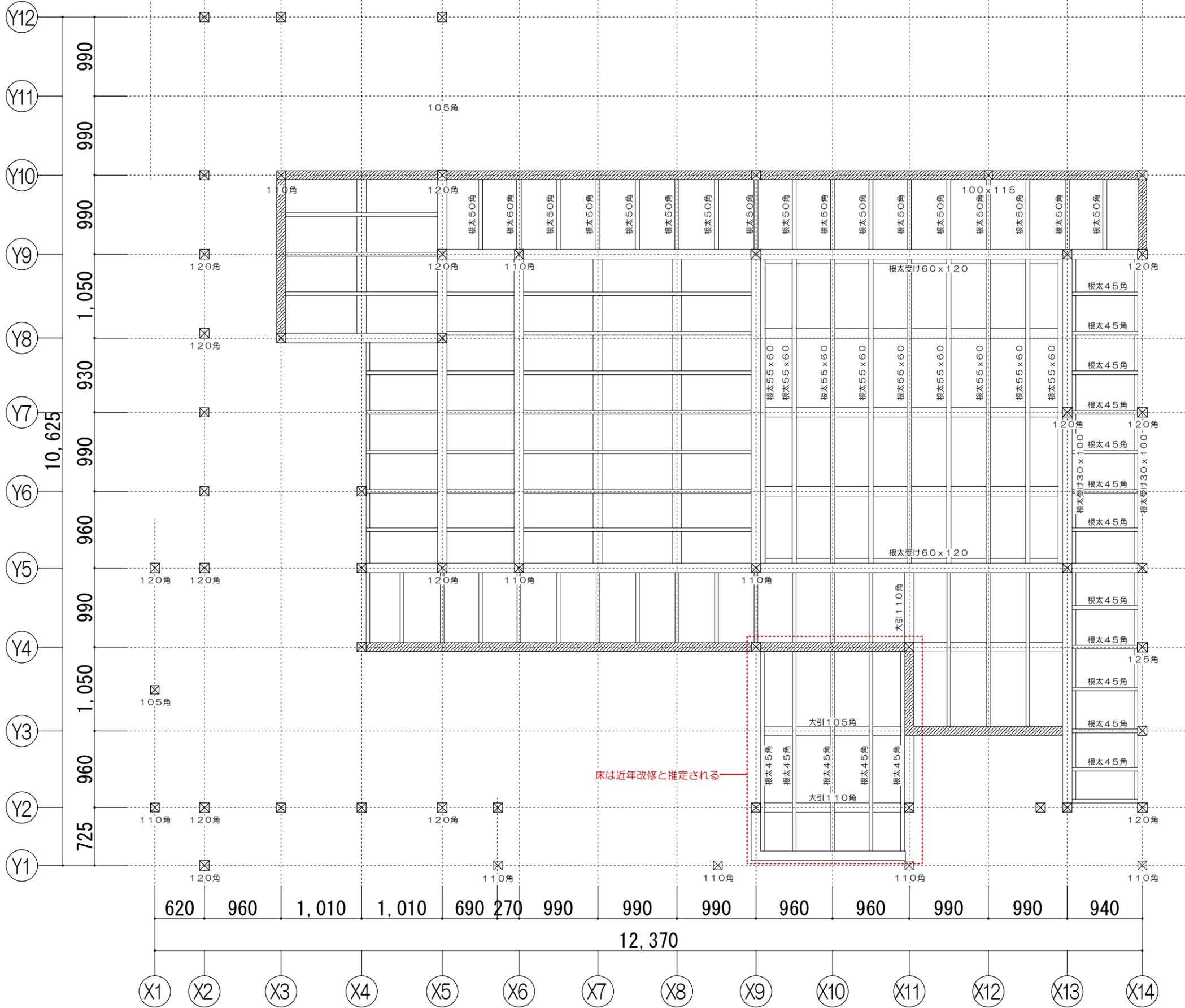
▨ 土間コンクリート



既存図

[凡例]

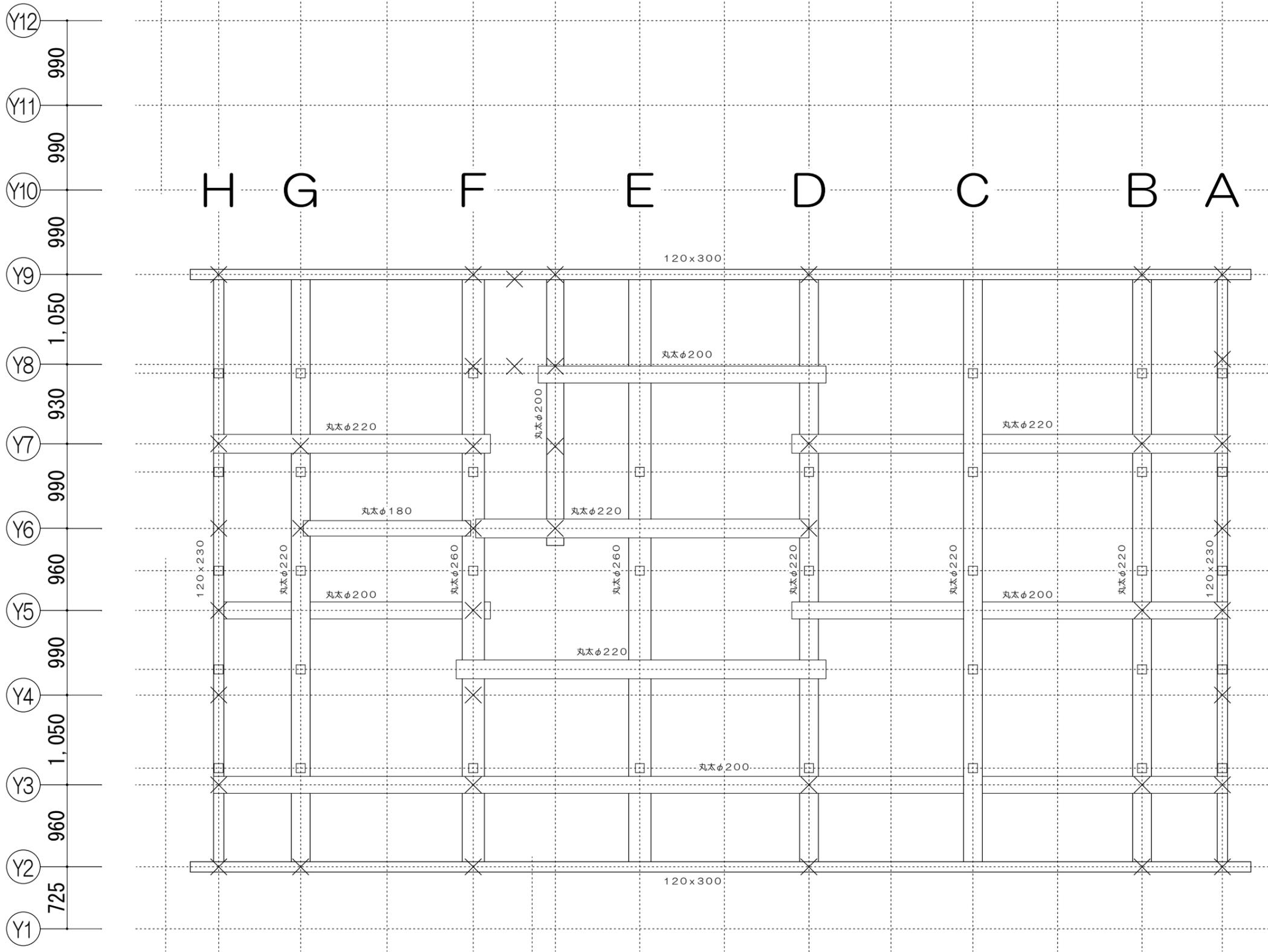
-  床梁 (W110 H170)
-  大引 (特記なき限り120角)
-  根太 (特記なき限り45x50)
-  柱 (特記なき限り115角)



既存図

[凡例]

- × 下部柱
- 桁・梁 (図示)
- 束 (特記なき限り105角)
- ／ 下部束



1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155

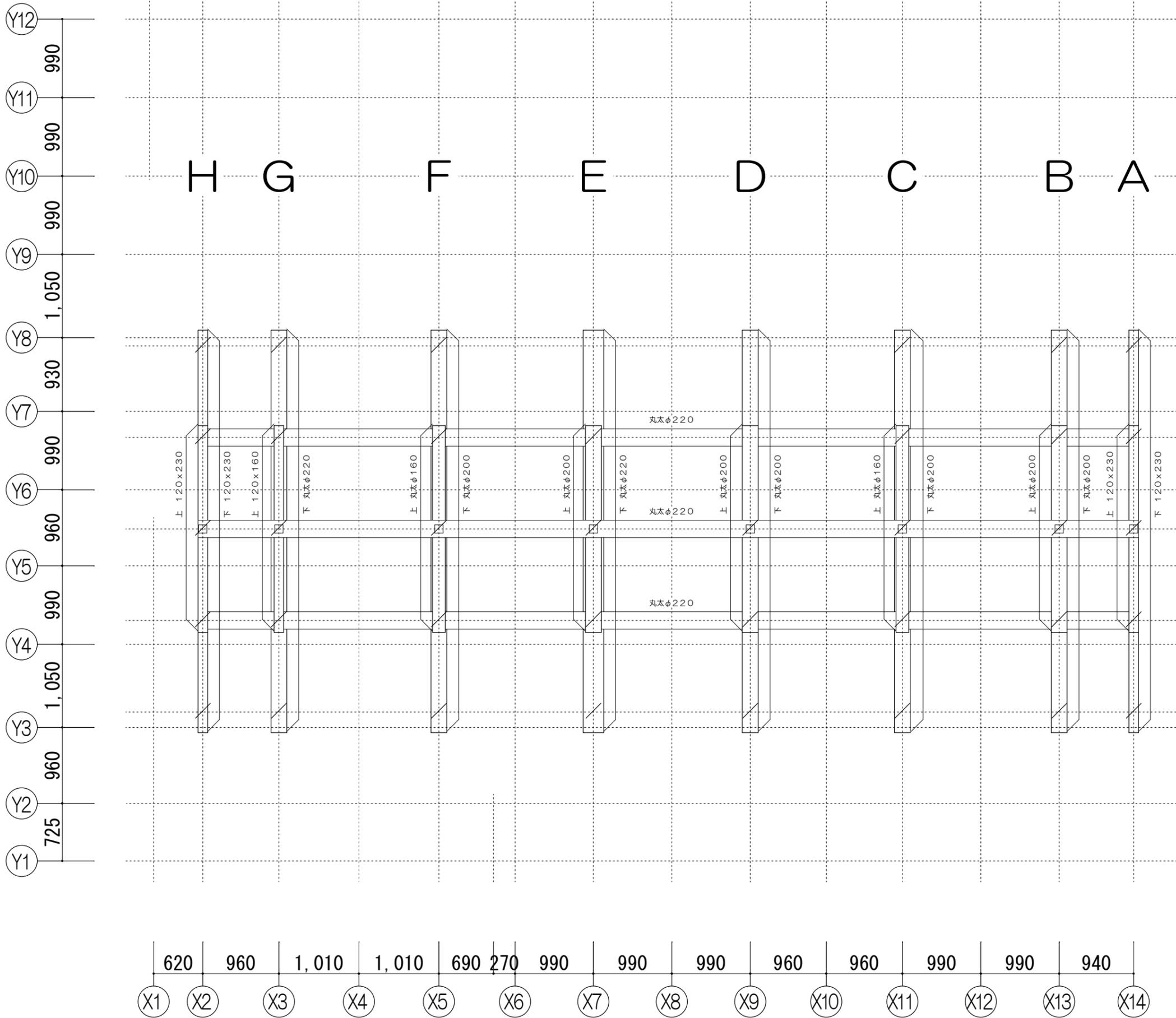
2FL + 3030

X1 620 X2 960 X3 1,010 X4 1,010 X5 690 X6 270 X7 990 X8 990 X9 960 X10 960 X11 990 X12 990 X13 940 X14

既存図

[凡例]

- × 下部柱
- 桁・梁 (図示)
- 束 (特記なき限り105角)
- 下部束



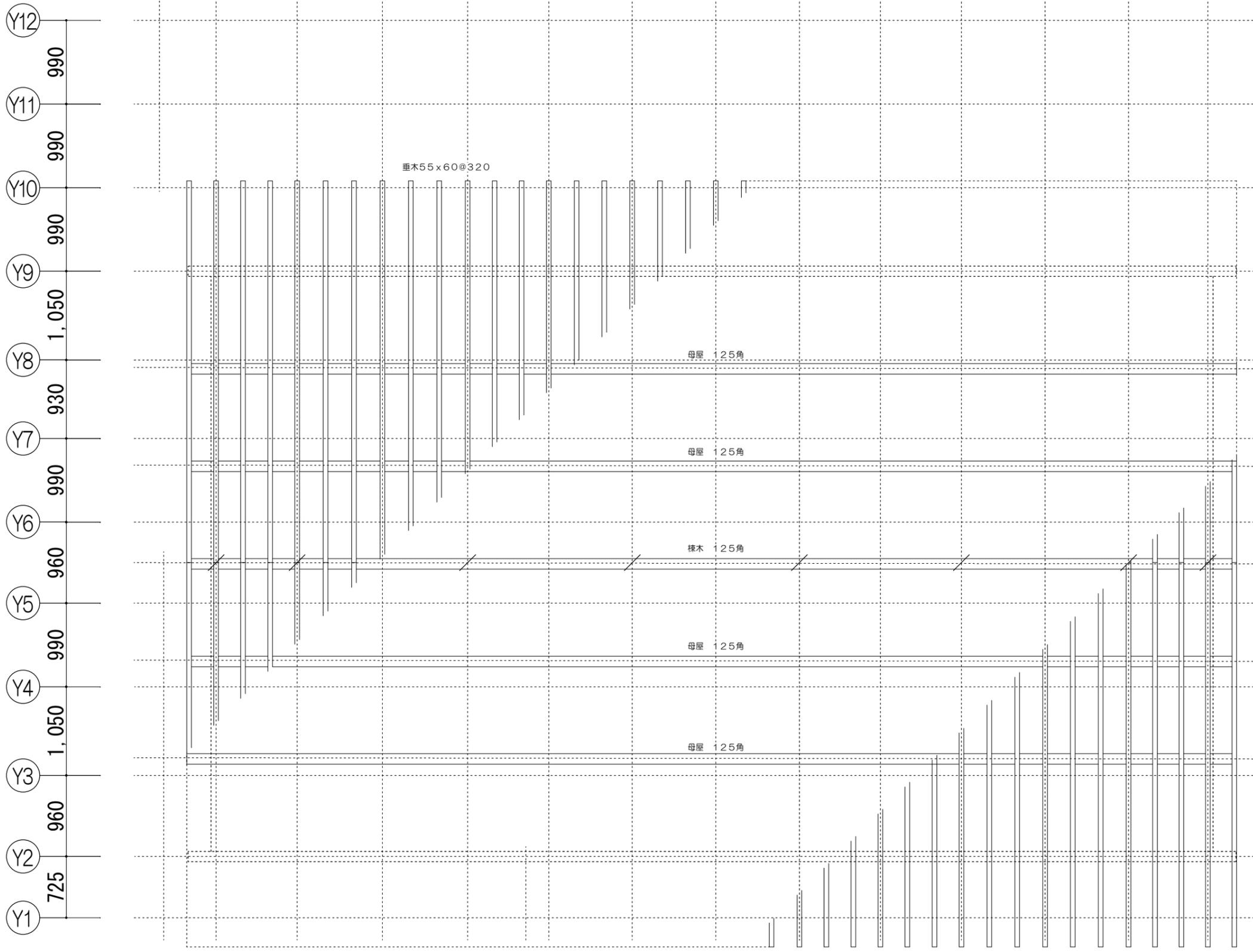
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155

2FL + 3510

既存図

【凡例】

- 母屋 125角
- 棟木 125角
- 下部見え掛かり桁・梁
- 下部束
- 垂木55x60@320



1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155
1,155

屋根面

620 960 1,010 1,010 690 270 990 990 990 960 960 990 990 940
 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14

